

令和4年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和4年12月

大仙市 企画部 総合政策課

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	5
2.4 満足度及び重要度	8
2.4.1 満足の度合い	8
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	10
2.4.3 満足度における属性別比較	11
2.4.4 重要の度合い	15
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	17
2.4.6 重要度における属性別比較	18
2.4.7 項目別要望度	22
2.4.8 満足度、重要度の総括	24
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	25
2.5 さらに推進すべき取り組み	27
2.5.1 産業分野に関する設問について	27
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	30

2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	33
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	36
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	39
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	42
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	45
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	48
2.6	市の情報発信や行政サービスのデジタル化について	53
2.6.1	市政情報の入手手段に関する設問について	53
2.6.2	市が行っている行政サービスに関する設問について	56
2.7	あなたが思う大仙市について	60
2.7.1	市内在住の経緯に関する設問について	60
2.7.2	「住みやすさ」に関する設問について	62
2.8	経年比較	66
3	市民による個別事業評価	
3.1	個別事業評価	80
3.1.1	市所有温泉施設について	80
3.1.2	SDGsについて	99
3.1.3	男女共同参画について	115
4	自由意見	138
5	資料（調査票）	
	令和4年度「市民による市政評価」調査票	

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施している。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の施策や事業に関する評価・意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後さらに推進すべき取り組み

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 市民による個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の3テーマについて調査した。

No.	テーマ
1	市所有温泉施設について
2	SDGsについて
3	男女共同参画について

1.3 調査の手法

昨年度は「市民による個別事業評価」の一部でインターネットによる回答を試行したが、今年度は全ての調査においてインターネット回答を可能とし、調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和4年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の3テーマを含む）

1.5 調査期間

令和4年4月28日（木）～6月3日（金）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等の不明者を除いているため、属性等の項目ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

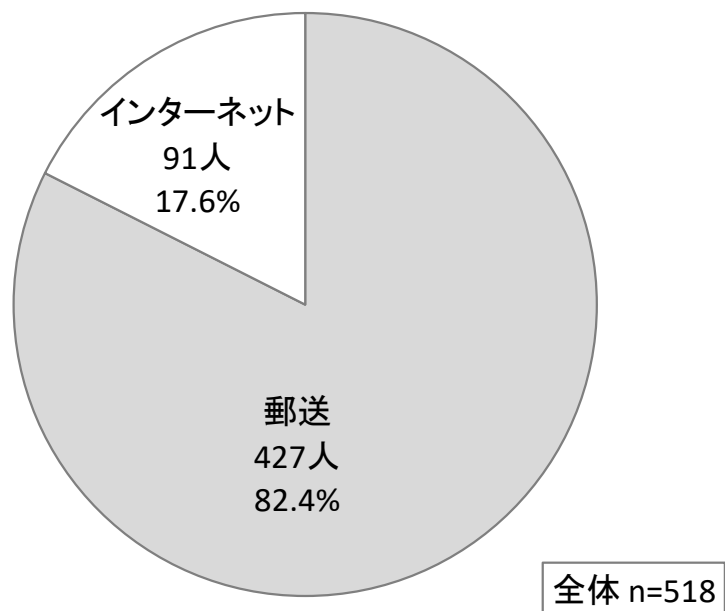
2.2 回収率

送付者数・・・1,000人

回答者数・・・518人

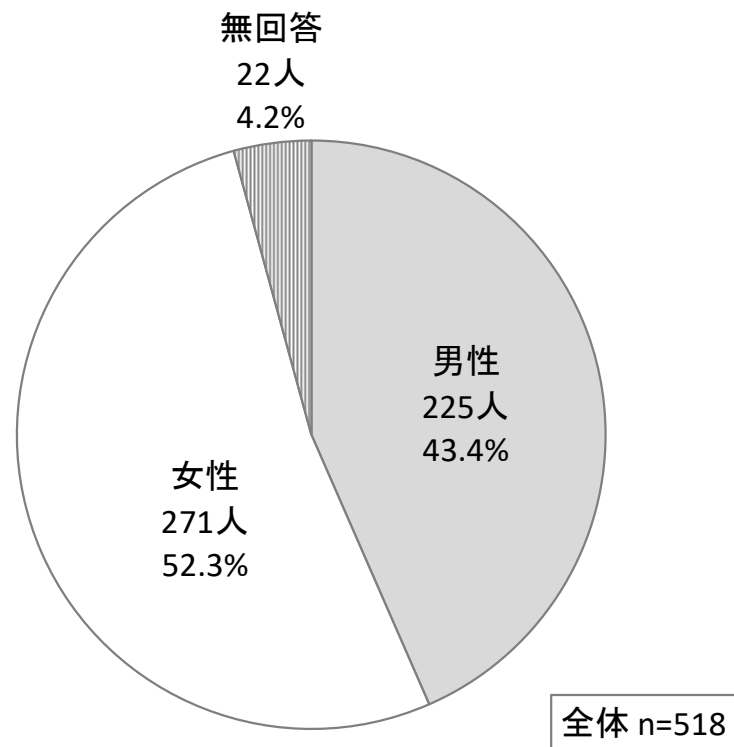
回収率・・・51.8%

図表1 回答方法の内訳

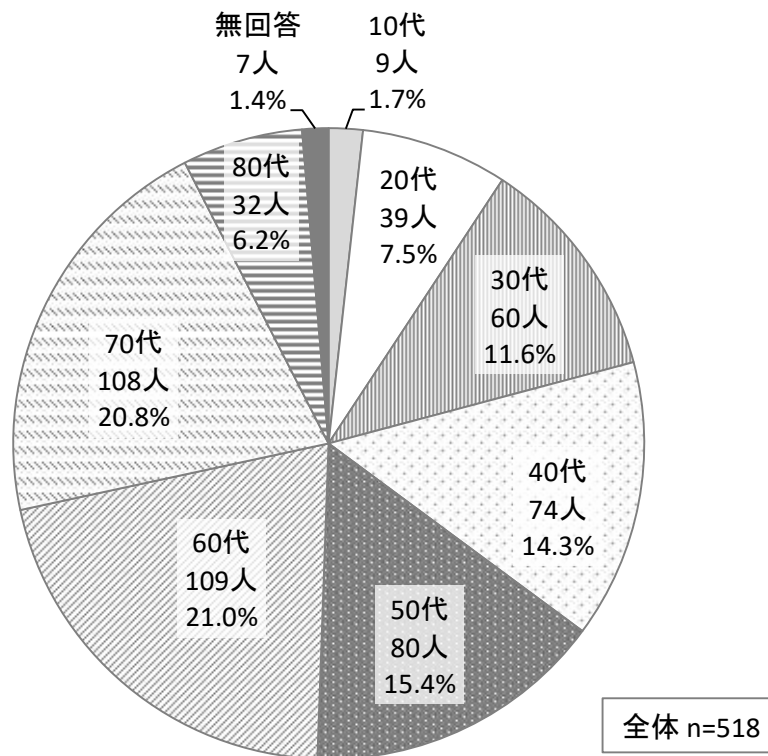


2.3 回答者の属性

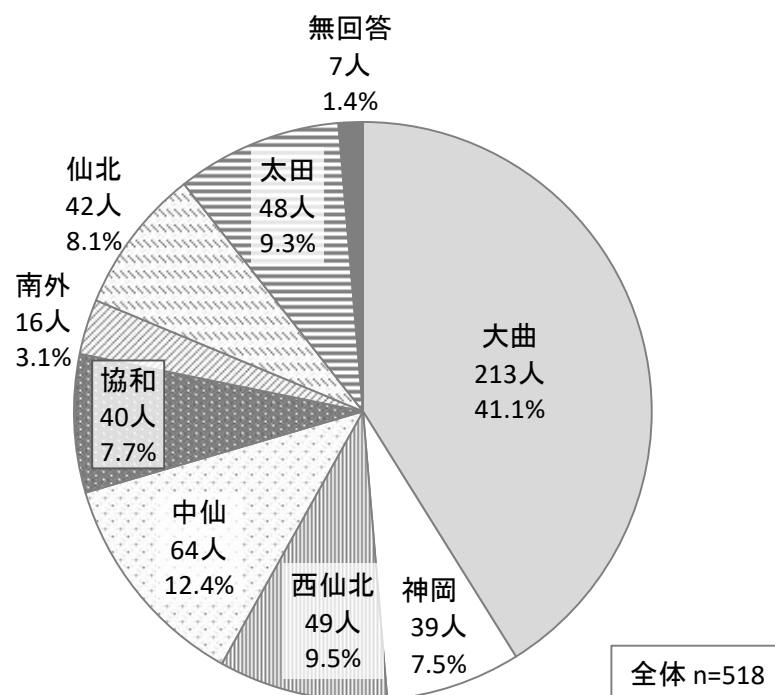
図表 2 回答者の性別の内訳



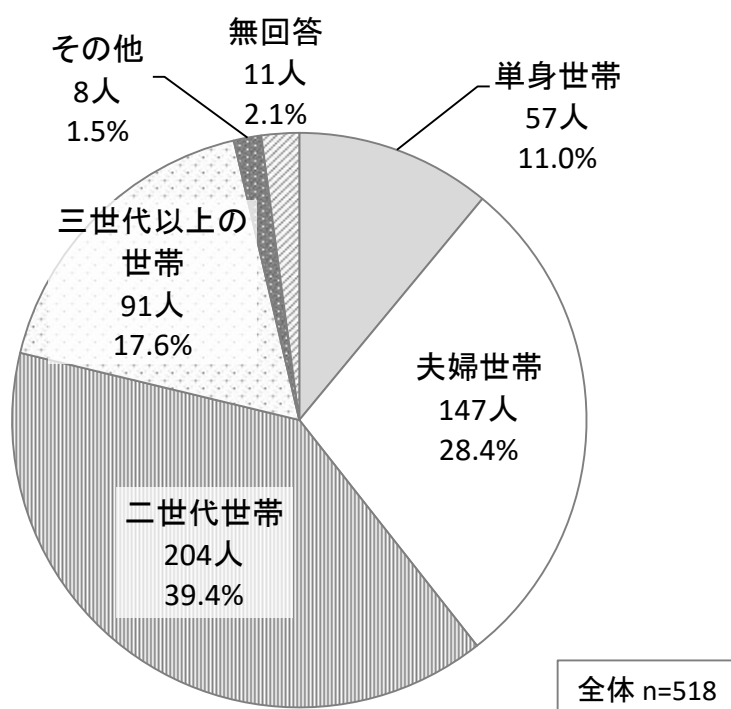
図表3 回答者の年代の内訳



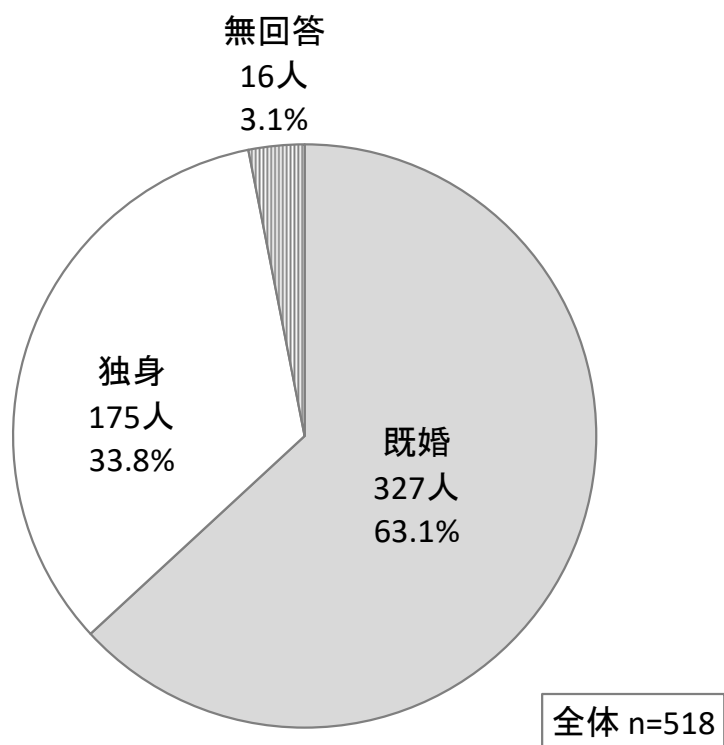
図表4 回答者の居住地の内訳



図表5 回答者の家族構成の内訳



図表6 回答者の婚姻状況の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.71（昨年度3.61）、「子育て」が3.60（昨年度3.46）、「自然・環境衛生」が3.52（昨年度3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「雇用・就労」が2.84（昨年度2.84）、「商工業」が2.85（昨年度2.90）、「空き家対策」が2.87（昨年度2.82）の順となっている。

上位項目、下位項目とも多少の順位変動はあるものの、項目は昨年度と同様となっている。

昨年度と比較すると、29項目中、20項目で満足度が上昇しており、変動が無かったのは3項目、低下したのは6項目で全体的に満足度が上昇している。中でも、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.60で2位の「子育て」（昨年度から0.14ポイント増）、3.42で9位の「社会福祉」（昨年度から0.12ポイント増）、3.71で1位の「保健・医療」（昨年度から0.10ポイント増）、3.41で10位の「社会保障」（昨年度から0.09ポイント増）、3.43で8位の「花火産業構想」（昨年度から0.08ポイント増）、3.45で7位の「地域情報化」（昨年度から0.07ポイント増）、3.47で5位の「スポーツ」（昨年度から0.05ポイント増）、2.87で27位の「空き家対策」（昨年度から0.05ポイント増）の8項目となっている。

一方で、0.05ポイント以上低下した項目は、2.92で26位の「出会い・結婚」（昨年度から0.06ポイント減）、2.85で28位の「商工業」（昨年度から0.05ポイント減）の2項目となっている。

その他の19項目は昨年度から0.04ポイント以内の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

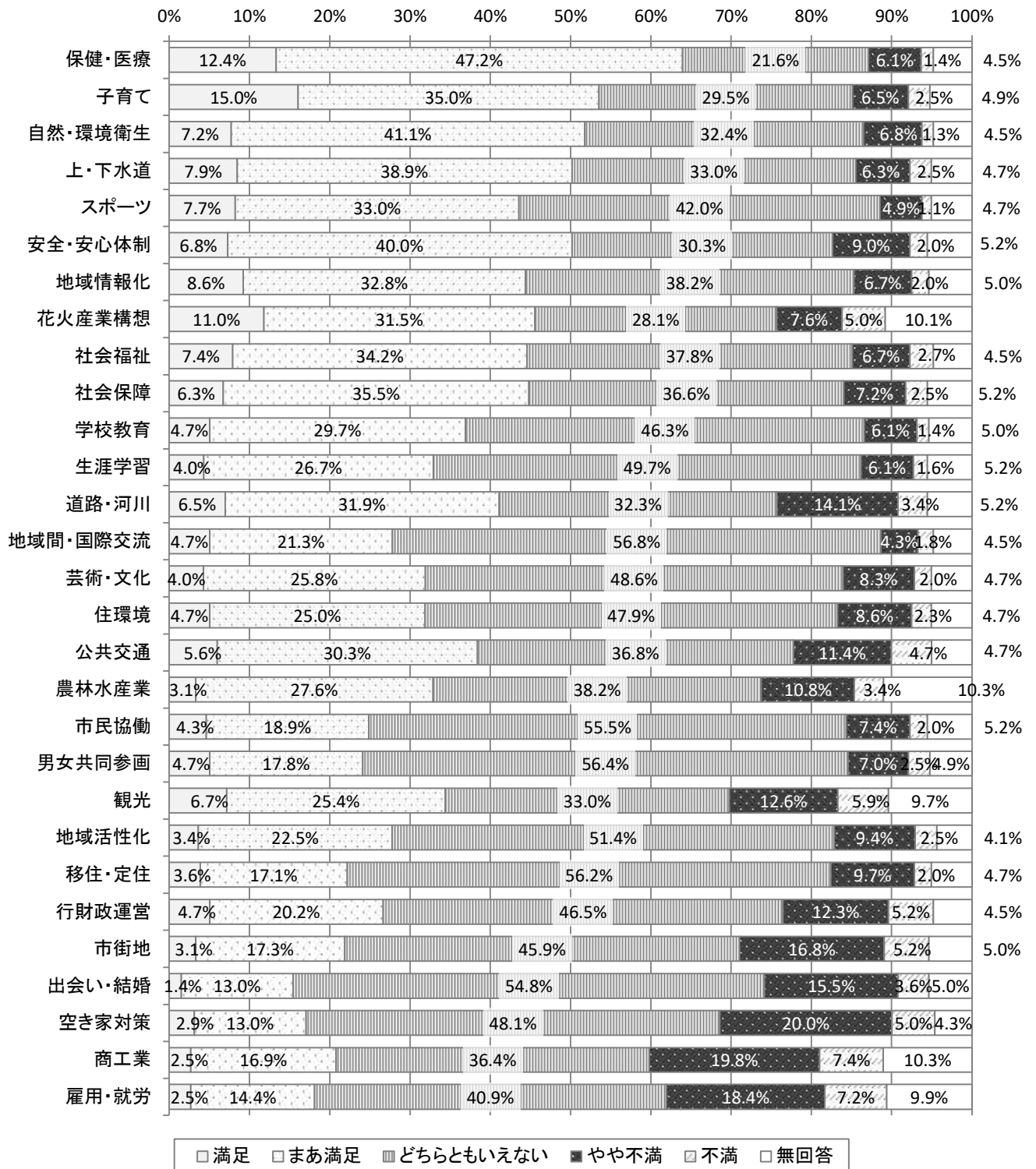
順位		項目	満足度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↗	3.71	3.61	0.10
2	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↗	3.60	3.46	0.14
3	2	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	3.52	3.51	0.01
4	3	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.49	3.46	0.03
5	6	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↗	3.47	3.42	0.05
6	3	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	3.46	3.46	0.00
7	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↗	3.45	3.38	0.07
8	8	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↗	3.43	3.35	0.08
9	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に取り組んでいます。	↗	3.42	3.30	0.12
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に取り組んでいます。	↗	3.41	3.32	0.09
11	9	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	3.34	3.34	0.00
12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.29	3.27	0.02
13	14	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	3.27	3.25	0.02
14	15	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	3.26	3.24	0.02
15	18	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.24	3.20	0.04
15	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	3.24	3.23	0.01
17	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	←	3.23	3.26	▲0.03
18	21	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	3.19	3.16	0.03
19	17	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.18	3.21	▲0.03
20	21	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.17	3.16	0.01
20	20	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.17	3.18	▲0.01
20	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.17	3.20	▲0.03
23	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.12	3.10	0.02
24	24	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	3.08	3.05	0.03
25	26	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	2.96	2.92	0.04
26	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↘	2.92	2.98	▲0.06
27	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↗	2.87	2.82	0.05
28	27	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↘	2.85	2.90	▲0.05
29	28	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	2.84	2.84	0.00

※満足度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↗ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 8 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、満足度は全般的に女性のほうが高く、また、項目については、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、男性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、女性では「スポーツ」が上位5項目から外れており（6位）、5位に全体で8位の「花火産業構想」が挙げられている。なお、男女とも1位から4位までは「保健・医療」「子育て」「自然・環境衛生」「上・下水道」の順になっており、全体の順位と一致している。

下位項目については、順位の入替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、10代と30代以上で「保健・医療」が挙げられており、40代以上では1位となっている。また、30代以上で「子育て」、20代と40代以上で「自然・環境衛生」、10代から50代で「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「商工業」「空き家対策」が挙げられており、20代から70代で「雇用・就労」、50代以外で「出会い・結婚」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、神岡・太田地域以外で「自然・環境衛生」、中仙・太田地域以外で「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」「市街地」が挙げられており、大曲・西仙北・中仙・南外・太田地域で「出会い・結婚」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.67	25	市街地	2.94
2	子育て	3.57	26	空き家対策	2.90
3	自然・環境衛生	3.54	27	出会い・結婚	2.81
4	上・下水道	3.49	28	雇用・就労	2.78
5	スポーツ	3.48	29	商工業	2.74

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.78	25	出会い・結婚	3.03
2	子育て	3.65	26	商工業	2.99
3	自然・環境衛生	3.54	27	市街地	2.98
4	上・下水道	3.51	28	雇用・就労	2.92
5	花火産業構想	3.50	29	空き家対策	2.86

図表 10 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.11
2	上・下水道	4.00
3	スポーツ	3.89
4	保健・医療	3.78
	社会保障	3.78
	安全・安心体制	3.78

(下位)

順位	項目	満足度
23	出会い・結婚	3.11
	空き家対策	3.11
	生涯学習	3.11
	行財政運営	3.11
27	商工業	3.00
	観光	3.00
29	道路・河川	2.89

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.79
2	自然・環境衛生	3.72
3	上・下水道	3.69
4	芸術・文化	3.62
	生涯学習	3.62

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	3.18
26	商工業	3.16
27	空き家対策	3.15
28	出会い・結婚	3.13
29	市街地	3.11

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	地域情報化	3.77
2	子育て	3.67
3	上・下水道	3.58
4	スポーツ	3.55
5	保健・医療	3.52

(下位)

順位	項目	満足度
24	空き家対策	3.00
	行財政運営	3.00
26	市街地	2.97
27	出会い・結婚	2.88
28	雇用・就労	2.81
29	商工業	2.77

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.81
2	子育て	3.73
3	自然・環境衛生	3.61
4	地域情報化	3.50
5	上・下水道	3.47

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.93
26	出会い・結婚	2.82
27	空き家対策	2.81
28	商工業	2.75
29	雇用・就労	2.67

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	安全・安心体制	3.47
3	子育て	3.46
4	自然・環境衛生	3.42
5	上・下水道	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.83
26	空き家対策	2.82
27	雇用・就労	2.71
28	市街地	2.64
29	商工業	2.56

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69
2	子育て	3.57
3	スポーツ	3.50
4	自然・環境衛生	3.46
5	安全・安心体制	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.94
26	出会い・結婚	2.91
27	市街地	2.90
28	空き家対策	2.80
29	雇用・就労	2.77

■70代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.77
2	子育て	3.67
3	自然・環境衛生	3.59
4	社会保障	3.54
5	安全・安心体制 スポーツ	3.53

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.07
26	出会い・結婚	3.01
27	雇用・就労	2.93
28	商工業	2.92
29	空き家対策	2.76

■80代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.90
2	子育て	3.68
3	花火産業構想	3.65
4	自然・環境衛生	3.61
5	安全・安心体制	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	住環境	3.14
26	空き家対策 男女共同参画	3.11
28	商工業	3.04
29	出会い・結婚	2.93

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	子育て	3.64
3	地域情報化	3.48
4	自然・環境衛生	3.47
5	上・下水道	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.95
26	出会い・結婚	2.91
27	空き家対策	2.89
28	商工業	2.87
29	雇用・就労	2.86

■神岡地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	地域情報化	3.68
3	スポーツ	3.65
4	社会福祉	3.64
5	上・下水道	3.62

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地 行財政運営	3.08
27	空き家対策	2.97
28	商工業	2.79
29	雇用・就労	2.71

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.63
2	花火産業構想	3.61
3	自然・環境衛生	3.59
4	安全・安心体制	3.57
5	上・下水道	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.04
26	出会い・結婚	2.89
27	雇用・就労	2.80
28	商工業	2.78
29	空き家対策	2.76

■中仙地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.65
2	自然・環境衛生	3.55
3	子育て	3.50
4	社会福祉	3.42
5	地域間・国際交流 スポーツ	3.34

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.94
26	商工業	2.93
27	雇用・就労	2.86
28	市街地	2.85
29	出会い・結婚	2.84

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.90
2	保健・医療	3.85
3	上・下水道	3.78
4	安全・安心体制	3.63
5	自然・環境衛生	3.58

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	3.13
26	商工業	3.06
27	市街地	3.03
28	雇用・就労	2.97
29	空き家対策	2.88

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.92
2	地域情報化	3.80
3	保健・医療	3.67
	上・下水道	3.67
5	自然・環境衛生	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.08
26	空き家対策	3.00
27	市街地	2.93
28	雇用・就労	2.85
29	出会い・結婚	2.80

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.75
2	自然・環境衛生	3.63
3	上・下水道	3.60
4	花火産業構想	3.56
5	スポーツ	3.50
	地域情報化	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.95
	行財政運営	2.95
27	空き家対策	2.85
28	雇用・就労	2.82
29	商工業	2.67

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.74
2	子育て	3.61
3	スポーツ	3.54
4	安全・安心体制	3.50
5	社会保障	3.47

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.89
26	雇用・就労	2.81
27	空き家対策	2.72
28	出会い・結婚	2.70
29	商工業	2.67

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.39（昨年度4.36）、「子育て」が4.36（昨年度4.27）、「雇用・就労」が4.34（昨年度4.26）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.38（昨年度3.31）、「スポーツ」が3.43（昨年度3.42）、「芸術・文化」が3.57（昨年度3.56）の順となっている。

上位項目では、「子育て」が昨年度3位から2位に、「雇用・就労」が昨年度4位から3位に上昇しており、昨年度2位の「安全・安心体制」が5位に下降している。下位項目では、「芸術・文化」が昨年度25位から27位に下降しており、昨年度27位の「市民協働」が25位に上昇している。

昨年度と比較すると、29項目中、25項目で重要度が上昇しており、変動が無かったのは4項目で、低下した項目は無かった。過半数以上の18項目で0.05ポイント以上上昇しており、中でも、3.85で同順17位の「住環境」（昨年度から0.13ポイント増）、3.82で19位の「移住・定住」（昨年度から0.13ポイント増）、3.86で16位の「出会い・結婚」（昨年度から0.12ポイント増）、4.31で4位の「社会福祉」（昨年度から0.11ポイント増）、4.19で7位の「農林水産業」（昨年度から0.11ポイント増）、3.60で25位の「市民協働」（昨年度から0.11ポイント増）、3.85で同順17位の「観光」（昨年度から0.10ポイント増）の7項目は、前回より0.10ポイント以上上昇している。

図表 12 重要度（点数順）

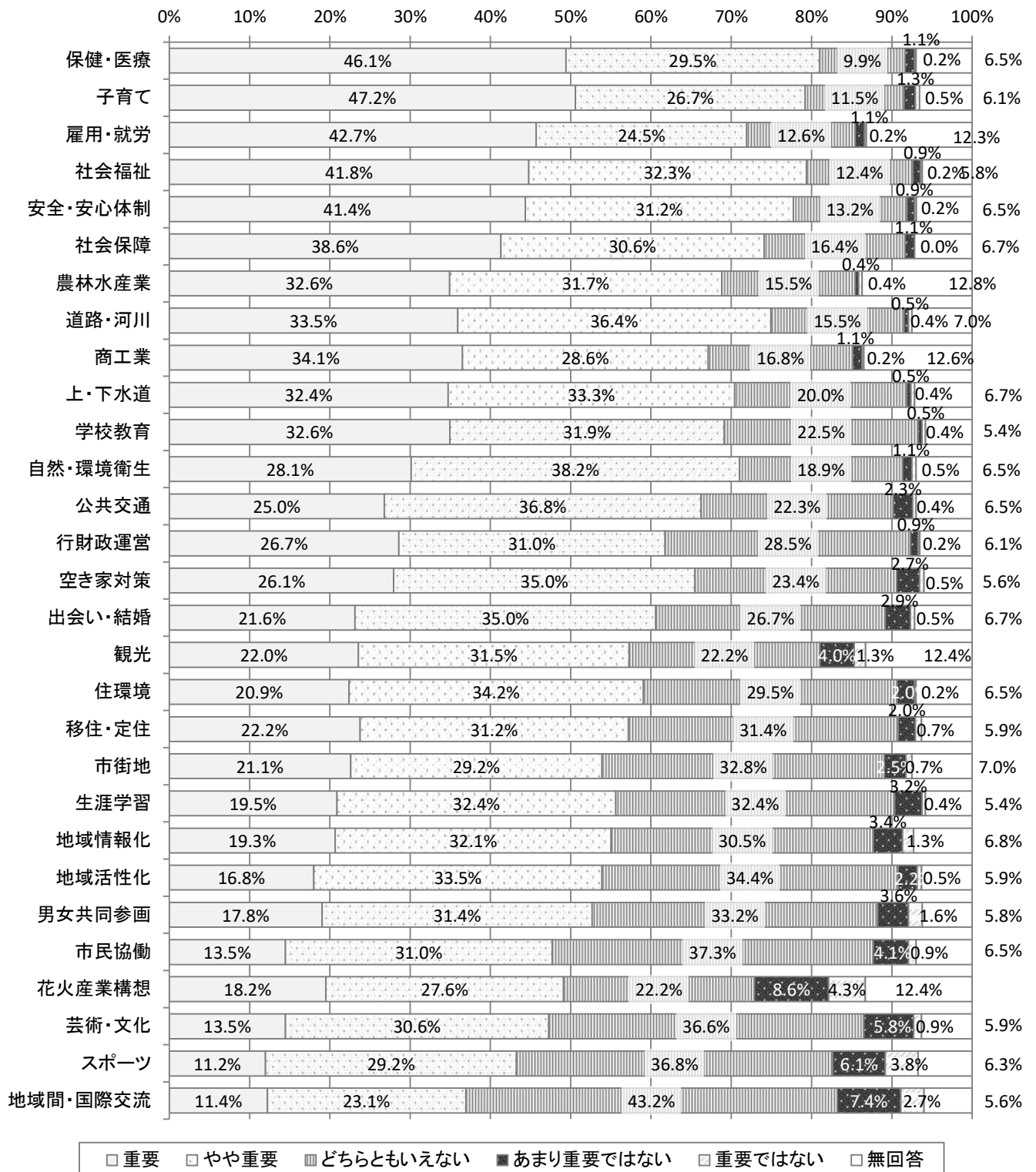
順位		項目	重要度 ※			
R4	R3		R4	R3	増減 (R4-R3)	
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.39	4.36	0.03
2	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↗	4.36	4.27	0.09
3	4	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↗	4.34	4.26	0.08
4	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↗	4.31	4.20	0.11
5	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	4.30	4.30	0.00
6	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↗	4.23	4.14	0.09
7	9	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↗	4.19	4.08	0.11
8	8	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↗	4.18	4.10	0.08
8	6	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	4.18	4.16	0.02
10	11	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↗	4.12	4.03	0.09
11	10	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	4.09	4.07	0.02
12	12	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↗	4.06	4.01	0.05
13	14	【公共交通】 地域の实情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↗	3.96	3.91	0.05
14	15	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↗	3.95	3.88	0.07
14	13	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	3.95	3.92	0.03
16	20	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↗	3.86	3.74	0.12
17	17	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↗	3.85	3.75	0.10
17	21	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↗	3.85	3.72	0.13
19	22	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↗	3.82	3.69	0.13
20	17	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	3.78	3.75	0.03
21	16	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.77	3.77	0.00
22	17	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	3.75	3.75	0.00
23	24	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↗	3.73	3.66	0.07
24	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.69	3.69	0.00
25	27	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↗	3.60	3.49	0.11
26	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↗	3.58	3.51	0.07
27	25	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.57	3.56	0.01
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.43	3.42	0.01
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↗	3.38	3.31	0.07

※重要度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↗ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、男性では同順5位に全体で8位の「商工業」が挙げられている。

下位項目については、男女とも全体と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」、70代以外で「子育て」が挙げられている。なお、「保健・医療」は40代と70代で、「子育て」は30代と60代で1位となっている。60代以下では「雇用・就労」、10代から50代と70代で「社会福祉」、50代以外で「安全・安心体制」が挙げられている。また、10代、50代、70代以上では「社会保障」、20代と70代以上では「道路・河川」も挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「地域間・国際交流」、10代以外で「スポーツ」、20代と40代以上で「芸術・文化」が挙げられており、20代以下、40代から60代、80代では「花火産業構想」、20代から70代では「市民協働」が挙げられている。また、30代と70代では「地域情報化」、10代と80代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、南外地域以外で「保健・医療」が挙げられており、神岡・太田地域では1位となっている。協和・南外地域以外では「子育て」が挙げられており、西仙北・中仙・仙北地域で1位となっている。また、神岡・中仙・太田地域で「農林水産業」、西仙北・協和・南外・太田地域で「社会保障」、中仙・協和・南外・仙北地域で「道路・河川」がそれぞれ挙げられており、協和地域では「道路・河川」、南外地域では「社会保障」がそれぞれ1位となっている。

下位項目については、全ての地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」「芸術・文化」が挙げられている。また、大曲・神岡・中仙・仙北・太田地域で「花火産業構想」、南外・太田地域以外で「市民協働」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

■男性 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.34
2	雇用・就労	4.33
	保健・医療	4.33
4	社会福祉	4.25
5	安全・安心体制	4.20
	商工業	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.51
26	市民協働	3.46
27	花火産業構想	3.45
28	スポーツ	3.38
29	地域間・国際交流	3.24

■女性 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.46
2	子育て	4.41
3	安全・安心体制	4.38
4	社会福祉	4.37
5	雇用・就労	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.73
26	花火産業構想	3.66
27	芸術・文化	3.64
28	地域間・国際交流	3.53
29	スポーツ	3.50

図表 15 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	5.00
2	子育て	4.88
3	自然・環境衛生	4.75
	上・下水道	4.75
5	保健・医療	4.63
	安全・安心体制	4.63
	社会保障	4.63
	観光	4.63
	移住・定住	4.63
	雇用・就労	4.63

(下位)

順位	項目	重要度
24	花火産業構想	3.88
	空き家対策	3.88
	商工業	3.88
27	地域間・国際交流	3.75
	出会い・結婚	3.75
29	市街地	3.63

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.49
2	子育て	4.38
3	雇用・就労	4.37
	道路・河川	4.37
5	社会福祉	4.36
	保健・医療	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.87
26	スポーツ	3.82
27	市民協働	3.79
28	芸術・文化	3.74
29	地域間・国際交流	3.72

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.70
2	社会福祉	4.49
3	雇用・就労	4.48
4	保健・医療	4.46
5	商工業	4.44
	安全・安心体制	4.44

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.67
26	地域活性化	3.61
27	市民協働	3.53
28	スポーツ	3.42
29	地域間・国際交流	3.21

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.58
2	雇用・就労	4.57
3	子育て	4.47
4	安全・安心体制	4.42
5	社会福祉	4.39

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.62
26	芸術・文化	3.47
27	花火産業構想	3.39
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.22

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.42
2	雇用・就労	4.39
3	子育て	4.36
4	保健・医療	4.34
5	社会保障	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.58
26	芸術・文化	3.53
27	花火産業構想	3.37
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.22

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.30
2	雇用・就労	4.28
	保健・医療	4.28
4	安全・安心体制	4.27
	農林水産業	4.27

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.52
	芸術・文化	3.52
27	花火産業構想	3.46
28	スポーツ	3.39
29	地域間・国際交流	3.36

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	道路・河川	4.21
3	社会福祉	4.20
4	社会保障	4.19
5	安全・安心体制	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.59
	市民協働	3.59
27	地域情報化	3.58
28	地域間・国際交流	3.53
29	スポーツ	3.47

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	道路・河川	4.37
2	保健・医療	4.30
3	社会保障	4.28
4	安全・安心体制	4.27
5	子育て	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.67
26	地域間・国際交流	3.64
	花火産業構想	3.64
28	芸術・文化	3.61
29	スポーツ	3.43

図表 16 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.39
2	安全・安心体制	4.38
3	保健・医療	4.37
4	子育て	4.33
	社会福祉	4.33

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.43
2	農林水産業	4.42
3	安全・安心体制	4.39
4	子育て	4.34
5	社会福祉	4.31

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.42
2	保健・医療	4.36
	安全・安心体制	4.36
4	雇用・就労	4.33
5	社会保障	4.31

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.46
3	社会福祉	4.44
4	道路・河川	4.37
5	農林水産業	4.35

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	道路・河川	4.41
2	保健・医療	4.38
	社会福祉	4.38
4	雇用・就労	4.33
5	社会保障	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.61
26	芸術・文化	3.58
27	市民協働	3.56
28	スポーツ	3.39
29	地域間・国際交流	3.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.72
26	スポーツ	3.71
27	芸術・文化	3.67
28	花火産業構想	3.55
29	地域間・国際交流	3.50

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.49
26	市街地	3.42
27	芸術・文化	3.38
	地域間・国際交流	3.38
29	スポーツ	3.07

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.73
26	芸術・文化	3.64
27	地域間・国際交流	3.57
28	スポーツ	3.51
29	花火産業構想	3.45

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.56
	芸術・文化	3.56
27	市民協働	3.51
28	地域間・国際交流	3.38
29	スポーツ	3.35

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会保障	4.54
2	道路・河川	4.27
	上・下水道	4.27
5	学校教育	4.27
	雇用・就労	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
24	スポーツ	3.79
	地域活性化	3.79
26	市街地	3.73
	芸術・文化	3.73
28	男女共同参画	3.71
29	地域間・国際交流	3.47

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.40
3	雇用・就労	4.38
4	商工業	4.31
5	社会福祉	4.20
	道路・河川	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.68
26	花火産業構想	3.67
27	スポーツ	3.63
28	市民協働	3.60
29	地域間・国際交流	3.28

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.42
2	子育て	4.39
3	農林水産業	4.26
4	社会福祉	4.25
5	社会保障	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.51
	地域間・国際交流	3.51
27	芸術・文化	3.47
28	スポーツ	3.45
29	花火産業構想	3.31

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が 1.50 (昨年度 1.42)、「商工業」が 1.33 (昨年度 1.20)、「空き家対策」が 1.08 (昨年度 1.06) の順となっており、上位 4 項目までは昨年度と同じ順位となっている。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が -0.04 (昨年度 0.00)、「地域間・国際交流」が 0.12 (昨年度 0.07)、「花火産業構想」が 0.15 (昨年度 0.16) の順となっており、下位 3 項目は昨年度と同じ順位となっている。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に上昇したが、重要度の上昇幅が大きかったため、結果的に要望度も全体的に上昇している。

要望度が 0.15 ポイント以上上昇した項目は、0.94 で 5 位の「出会い・結婚」(昨年度から 0.18 ポイント増)で昨年度の 12 位から大きく順位を上げた。その他の項目については大きな順位の変動は無かった。

図表 17 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↔	1.50	1.42	0.08
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	1.33	1.20	0.13
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	←	1.08	1.06	0.02
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↔	1.00	0.92	0.08
5	12	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↑	0.94	0.76	0.18
6	5	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	0.91	0.91	0.00
7	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	0.89	0.90	▲ 0.01
8	7	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	0.87	0.87	0.00
9	8	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	0.84	0.84	0.00
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.82	0.82	0.00
10	9	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.82	0.83	▲ 0.01
12	11	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↔	0.76	0.81	▲ 0.05
13	14	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.75	0.73	0.02
14	15	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↔	0.73	0.65	0.08
15	16	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↔	0.70	0.59	0.11
16	17	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↔	0.68	0.57	0.11
16	13	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↔	0.68	0.75	▲ 0.07
18	17	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↔	0.63	0.57	0.06
19	22	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↔	0.61	0.49	0.12
20	23	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↔	0.56	0.46	0.10
21	20	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.54	0.50	0.04
22	19	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	0.52	0.53	▲ 0.01
23	20	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	0.48	0.50	▲ 0.02
24	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↔	0.42	0.28	0.14
25	25	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	0.33	0.36	▲ 0.03
26	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↔	0.30	0.37	▲ 0.07
27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.15	0.16	▲ 0.01
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↔	0.12	0.07	0.05
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	-0.04	0.00	▲ 0.04

※要望度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↔ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↔ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

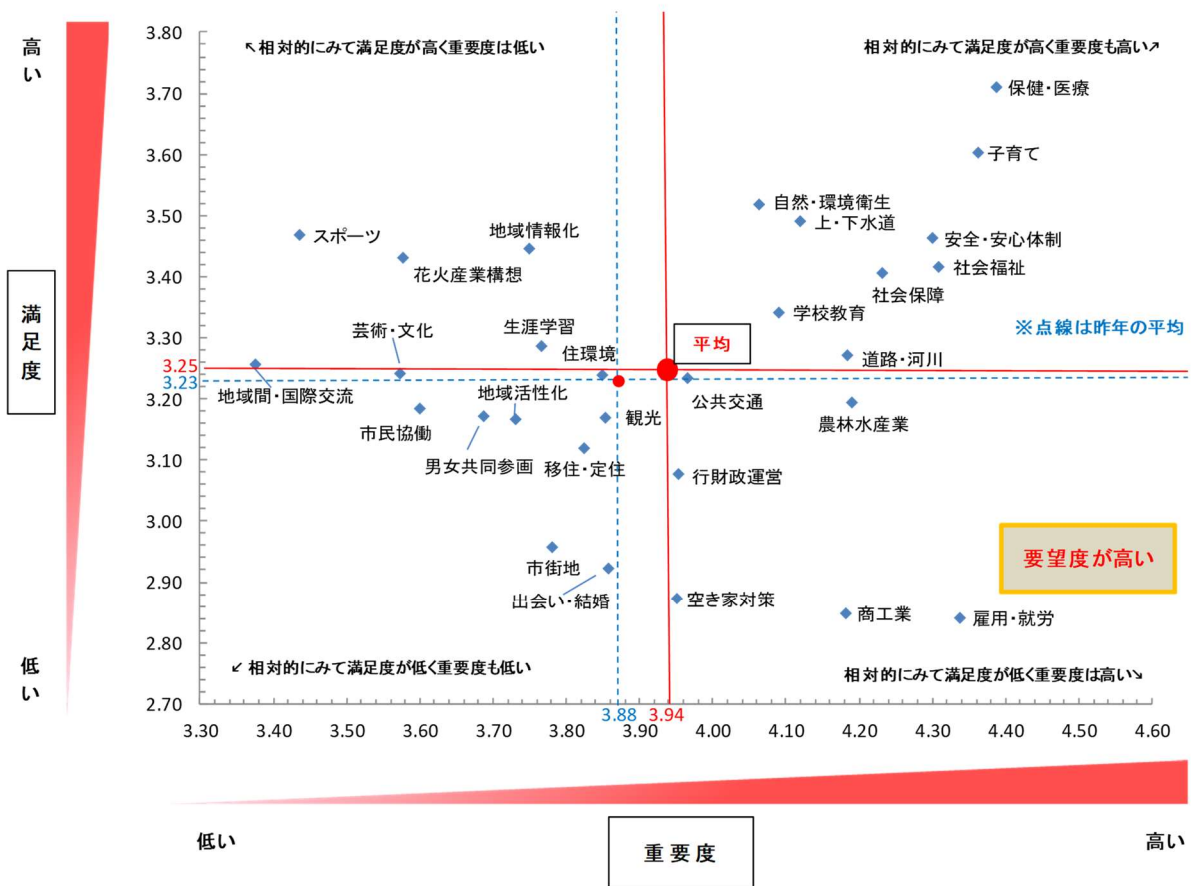
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

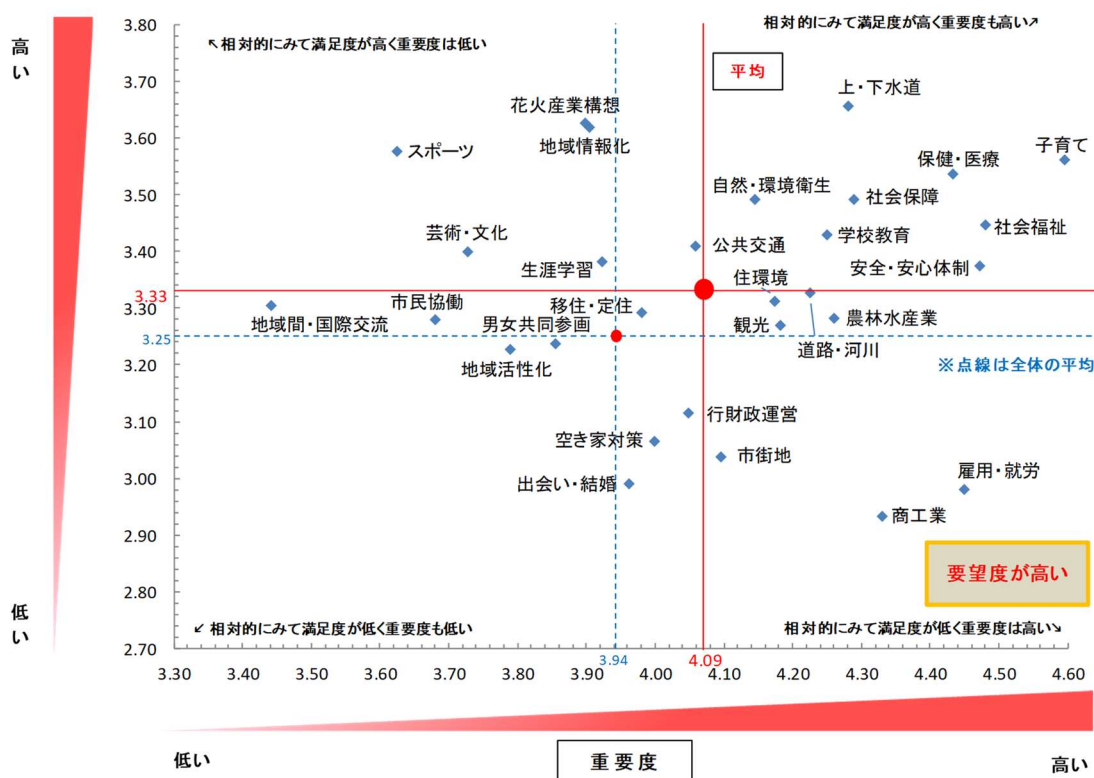
18歳から39歳まで(図表19)、40歳から64歳まで(図表20)、65歳以上(図表21)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に満足度と重要度のどちらも高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「保健・医療」が最も高いのに対し、「上・下水道」が最も高くなっている。また、重要度は「子育て」が最も高くなっている。

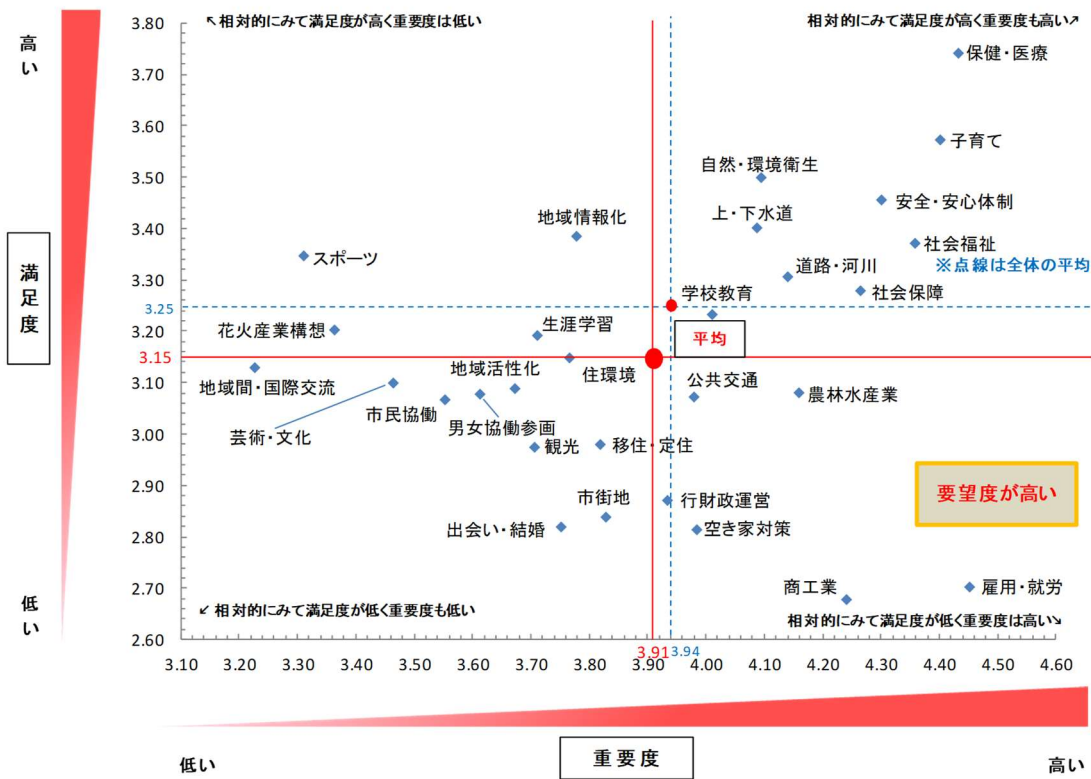
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。重要度は、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層に共通する「雇用・就労」「商工業」に加え、「空き家対策」「道路・河川」も高くなっている。満足度は、他の年齢層では「商工業」が最も低くなっているのに対し、「空き家対策」が最も低くなっている。また、重要度は、他の年齢層では「地域間・国際交流」が最も低くなっているのに対し、「スポーツ」が最も低くなっている。

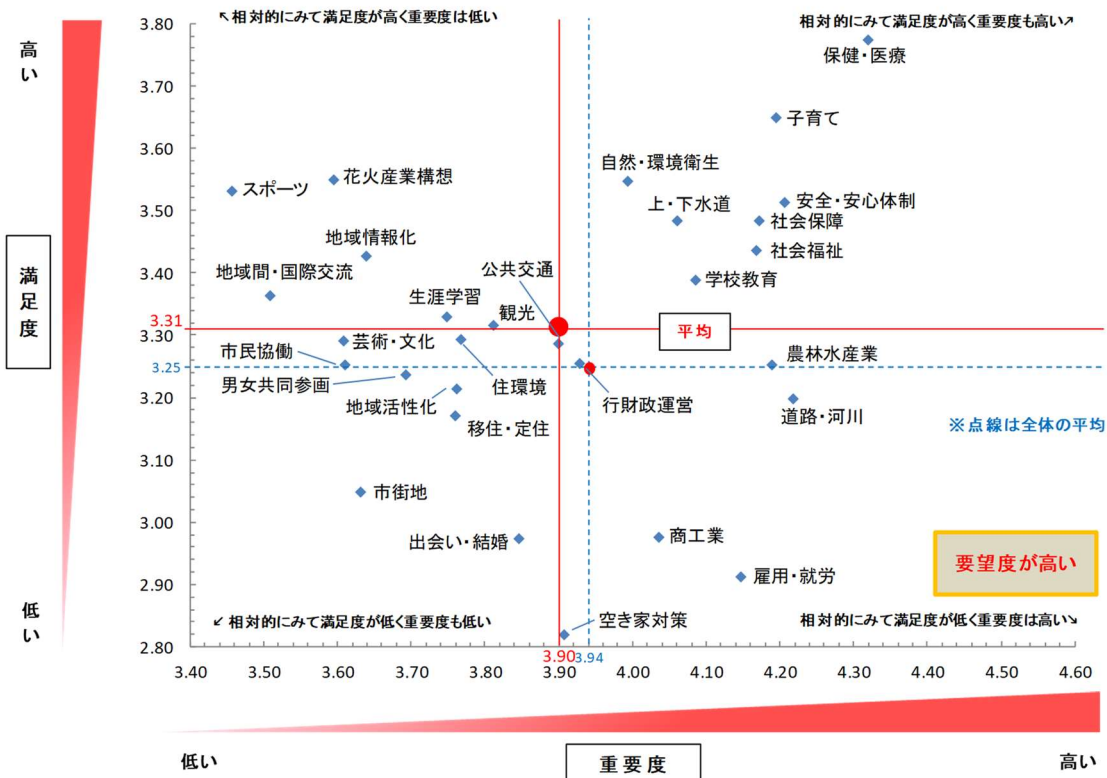
図表19 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

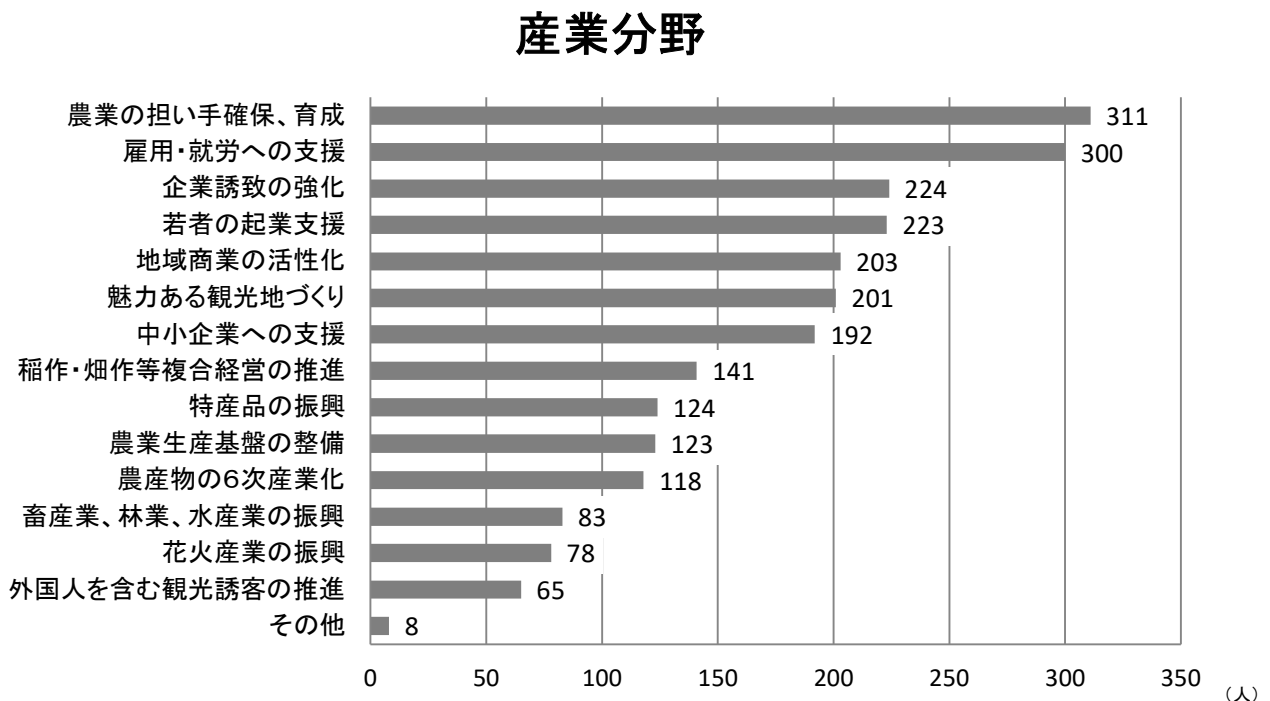
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客の推進」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代で「若者の起業支援」、20代と60代以上で「農業の担い手確保、育成」、30代から50代で「雇用・就労への支援」が最も多くなっている。また、10代から50代では「魅力ある観光地づくり」、40代以上で「企業誘致の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、上位の項目に大きな差異は見られないが、神岡・西仙北・協和・仙北・太田地域では全体の上位5項目に入っていない「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	7
2	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
4	地域商業の活性化	4
	特産品の振興	4

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
	中小企業への支援	16
2	魅力ある観光地づくり	16
	雇用・就労への支援	16
5	若者の起業支援	15

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	36
2	中小企業への支援	30
3	農業の担い手確保、育成	29
4	若者の起業支援	27
5	地域商業の活性化	26
	魅力ある観光地づくり	26

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	50
2	農業の担い手確保、育成	48
3	中小企業への支援	39
4	企業誘致の強化	36
	魅力ある観光地づくり	36

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	56
2	企業誘致の強化	47
3	農業の担い手確保、育成	42
4	魅力ある観光地づくり	33
5	中小企業への支援	32

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	雇用・就労への支援	64
3	若者の起業支援	52
4	企業誘致の強化	47
5	地域商業の活性化	46

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	雇用・就労への支援	58
3	若者の起業支援	50
4	企業誘致の強化	44
5	地域商業の活性化	38

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	16
2	雇用・就労への支援	15
3	若者の起業支援	14
4	地域商業の活性化	12
5	企業誘致の強化	11

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	130
2	農業の担い手確保、育成	125
3	若者の起業支援	95
4	企業誘致の強化	92
5	地域商業の活性化	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	企業誘致の強化	24
	雇用・就労への支援	24
3	農業の担い手確保、育成	22
4	魅力ある観光地づくり	18
5	若者の起業支援	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
2	雇用・就労への支援	31
3	若者の起業支援	24
4	地域商業の活性化	23
5	魅力ある観光地づくり	22

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
	雇用・就労への支援	39
3	地域商業の活性化	31
	若者の起業支援	31
5	企業誘致の強化	30

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用・就労への支援	21
3	企業誘致の強化	15
	魅力ある観光地づくり	15
5	地域商業の活性化	14
	若者の起業支援	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	8
	農業生産基盤の整備	8
3	稲作・畑作等複合経営の推進	7
	地域商業の活性化	7
5	中小企業への支援	6
	若者の起業支援	6
	特産品の振興	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	24
3	企業誘致の強化	23
4	地域商業の活性化	19
	魅力ある観光地づくり	19

■太田地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	24
2	農業の担い手確保、育成	23
3	若者の起業支援	21
4	企業誘致の強化	18
	魅力ある観光地づくり	18

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

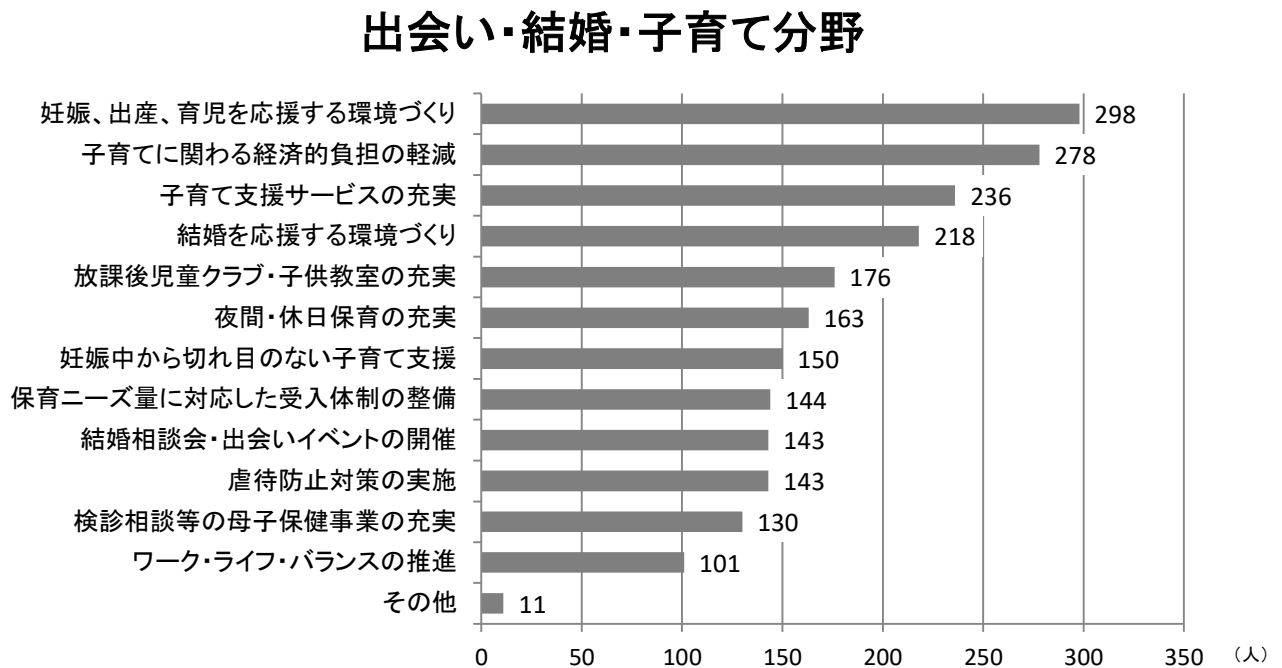
さらに推進すべき取り組みの上位は、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの推進」「検診相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の実施」「結婚相談会・出会いイベントの開催」の順となっている。

年代別で見ると、10代から30代と50代で全体の上位5項目に入っていない「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が上位に入っている。また、70代以上で「結婚を応援する環境づくり」が「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」よりも上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で子育てに関する項目が多く挙げられている。また、大曲・中仙・南外・太田地域では「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が上位に入っている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	妊娠中から切れ目のない子育て支援	5
	子育て支援サービスの充実	5
	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	4
	ワーク・ライフ・バランスの推進	4

■20代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	20
3	子育て支援サービスの充実	17
4	結婚を応援する環境づくり	15
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	13
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	13

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
3	子育て支援サービスの充実	27
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	26
5	結婚を応援する環境づくり	25
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	子育て支援サービスの充実	36
4	結婚を応援する環境づくり	31
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	31

■50代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	57
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
3	子育て支援サービスの充実	39
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
5	結婚を応援する環境づくり	28
	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	28

■60代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	64
2	子育て支援サービスの充実	60
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
4	結婚を応援する環境づくり	49
5	夜間・休日保育の充実	40

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	54
2	結婚を応援する環境づくり	53
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
4	子育て支援サービスの充実	38
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	15
	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	13
	子育て支援サービスの充実	13
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	9

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	120
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	107
3	子育て支援サービスの充実	94
4	結婚を応援する環境づくり	80
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	75

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	結婚を応援する環境づくり	24
	子育て支援サービスの充実	24
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	17
3	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	15
4	夜間・休日保育の充実	14
5	結婚を応援する環境づくり	13

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
2	結婚を応援する環境づくり	23
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
4	子育て支援サービスの充実	20
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 ワーク・ライフ・バランスの推進	15

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	21
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
3	子育て支援サービスの充実	19
4	夜間・休日保育の充実	16
5	結婚を応援する環境づくり	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
3	結婚を応援する環境づくり	38
4	子育て支援サービスの充実	32
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	26

■南外地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
3	子育て支援サービスの充実	10
4	結婚を応援する環境づくり	5
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実	4

■太田地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
2	子育て支援サービスの充実	24
	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
4	結婚を応援する環境づくり	20
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実	15

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

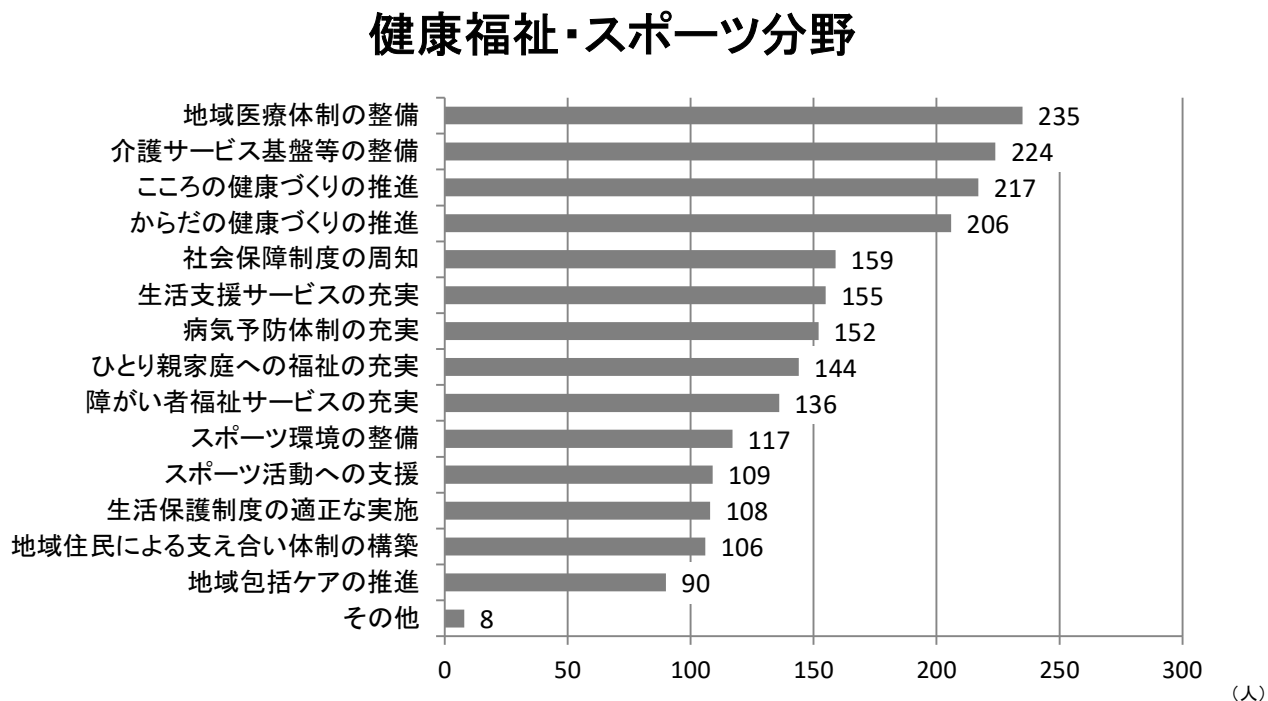
さらに推進すべき取り組みの上位は、「地域医療体制の整備」「介護サービス基盤等の整備」「こころの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの推進」「地域住民による支え合い体制の構築」「生活保護制度の適正な実施」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「地域医療体制の整備」、50代以外で「からだの健康づくりの推進」、80代以外で「こころの健康づくりの推進」が上位に入っている。また、20代から40代で「ひとり親家庭への福祉の充実」、50代、60代、80代で「生活支援サービスの充実」、70代以上で「病気予防体制の充実」が上位に入っており、10代では全体で下位に入っているスポーツに関する項目が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・西仙北・中仙・協和地域では「地域医療体制の整備」が最も多くなっている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「病気予防体制の充実」「生活支援サービスの充実」が多く挙げられている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	5
	社会保障制度の周知	5
3	からだの健康づくりの推進	4
	地域住民による支え合い体制の構築	4
5	介護サービス基盤等の整備	3
	障がい者福祉サービスの充実	3
	スポーツ活動への支援	3
	スポーツ環境の整備	3

■30代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	30
2	地域医療体制の整備	29
3	からだの健康づくりの推進	23
4	介護サービス基盤等の整備	22
5	ひとり親家庭への福祉の充実	21

■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	39
2	地域医療体制の整備	38
3	社会保障制度の周知	31
4	こころの健康づくりの推進	28
5	生活支援サービスの充実	27

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	50
2	地域医療体制の整備	45
3	からだの健康づくりの推進	40
	こころの健康づくりの推進	40
5	病気予防体制の充実	39

■20代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	21
2	こころの健康づくりの推進	20
3	地域医療体制の整備	15
4	ひとり親家庭への福祉の充実	14
5	介護サービス基盤等の整備	13

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	37
2	こころの健康づくりの推進	36
3	介護サービス基盤等の整備	32
4	からだの健康づくりの推進	27
	ひとり親家庭への福祉の充実	27
	社会保障制度の周知	27

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	55
2	介護サービス基盤等の整備	50
3	からだの健康づくりの推進	49
4	こころの健康づくりの推進	43
5	生活支援サービスの充実	37

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	14
	地域医療体制の整備	14
	介護サービス基盤等の整備	14
4	病気予防体制の充実	13
	生活支援サービスの充実	13

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	95
2	地域医療体制の整備	90
3	からだの健康づくりの推進	86
4	介護サービス基盤等の整備	84
5	病気予防体制の充実	65

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
2	からだの健康づくりの推進	16
	介護サービス基盤等の整備	16
4	スポーツ環境の整備	14
5	こころの健康づくりの推進	13
	社会保障制度の周知	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	30
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	こころの健康づくりの推進	21
	ひとり親家庭への福祉の充実	21
5	からだの健康づくりの推進	17
	障がい者福祉サービスの充実	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	37
2	介護サービス基盤等の整備	34
3	からだの健康づくりの推進	33
4	こころの健康づくりの推進	28
5	社会保障制度の周知	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	20
2	介護サービス基盤等の整備	19
3	生活支援サービスの充実	14
4	からだの健康づくりの推進	13
5	こころの健康づくりの推進	11
	社会保障制度の周知	11
	生活保護制度の適正な実施	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	7
2	地域医療体制の整備	6
	介護サービス基盤等の整備	6
4	病気予防体制の充実	5
	地域包括ケアの推進	5
	生活支援サービスの充実	5
	生活保護制度の適正な実施	5
	スポーツ活動への支援	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	21
2	こころの健康づくりの推進	20
3	社会保障制度の周知	16
4	地域医療体制の整備	15
	介護サービス基盤等の整備	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	23
2	こころの健康づくりの推進	22
3	地域医療体制の整備	18
	病気予防体制の充実	18
5	生活支援サービスの充実	17

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

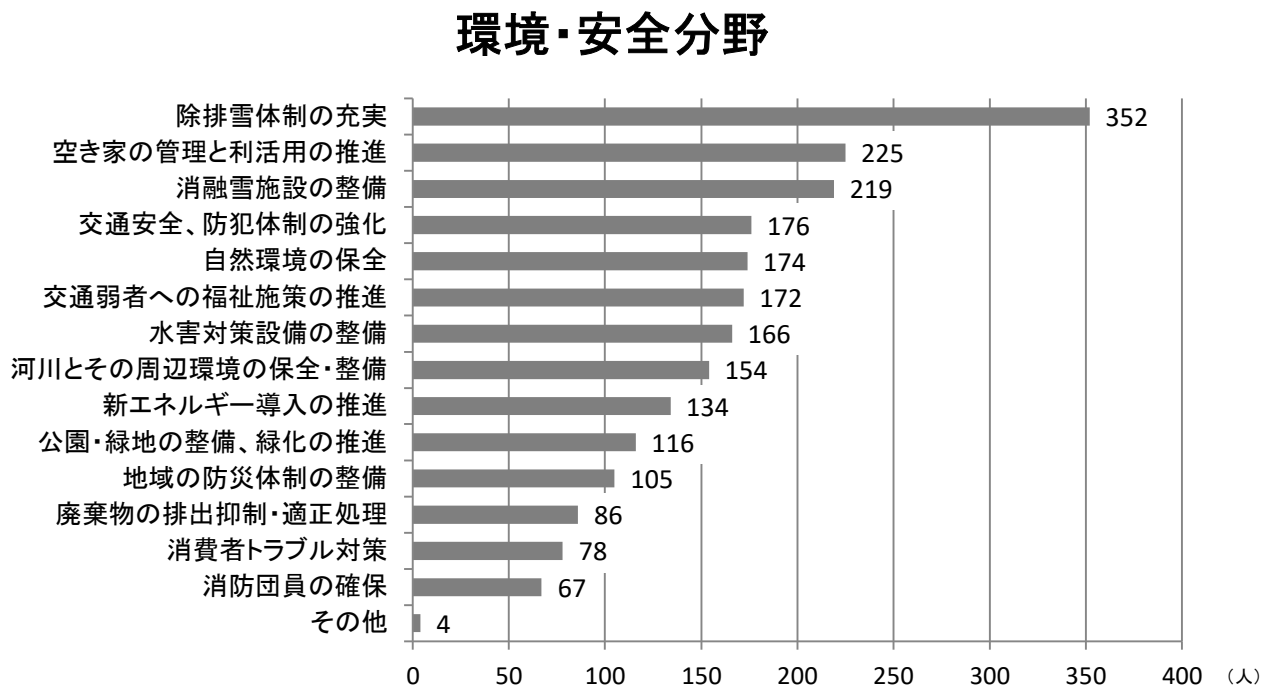
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の管理と利活用の推進」「消融雪施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保」「消費者トラブル対策」「廃棄物の排出抑制・適正処理」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、10代では2番目に多くなっている。また、10代、40代、50代、70代以上では「交通弱者への福祉施策の推進」、20代、30代、60代で「水害対策設備の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、南外地域以外で「空き家の管理と利活用の推進」、中仙・太田地域以外で「消融雪施設の整備」が上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「交通弱者への福祉施策の推進」「河川とその周辺環境の保全・整備」が多く挙げられている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	6
2	除排雪体制の充実	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
4	交通弱者への福祉施策の推進	4
	公園・緑地の整備、緑化の推進	4

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	消融雪施設の整備	16
3	自然環境の保全	15
	交通安全、防犯体制の強化	15
5	水害対策設備の整備	13

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	44
2	消融雪施設の整備	33
3	空き家の管理と利活用の推進	24
4	自然環境の保全	20
	水害対策設備の整備	20
	公園・緑地の整備、緑化の推進	20

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	空き家の管理と利活用の推進	42
3	消融雪施設の整備	40
4	交通安全、防犯体制の強化	32
5	交通弱者への福祉施策の推進	30

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	消融雪施設の整備	37
3	空き家の管理と利活用の推進	36
4	交通弱者への福祉施策の推進	30
5	交通安全、防犯体制の強化	28

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	71
2	空き家の管理と利活用の推進	48
3	自然環境の保全	39
	水害対策設備の整備	39
5	消融雪施設の整備	37

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	65
2	空き家の管理と利活用の推進	45
3	消融雪施設の整備	39
4	交通安全、防犯体制の強化	38
5	交通弱者への福祉施策の推進	37

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
2	自然環境の保全	13
3	交通弱者への福祉施策の推進	12
	消融雪施設の整備	12
	空き家の管理と利活用の推進	12

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	155
2	消融雪施設の整備	108
3	空き家の管理と利活用の推進	85
4	自然環境の保全	70
5	水害対策設備の整備	68

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	35
2	水害対策設備の整備	23
3	交通安全、防犯体制の強化	22
	交通弱者への福祉施策の推進	22
	消融雪施設の整備	22
	空き家の管理と利活用の推進	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	自然環境の保全	18
3	空き家の管理と利活用の推進	14
4	交通安全、防犯体制の強化	13
	消融雪施設の整備	13

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	空き家の管理と利活用の推進	21
3	交通弱者への福祉施策の推進	18
	消融雪施設の整備	18
	河川とその周辺環境の保全・整備	18

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	空き家の管理と利活用の推進	16
3	交通安全、防犯体制の強化	13
	消融雪施設の整備	13
5	自然環境の保全	11

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	42
2	空き家の管理と利活用の推進	35
3	交通安全、防犯体制の強化	29
4	自然環境の保全	27
5	河川とその周辺環境の保全・整備	26

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	9
2	交通弱者への福祉施策の推進	6
	河川とその周辺環境の保全・整備	6
4	自然環境の保全	5
	消融雪施設の整備	5

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
3	交通弱者への福祉施策の推進	19
4	河川とその周辺環境の保全・整備	16
5	交通安全、防犯体制の強化	14

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

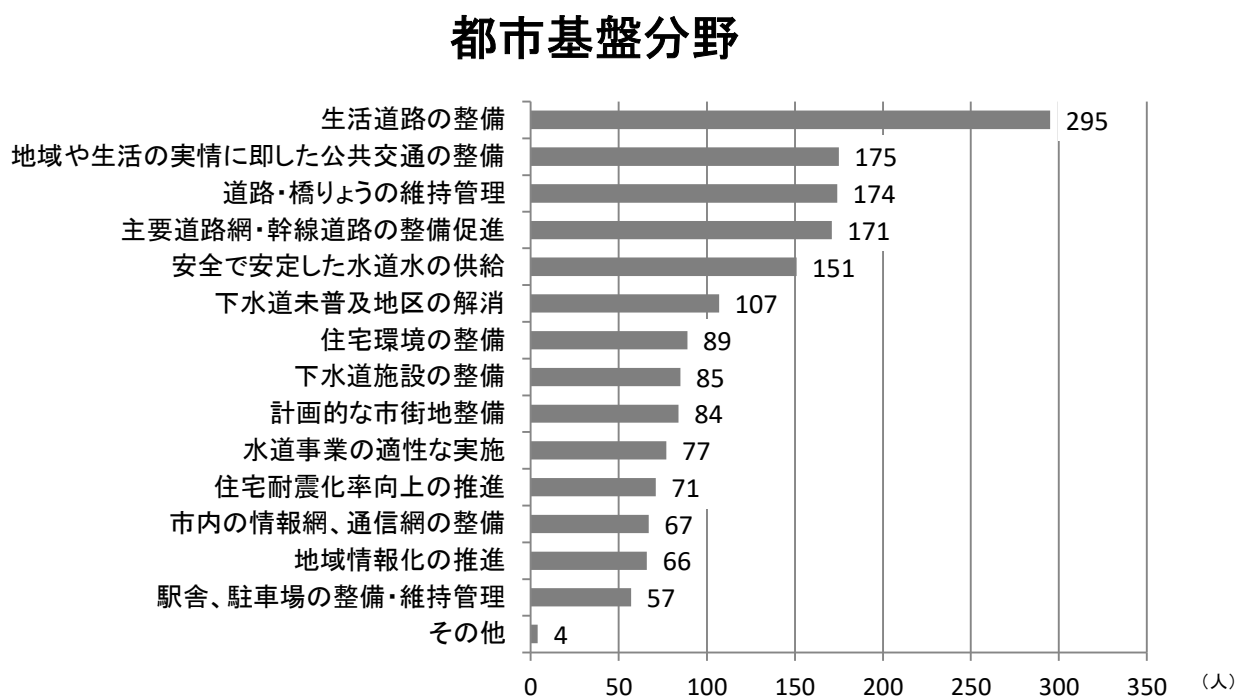
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「道路・橋りょうの維持管理」の順となっている。

一方、下位は、「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「地域情報化の推進」「市内の情報網、通信網の整備」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が最も多くなっており、「道路・橋りょうの維持管理」も上位に入っている。10代で「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、30代以下で「住宅環境の整備」が上位に入っている。また、40代と80代で「下水道未普及地区の解消」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和・仙北地域以外で「生活道路の整備」が最も多くなっており、協和・仙北地域でも2番目に多くなっている。また、西仙北・太田地域で「下水道未普及地区の解消」、南外地域では「住宅環境の整備」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	6
2	道路・橋りょうの維持管理	4
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	4
4	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
	住宅環境の整備	3
	安全で安定した水道水の供給	3

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
	道路・橋りょうの維持管理	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
5	計画的な市街地整備	9
	住宅環境の整備	9
	安全で安定した水道水の供給	9

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	28
3	道路・橋りょうの維持管理	23
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	住宅環境の整備	16

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	28
3	道路・橋りょうの維持管理	26
4	安全で安定した水道水の供給	24
5	下水道未普及地区の解消	23

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
3	道路・橋りょうの維持管理	28
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
5	安全で安定した水道水の供給	23

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	64
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	40
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	35
	道路・橋りょうの維持管理	35
	安全で安定した水道水の供給	35

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	57
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	41
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	33
4	道路・橋りょうの維持管理	29
5	安全で安定した水道水の供給	28

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	12
	下水道未普及地区の解消	12
4	道路・橋りょうの維持管理	10
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	121
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	72
3	道路・橋りょうの維持管理	62
4	安全で安定した水道水の供給	59
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	56

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
3	道路・橋りょうの維持管理	11
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	8
	安全で安定した水道水の供給	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	33
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
3	道路・橋りょうの維持管理	15
4	安全で安定した水道水の供給	13
	下水道未普及地区の解消	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	47
2	道路・橋りょうの維持管理	29
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	23
5	安全で安定した水道水の供給	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	安全で安定した水道水の供給	21
2	生活道路の整備	20
3	道路・橋りょうの維持管理	16
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	15
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	7
	道路・橋りょうの維持管理	7
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	6
4	住宅環境の整備	4
	安全で安定した水道水の供給	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24
2	生活道路の整備	21
3	道路・橋りょうの維持管理	18
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	14
	安全で安定した水道水の供給	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	18
4	道路・橋りょうの維持管理	14
	下水道未普及地区の解消	14

2. 5. 6 教育・交流分野に関する設問について

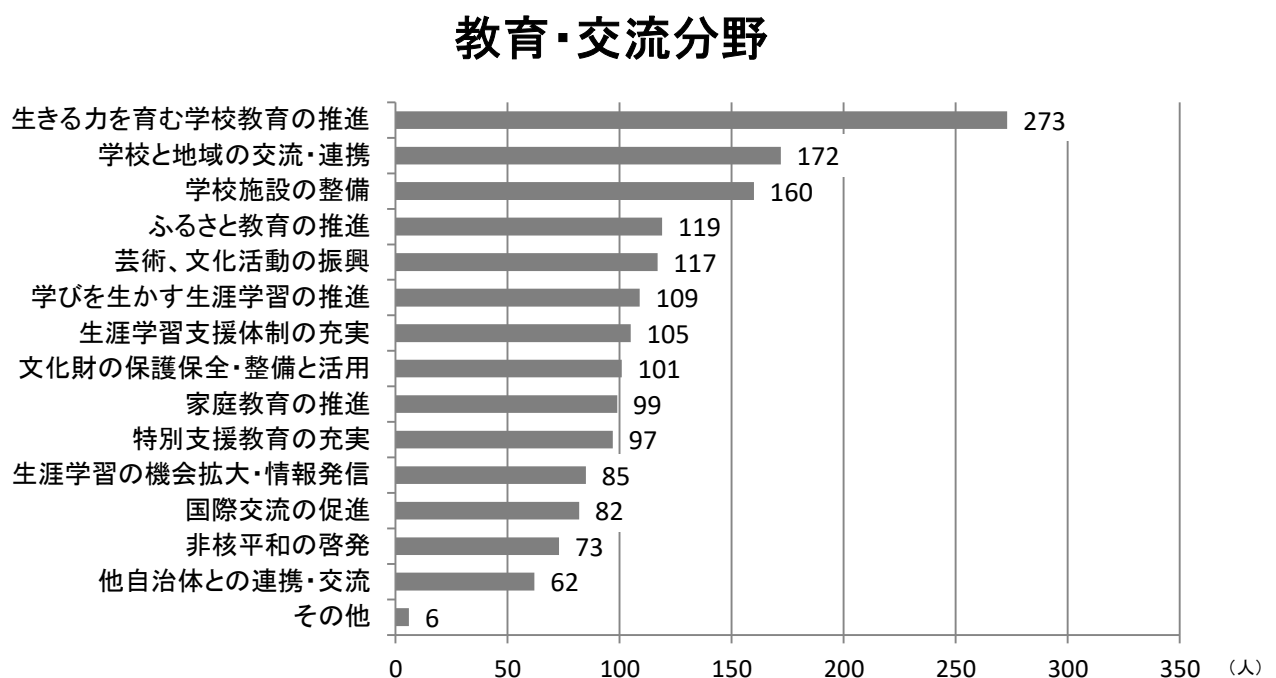
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」「学校と地域の交流・連携」「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「非核平和の啓発」「国際交流の促進」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっており、10代でも2番目に多くなっている。10代では「学校と地域の交流・連携」「国際交流の促進」が最も多くなっており、「学校と地域の交流・連携」は60代以上で2番目に多くなっている。また、20代から50代では「学校施設の整備」が2番目に多くなっている。ほかにも10代、40代、50代、80代で「文化財の保護保全・整備と活用」、30代、50代、70代で「学びを生かす生涯学習の推進」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、大曲・西仙北・中仙・南外・太田地域で「学びを生かす生涯学習の推進」、西仙北・中仙・仙北地域で「文化財の保護保全・整備と活用」、西仙北・協和・南外地域で「特別支援教育の充実」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	5
	国際交流の促進	5
3	生きる力を育む学校教育の推進	4
	芸術、文化活動の振興	4
5	学校施設の整備	3
	ふるさと教育の推進	3
	文化財の保護保全・整備と活用	3
	他自治体との連携・交流	3

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	20
2	学校施設の整備	15
3	学校と地域の交流・連携	13
4	ふるさと教育の推進	9
	芸術、文化活動の振興	9

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	32
2	学校施設の整備	28
3	学校と地域の交流・連携	16
	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	家庭教育の推進	15

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	41
2	学校施設の整備	36
3	学校と地域の交流・連携	33
4	特別支援教育の充実	23
5	ふるさと教育の推進	20
	芸術、文化活動の振興	20
	文化財の保護保全・整備と活用	20

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	42
2	学校施設の整備	22
3	芸術、文化活動の振興	21
4	学びを生かす生涯学習の推進	19
	文化財の保護保全・整備と活用	19

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	60
2	学校と地域の交流・連携	41
3	生涯学習支援体制の充実	28
4	学校施設の整備	26
5	ふるさと教育の推進	24

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	54
2	学校と地域の交流・連携	33
3	生涯学習支援体制の充実	26
4	学びを生かす生涯学習の推進	25
5	学校施設の整備	24

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	19
2	学校と地域の交流・連携	12
	ふるさと教育の推進	12
4	家庭教育の推進	8
5	文化財の保護保全・整備と活用	7

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	105
2	学校と地域の交流・連携	65
3	学校施設の整備	62
4	芸術、文化活動の振興	54
5	学びを生かす生涯学習の推進	50

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	23
2	学校と地域の交流・連携	17
3	学校施設の整備	14
4	芸術、文化活動の振興	10
5	家庭教育の推進	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	24
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	16
4	生涯学習支援体制の充実	14
	特別支援教育の充実	13
5	学びを生かす生涯学習の推進	13
	文化財の保護保全・整備と活用	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	38
2	学校施設の整備	27
3	学校と地域の交流・連携	22
4	ふるさと教育の推進	21
	家庭教育の推進	15
5	学びを生かす生涯学習の推進	15
	文化財の保護保全・整備と活用	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	23
2	学校と地域の交流・連携	15
3	ふるさと教育の推進	11
4	学校施設の整備	9
5	特別支援教育の充実	7
	国際交流の促進	7

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	12
2	特別支援教育の充実	4
	学校施設の整備	3
3	ふるさと教育の推進	3
	学びを生かす生涯学習の推進	3
	芸術、文化活動の振興	3

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	16
3	学校施設の整備	15
4	ふるさと教育の推進	13
5	芸術、文化活動の振興	11
	文化財の保護保全・整備と活用	11

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	25
2	学校施設の整備	14
3	学校と地域の交流・連携	12
	学びを生かす生涯学習の推進	12
5	芸術、文化活動の振興	11

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

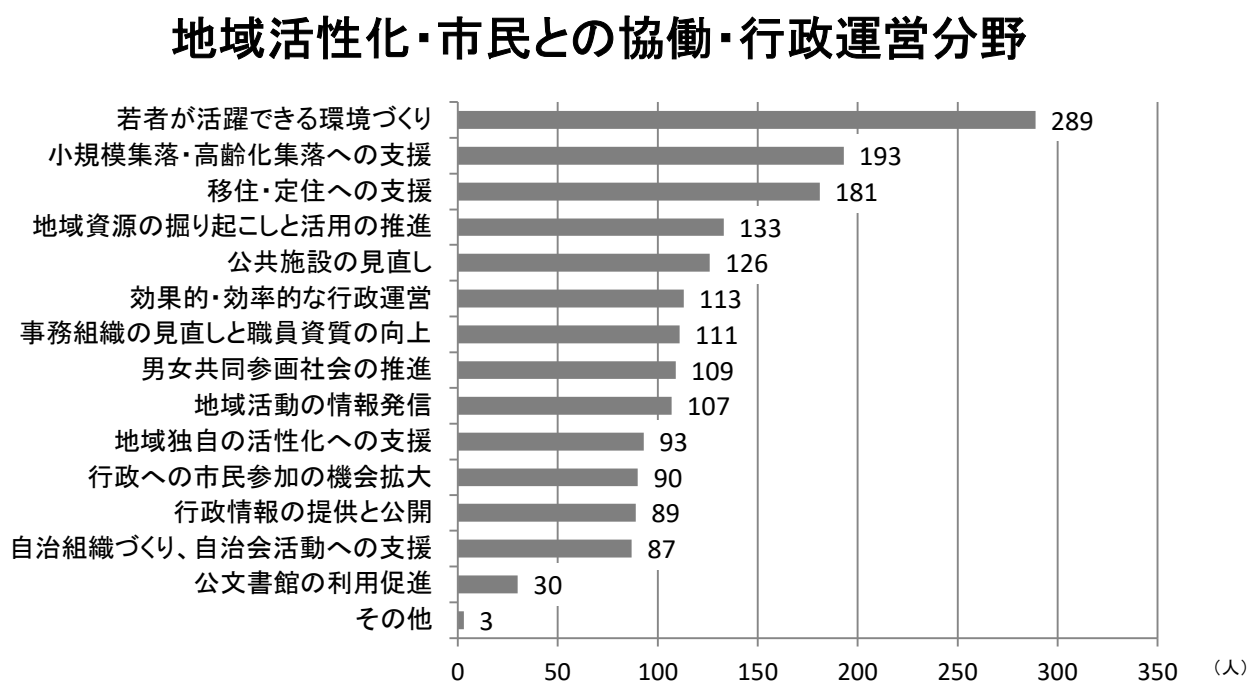
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」「自治組織づくり、自治会活動への支援」「行政情報の提供と公開」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、10代でも2番目に多くなっている。また、20代以下、40代、50代で「効果的・効率的な行政運営」、60代、80代で「事務組織の見直しと職員資質の向上」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和地域以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているが、協和地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっている。また、神岡・南外・太田地域で、全体の上位5項目に入っていない「事務組織の見直しと職員資質の向上」が上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	6
2	若者が活躍できる環境づくり	5
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	3
	地域活動の情報発信	3
	行政への市民参加の機会拡大	3
	男女共同参画社会の推進	3
	効果的・効率的な行政運営	3
	公共施設の見直し	3

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	移住・定住への支援	30
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	19
4	小規模集落・高齢化集落への支援	18
5	地域活動の情報発信	14

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	50
2	移住・定住への支援	33
3	小規模集落・高齢化集落への支援	30
4	効果的・効率的な行政運営	21
5	公共施設の見直し	18

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	50
2	小規模集落・高齢化集落への支援	46
3	移住・定住への支援	28
4	公共施設の見直し	26
5	行政への市民参加の機会拡大	24
	自治組織づくり、自治会活動への支援	24

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	14
3	男女共同参画社会の推進	12
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11
5	地域独自の活性化への支援	9
	効果的・効率的な行政運営	9

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	31
3	移住・定住への支援	28
4	効果的・効率的な行政運営	25
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	24
	公共施設の見直し	24

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	66
2	小規模集落・高齢化集落への支援	40
3	移住・定住への支援	38
4	公共施設の見直し	30
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	28

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	17
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10
4	地域独自の活性化への支援	9
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	8
	移住・定住への支援	8
	事務組織の見直しと職員資質の向上	8
	公共施設の見直し	8

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	120
2	移住・定住への支援	76
3	小規模集落・高齢化集落への支援	71
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	55
5	男女共同参画社会の推進	50

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	24
3	移住・定住への支援	20
4	公共施設の見直し	18
5	男女共同参画社会の推進	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	23
2	若者が活躍できる環境づくり	18
3	地域独自の活性化への支援	12
	移住・定住への支援	12
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	16
3	効果的・効率的な行政運営	15
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	13
	公共施設の見直し	13

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
3	地域活動の情報発信	12
	移住・定住への支援	12
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10
	行政への市民参加の機会拡大	10
	事務組織の見直しと職員資質の向上	10
	公共施設の見直し	10

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	移住・定住への支援	27
3	小規模集落・高齢化集落への支援	26
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	17
	公共施設の見直し	17

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	8
	自治組織づくり、自治会活動への支援	5
2	小規模集落・高齢化集落への支援	5
	移住・定住への支援	5
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	4
	事務組織の見直しと職員資質の向上	4
	効果的・効率的な行政運営	4

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	22
2	小規模集落・高齢化集落への支援	19
3	移住・定住への支援	13
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	12
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	11
	行政情報の提供と公開	11

2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「生活道路の整備」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「生活道路の整備」が上位に挙げられている。また、20代から60代で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、20代以下、50代、60代で「子育て支援サービスの充実」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられており、特に60代以下で上位に入っている。

10代で「若者の起業支援」、20代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているほか、40代以外で「若者が活躍できる環境づくり」、70代以上で「若者の起業支援」が上位に入るなど、若者への支援に関する項目も上位となっている。

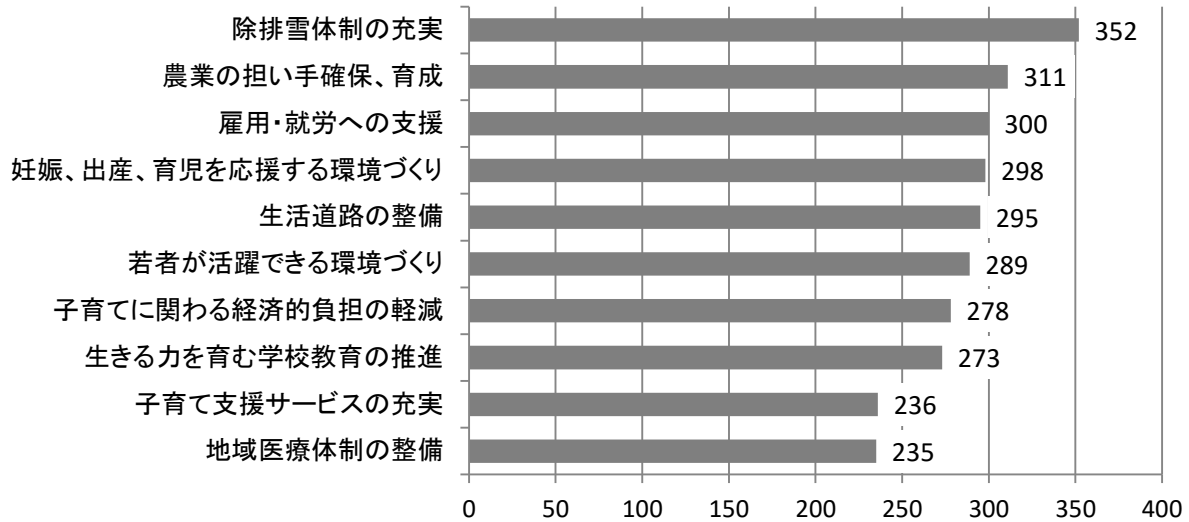
20代から50代と80代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、60代と70代でも2番目に多くなっている。

60代と70代では「農業の担い手確保、育成」が最も多く挙げられているほか、20代以上で「生きる力を育む学校教育の推進」、30代以上で「雇用・就労への支援」が上位に入っている。

地域別で見ると、大曲・神岡・西仙北・協和地域で「除排雪体制の充実」が最も多く挙げられており、その他の地域でも上位となっている。西仙北・仙北地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多く挙げられており、大曲・協和地域では2、3番目に多くなっている。中仙地域では「生活道路の整備」が最も多く挙げられており、西仙北・太田地域で2、3番目に多くなっている。南外地域では「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多く、協和・太田地域では3番目に多くなっている。太田地域では「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が最も多く、南外・協和地域では2、3番目に多くなっている。また、年代別同様、妊娠や出産、子育てに関する項目がどの地域でも上位に入っているほか、協和地域と太田地域以外では、若者の活躍や起業に関する項目も上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取り組み（回答数順）

すべての分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	7
2	空き家の管理と利活用の推進	6
	生活道路の整備	6
5	小規模集落・高齢化集落への支援	6
	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
	こころの健康づくりの推進	5
	社会保障制度の周知	5
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	5
	子育て支援サービスの充実	5
	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
	除排雪体制の充実	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
	学校と地域の交流・連携	5
	国際交流の促進	5
	若者が活躍できる環境づくり	5

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
	若者が活躍できる環境づくり	25
3	農業の担い手確保、育成	24
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
5	からだの健康づくりの推進	21
	生活道路の整備	21
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	20
	こころの健康づくりの推進	20
	生きる力を育む学校教育の推進	20
10	子育て支援サービスの充実	17
	主要道路網・幹線道路の整備促進 道路・橋りょうの維持管理	17

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
3	若者が活躍できる環境づくり	38
4	雇用・就労への支援	36
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
	消融雪施設の整備	33
7	生活道路の整備	32
	生きる力を育む学校教育の推進	32
	中小企業への支援	30
9	こころの健康づくりの推進	30
	移住・定住への支援	30

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	57
3	雇用・就労への支援	56
4	若者が活躍できる環境づくり	50
5	生活道路の整備	48
6	企業誘致の強化	47
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
8	農業の担い手確保、育成	42
	生きる力を育む学校教育の推進	42
10	子育て支援サービスの充実	39
	介護サービス基盤等の整備	39

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	除排雪体制の充実	65
3	雇用・就労への支援	58
4	生活道路の整備	57
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	54
	生きる力を育む学校教育の推進	54
7	結婚を応援する環境づくり	53
8	若者の起業支援	50
	介護サービス基盤等の整備	50
	若者が活躍できる環境づくり	50

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
3	雇用・就労への支援	50
4	農業の担い手確保、育成	48
	生活道路の整備	48
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
7	空き家の管理と利活用の推進	42
8	生きる力を育む学校教育の推進	41
9	消融雪施設の整備	40
10	中小企業への支援	39

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	除排雪体制の充実	71
3	若者が活躍できる環境づくり	66
	雇用・就労への支援	64
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	64
	生活道路の整備	64
7	子育て支援サービスの充実	60
	生きる力を育む学校教育の推進	60
9	地域医療体制の整備	55
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	53

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
	生きる力を育む学校教育の推進	19
3	生活道路の整備	18
4	若者が活躍できる環境づくり	17
5	農業の担い手確保、育成	16
	雇用・就労への支援	15
6	結婚を応援する環境づくり	15
	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
9	若者の起業支援	14
	からだの健康づくりの推進	14
	地域医療体制の整備	14
	介護サービス基盤等の整備	14

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	155
2	雇用・就労への支援	130
3	農業の担い手確保、育成	125
4	生活道路の整備	121
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	120
	若者が活躍できる環境づくり	120
7	消融雪施設の整備	108
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	107
9	生きる力を育む学校教育の推進	105
10	若者の起業支援	95
	こころの健康づくりの推進	95

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	企業誘致の強化	24
	雇用・就労への支援	24
	若者が活躍できる環境づくり	24
5	生きる力を育む学校教育の推進	23
6	農業の担い手確保、育成	22
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	21
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
9	子育て支援サービスの充実	19
	地域医療体制の整備	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
	除排雪体制の充実	35
3	生活道路の整備	33
4	雇用・就労への支援	31
5	地域医療体制の整備	30
	若者が活躍できる環境づくり	30
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
	介護サービス基盤等の整備	26
10	若者の起業支援	24
	結婚を応援する環境づくり	24
	子育て支援サービスの充実	24
	生きる力を育む学校教育の推進	24
	小規模集落・高齢化集落への支援	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	47
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
3	除排雪体制の充実	42
	若者が活躍できる環境づくり	42
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
6	農業の担い手確保、育成	39
	雇用・就労への支援	39
8	結婚を応援する環境づくり	38
	生きる力を育む学校教育の推進	38
10	地域医療体制の整備	37

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	農業の担い手確保、育成	25
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	生きる力を育む学校教育の推進	23
	小規模集落・高齢化集落への支援	23
6	雇用・就労への支援	21
	安全で安定した水道水の供給	21
8	地域医療体制の整備	20
	生活道路の整備	20
10	介護サービス基盤等の整備	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	12
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
4	子育て支援サービスの充実	10
5	除排雪体制の充実	9
6	農業の担い手確保、育成	8
	農業生産基盤の整備	8
	若者が活躍できる環境づくり	8
9	稲作・畑作等複合経営の推進	7
	地域商業の活性化	7
	からだの健康づくりの推進	7
	生活道路の整備	7
	道路・橋りょうの維持管理	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	除排雪体制の充実	29
3	若者が活躍できる環境づくり	25
4	雇用・就労への支援	24
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
7	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24
	企業誘致の強化	23
9	結婚を応援する環境づくり	23
	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22

■太田地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
2	生活道路の整備	27
3	除排雪体制の充実	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
6	生きる力を育む学校教育の推進	25
	雇用・就労への支援	24
9	子育て支援サービスの充実	24
	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
9	農業の担い手確保、育成	23
	介護サービス基盤等の整備	23

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

- ◆ **調査目的：** 市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めており、その一環として、窓口での手数料支払いのキャッシュレス化やオンライン申請による各種証明書の送付サービスを導入する予定としている。

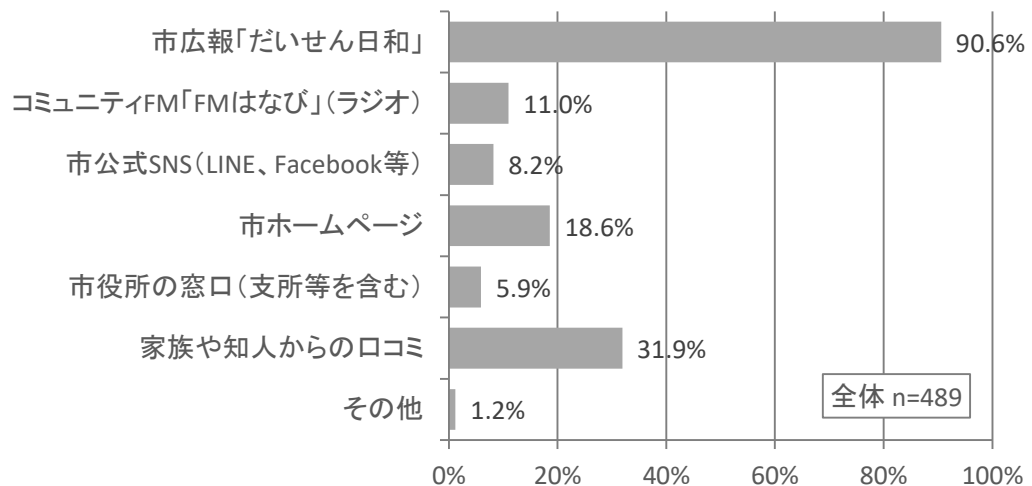
本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後も様々なサービスのデジタル化を推進するにあたっての参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

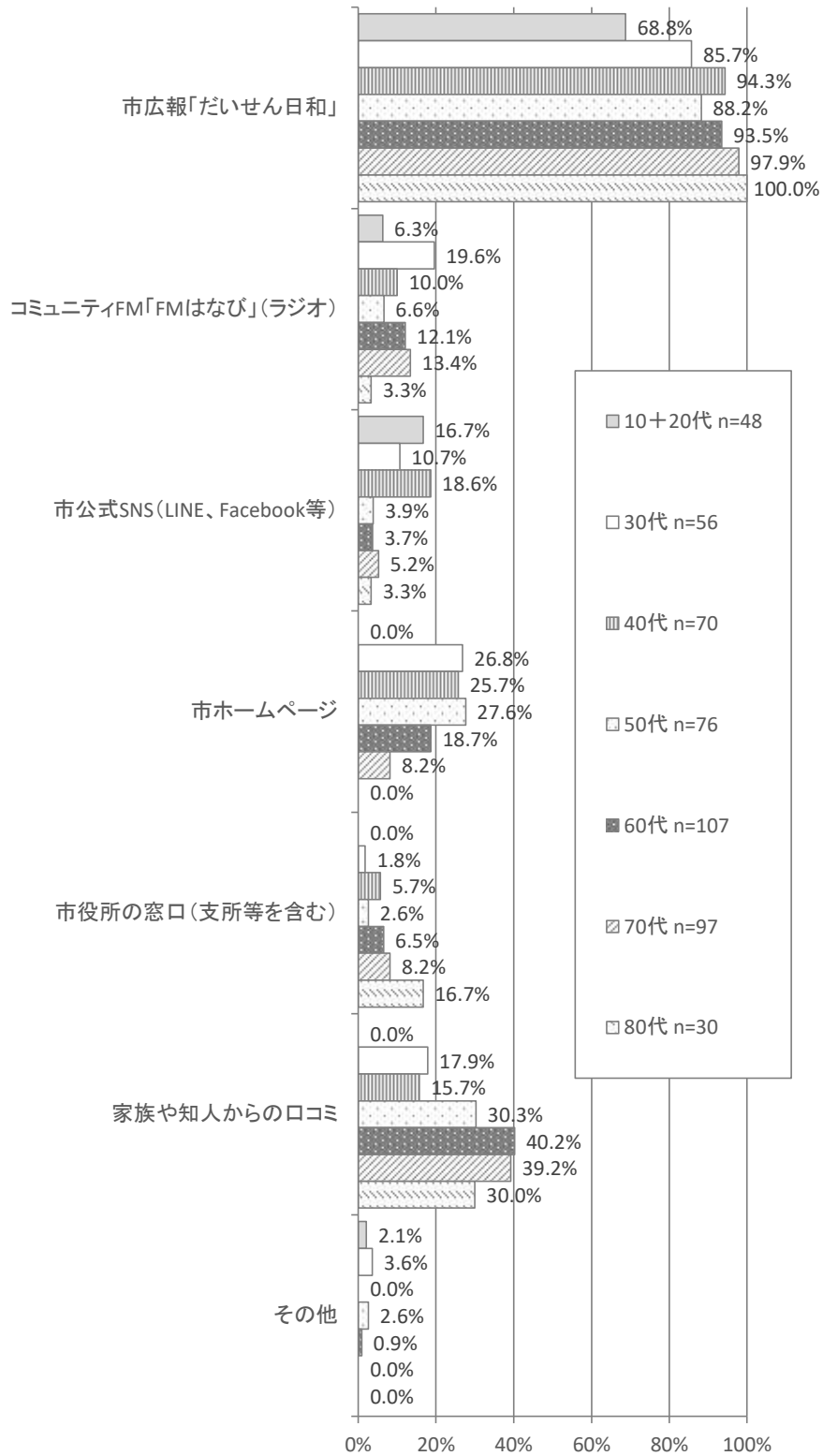
【問1】 市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が90.6%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が31.9%、「市ホームページ」が18.6%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、30代以上で8割を超えており、非常に高くなっている。40代以下では「市公式SNS（LINE、Facebook等）」、30代から60代では「市ホームページ」がやや高くなっている。50代以上では「口コミ」が3割を超えており、40代以下と差が生じている。また、80代では「市役所の窓口（支所等を含む）」が16.7%で、他の年代よりも高くなっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

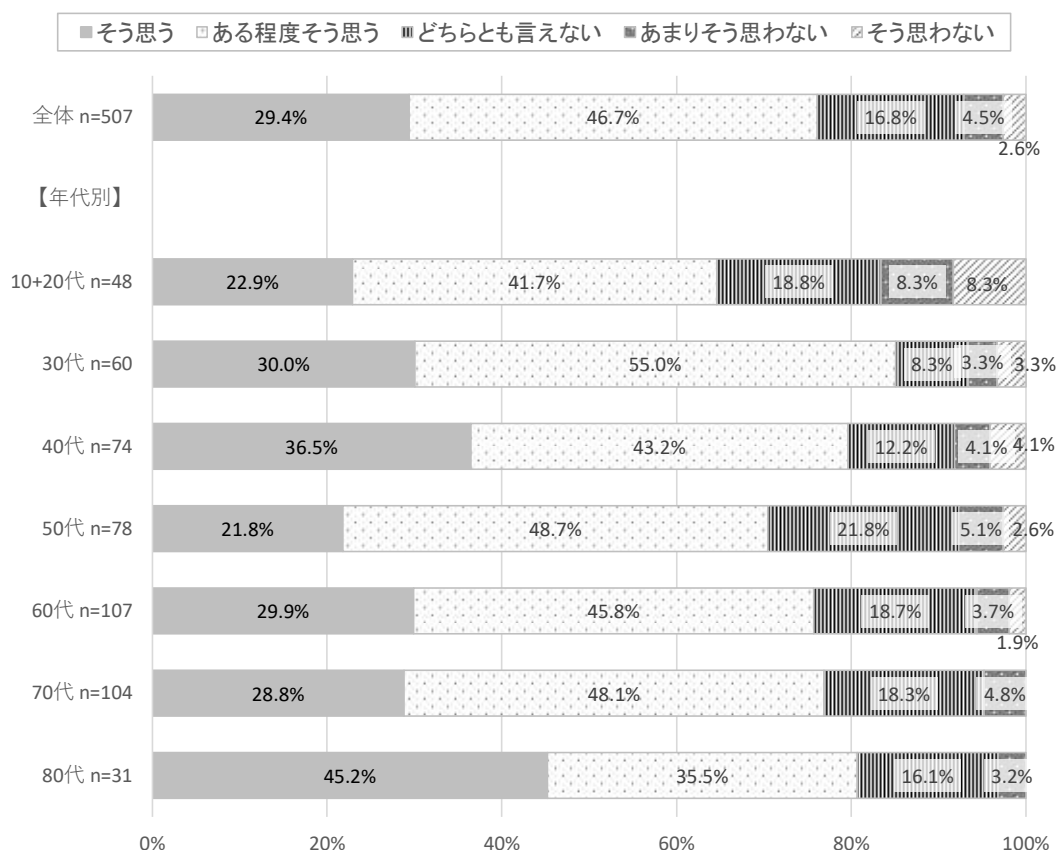


【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。

(情報の入手しやすさ)

- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が 29.4%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が 46.7%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは30代で85.0%、最も低いのは10代と20代を合わせた年代で64.6%となっており、20.4ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり情報入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（情報入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で16.6%、最も低いのは80代で3.2%となっており、その差は13.4ポイントとなっている。

図表 48 「市政情報入手手段」の利用しやすさ

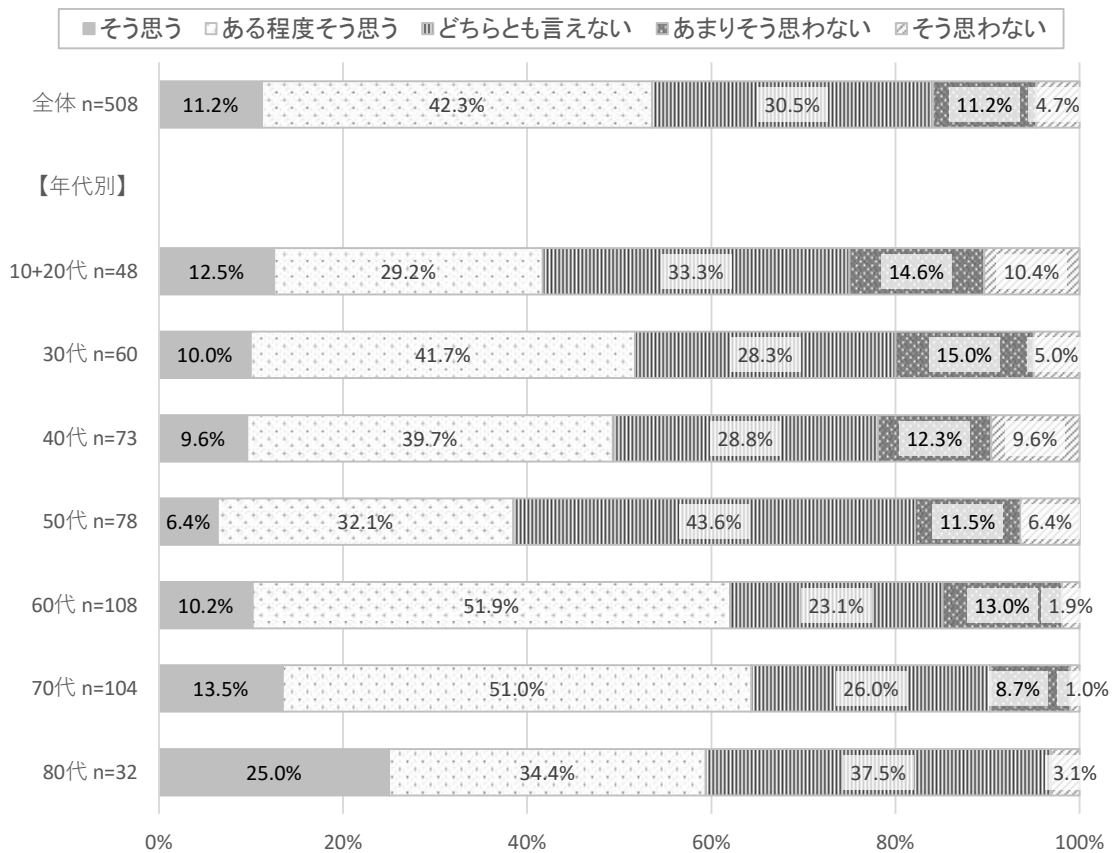


2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が 11.2%、「ある程度そう思う（どちらかといえば利用しやすい）」が 42.3%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 53.5%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 50代以下と 60代以上で異なる傾向が見られる。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は 70代が 64.5%で最も高くなっている。一方、「あまりそう思わない（どちらかといえば利用しにくい）」「そう思わない（利用しにくい）」を合わせた割合は 10代と 20代を合わせた年代が 25.0%で最も高くなっており、程度を問わず利用しにくいと回答した方の割合は年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。

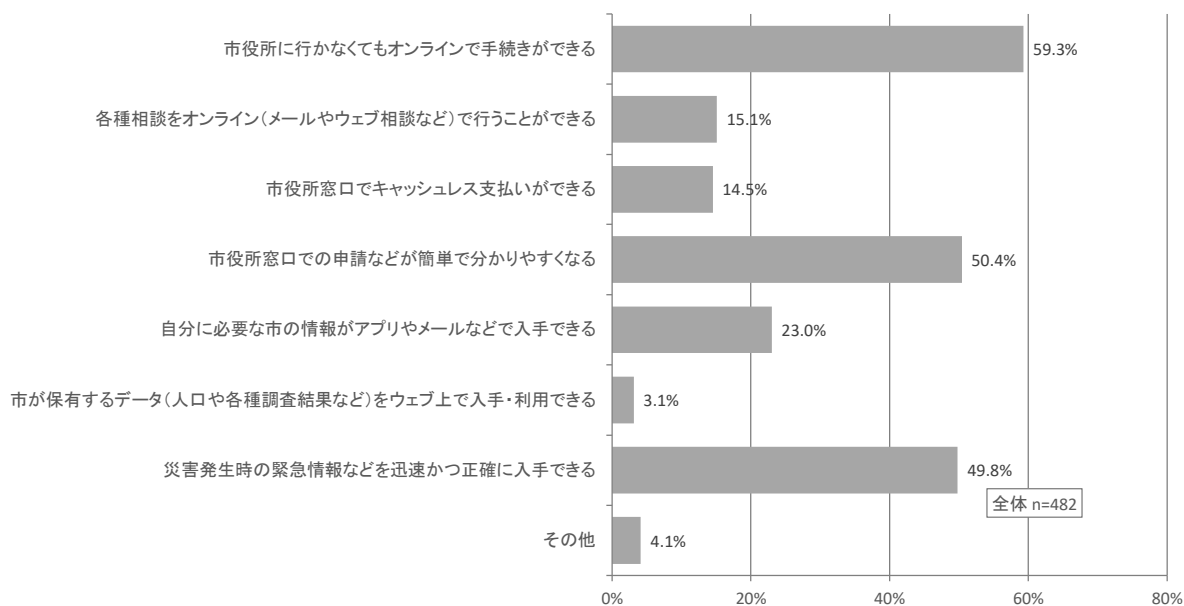
図表 50 「市のサービスの利用しやすさ」



【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）が 59.3%で最も高く、次いで「（デジタル化によって）市役所窓口での申請などが簡単でわかりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）が 50.4%、続いて「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が 49.8%となっている。
- 年代別にみると、「オンライン手続き」については、10代から50代で7割を超えているのに対し、60代以上では5割を下回っており、年代が上がるにつれて低くなっている。一方で、「申請が簡単になる」については、60代以上で5割を超えているが、50代以下では5割を下回っている。「各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる」については、10代と20代を合わせた年代が28.9%で最も高く、次いで30代が22.0%、80代以上が19.2%となっている。「緊急情報」については60代が61.0%で、最も高くなっている。40代以下では「市役所窓口でキャッシュレス支払いができる」、50代以下では「自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる」がやや高くなっている。また、年代が上がるにつれて「その他」が高くなっており、主にデジタルディバイドに関する不安が挙げられている。

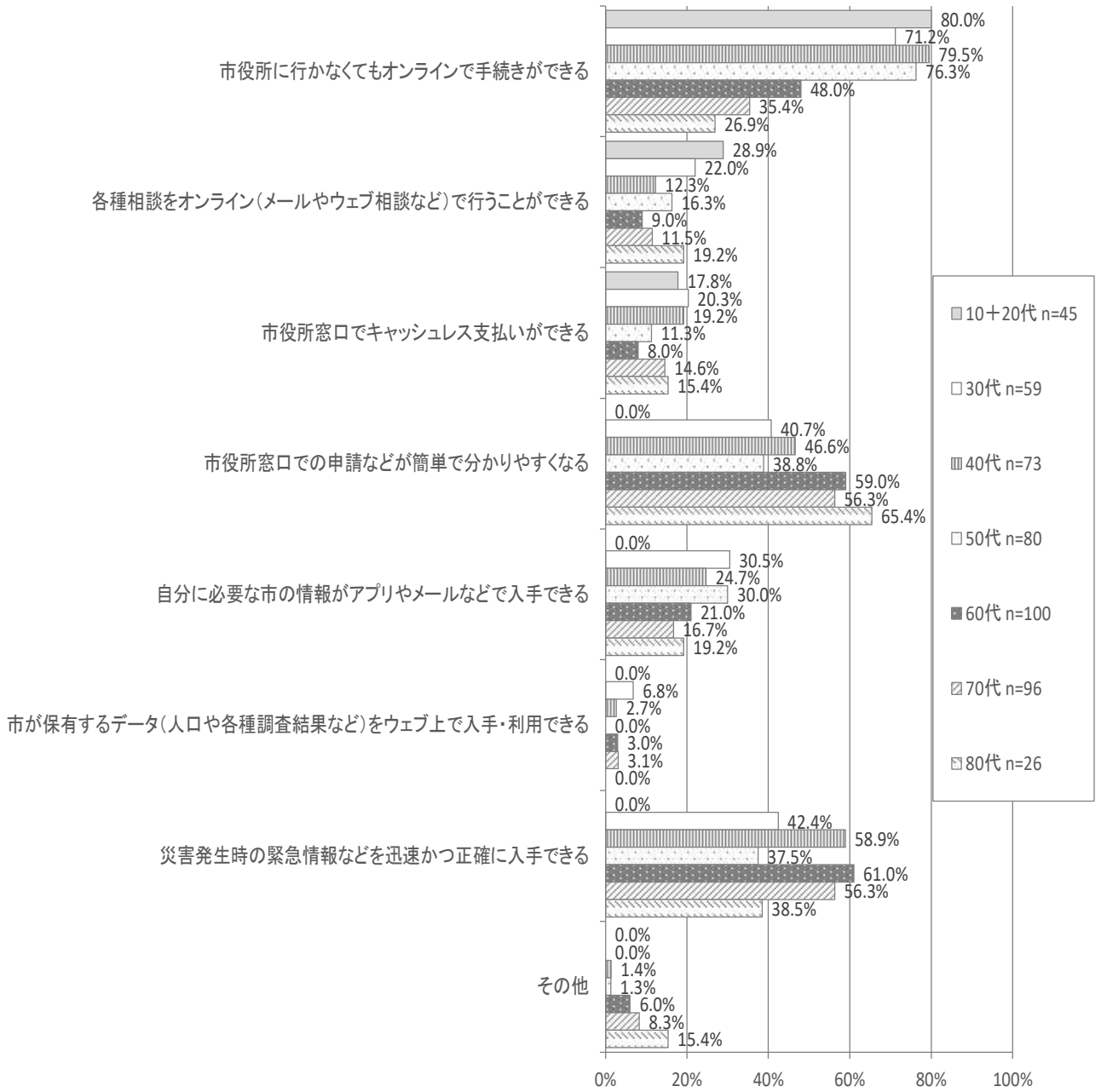
図表 51 「行政サービスのデジタル化に期待すること」



■その他の回答

- ・ 余りにも機械化が進みついていけない。(女性/80代)
- ・ 余りデジタル化ばかりでは追いつけない。(女性/80代)
- ・ 高齢夫婦のためデジタル化は反対。(男性/70代)
- ・ 老人なのでスマホもない。デジタルわかりません。(女性/70代)
- ・ デジタル化に対応できる生活をしていません。(女性/70代)
- ・ 便利だけど年配者にはわからない。(女性/70代)
- ・ デジタルは苦手だ。(女性/60代)
- ・ あんまり利用していないので。(男性/60代)
- ・ 高齢者のため作動ができません。(男性/70代)
- ・ デジタル化をなかなか利用できない人もいることを考えてほしい。(女性/60代)
- ・ デジタルについていけません。オンラインもメール、ウェブもできません。(男性/60代)
- ・ 土・日交代での出勤。(女性/50代)
- ・ 分からない。(性別無回答/80代)
- ・ 高齢者にも配慮したサービスを望む。(女性/40代)
- ・ マイナンバーカードコンビニ使えない(印鑑証明)。(男性/60代)
- ・ 私はまだウェブなどうとくて。(女性/70代)
- ・ 自分にはできないのでたいへん。(女性/70代)
- ・ 年寄なので分からない。(女性/80代)
- ・ 老人にデジタル化は無理。(性別無回答/60代)

図表 52 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

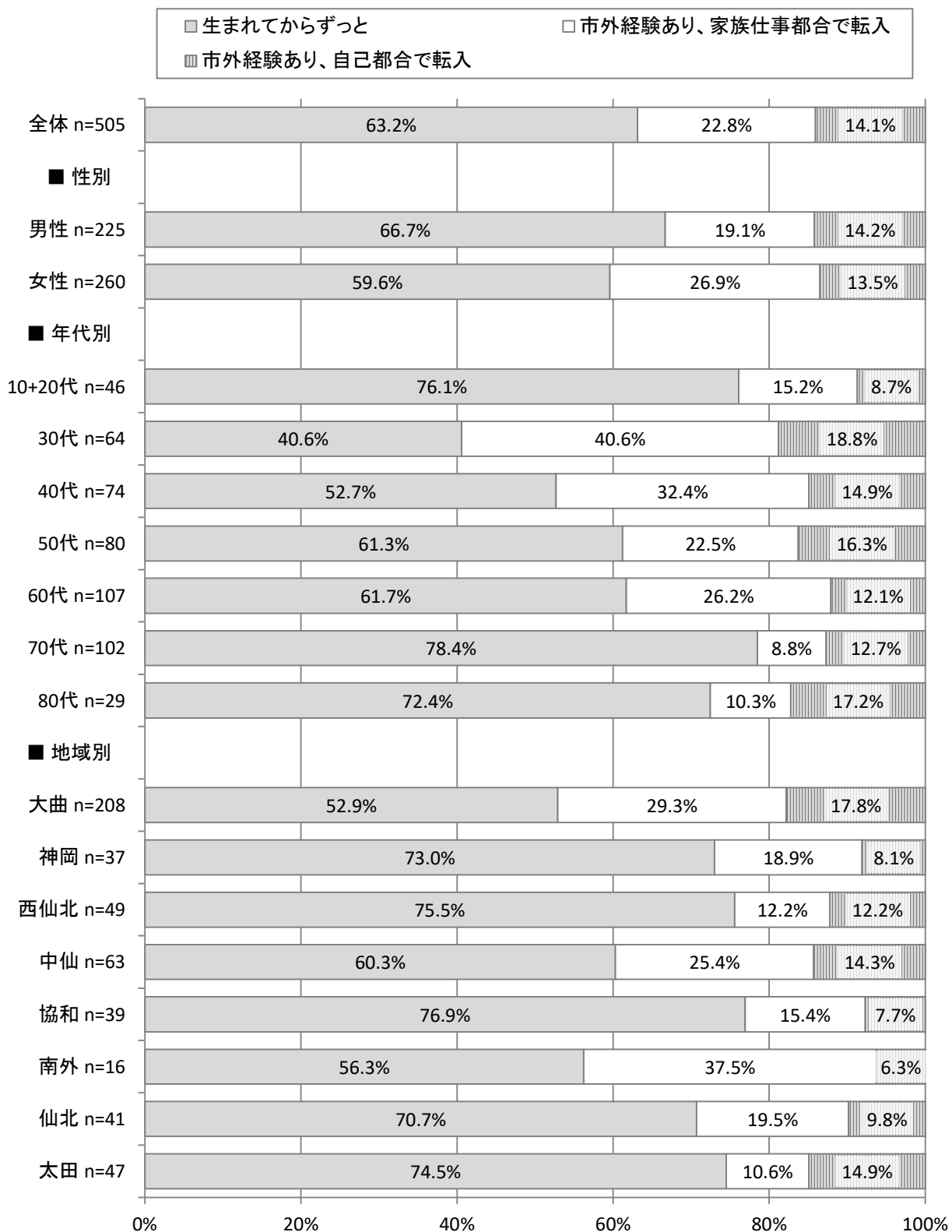
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が 63.2%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が 22.8%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が 14.1%となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「生まれてからずっと」は男性が 66.7%となっており、女性の 59.6%より 7.1 ポイント高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が 19.1%となっており、女性は 7.8 ポイント高い 26.9%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは 70 代で 78.4%となっており、次いで、10 代と 20 代を合わせた年代が 76.1%で 2 番目に高くなっている。一方、最も低いのは 30 代で 40.6%となっており、30 代を境に年代が上がるにつれて高くなっている。ただし、80 代では、70 代より低下しており、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が若干高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」「市外経験あり、自己都合で転入」を合わせた割合が最も高いのは、30 代となっており、30 代を境に年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは協和地域で 76.9%となっており、最も低いのは大曲地域で 52.9%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」の割合が最も高いのは南外地域で 37.5%、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは大曲地域で 17.8%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯



2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が 56.0%で最も高く、次いで「住みやすい」が 31.7%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、87.7%で昨年度から 5.0 ポイント上昇している。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が 35.1%、女性が 28.5%となっており、男性が 6.6 ポイント高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」は男性が 53.3%、女性が 59.6%となっており、女性が 6.3 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、70代が 91.4%で最も高く、80代が 78.2%で最も低くなっており、80代以外では8割を超えている。

地域別で見ると、「住みやすい」は大曲地域が 37.0%で最も高くなっているが、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、神岡地域が 92.1%で最も高くなっている。「住みにくい」は中仙地域が 7.8%で最も高くなっているが、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、太田地域が 20.9%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家事仕事都合で転入」と回答した方の割合が最も高くなっている。

■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」が昨年度から 5.4 ポイント上昇し、77.3%となっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が 82.2%、女性が 74.4%で男性が 7.8 ポイント高くなっており、女性は「市内の別の場所へ移りたい」と「市外に移りたい」が高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっており、60代以上では8割を超えている。一方で、「市外に移りたい」は、年代が下が

るにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、28.3%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、40代が14.9%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は中仙地域が81.3%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が18.8%で最も高くなっている。また、「市外に移りたい」は、協和地域が22.5%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が81.4%で最も高くなっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「今の場所に住み続けたい」が最も低く、「市外に移りたい」が最も高くなっている。

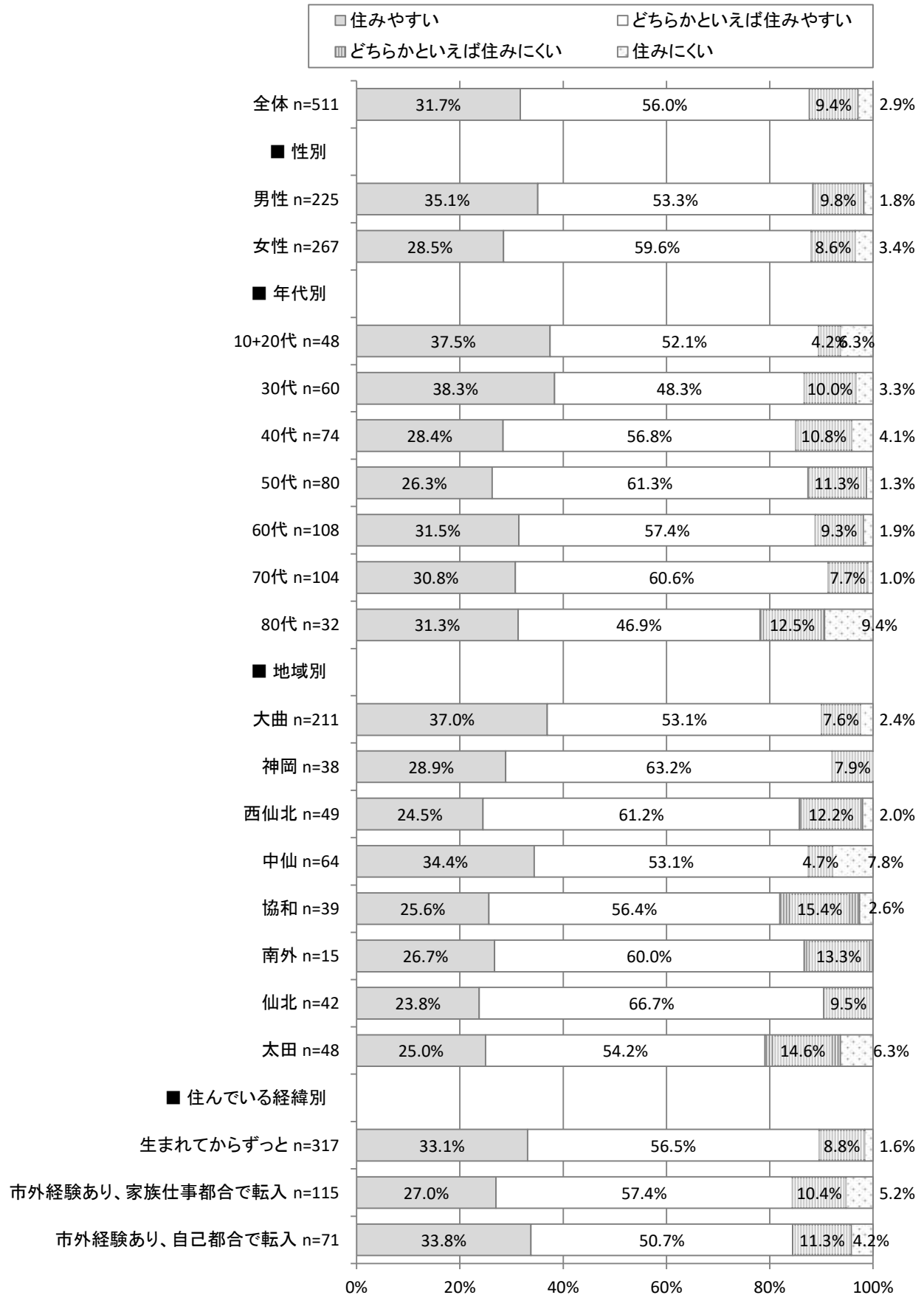
■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、概ね同様の傾向となっているが、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

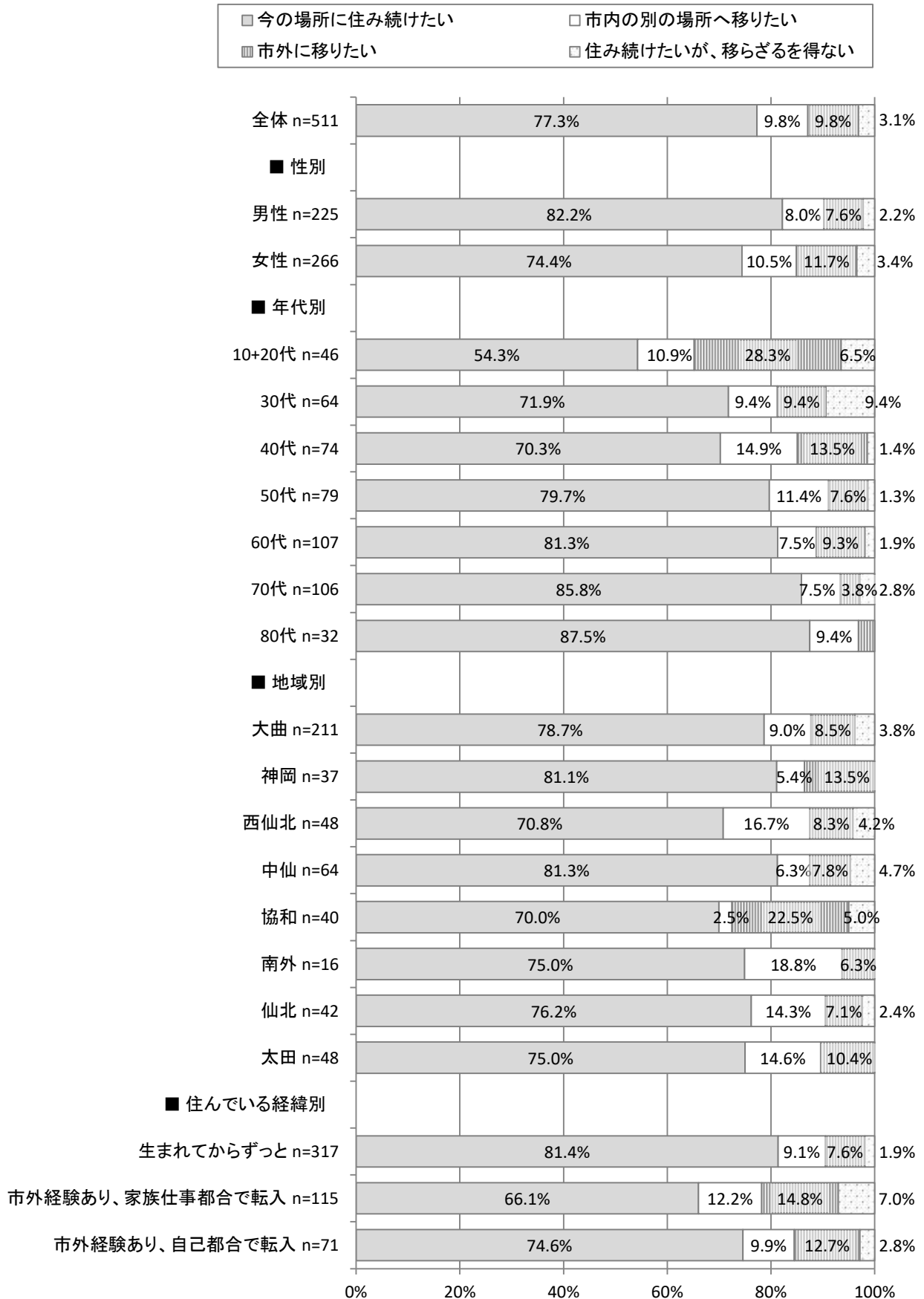
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」は、概ね同様の傾向となっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異が見られなかったのに対し、「今の場所に住み続けたい」は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が低くなっており、「市外に移りたい」は高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか



図表 54 大仙市に住み続けたいか



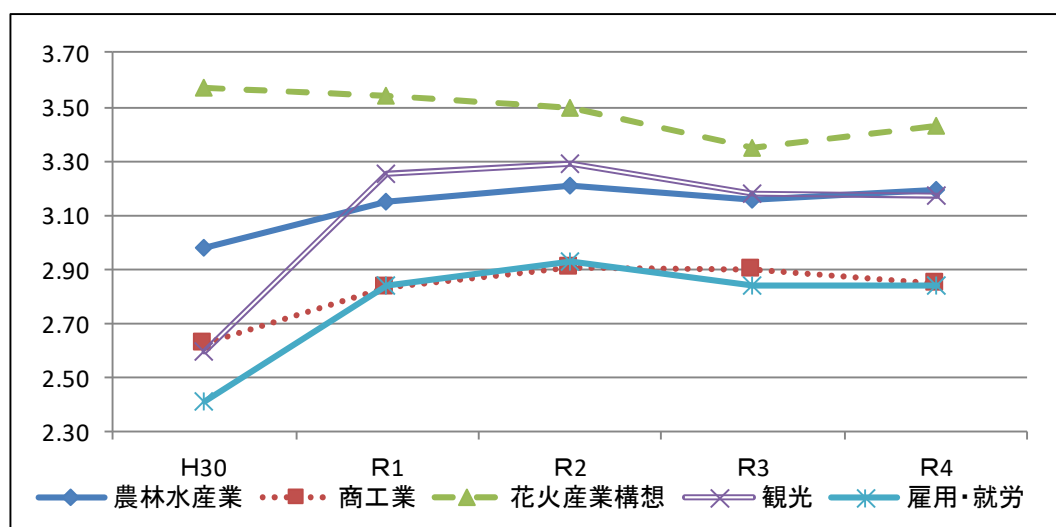
2.8 経年比較

平成30年度から令和4年度までの5年間における満足度、重要度、要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての7年間の推移をまとめた。

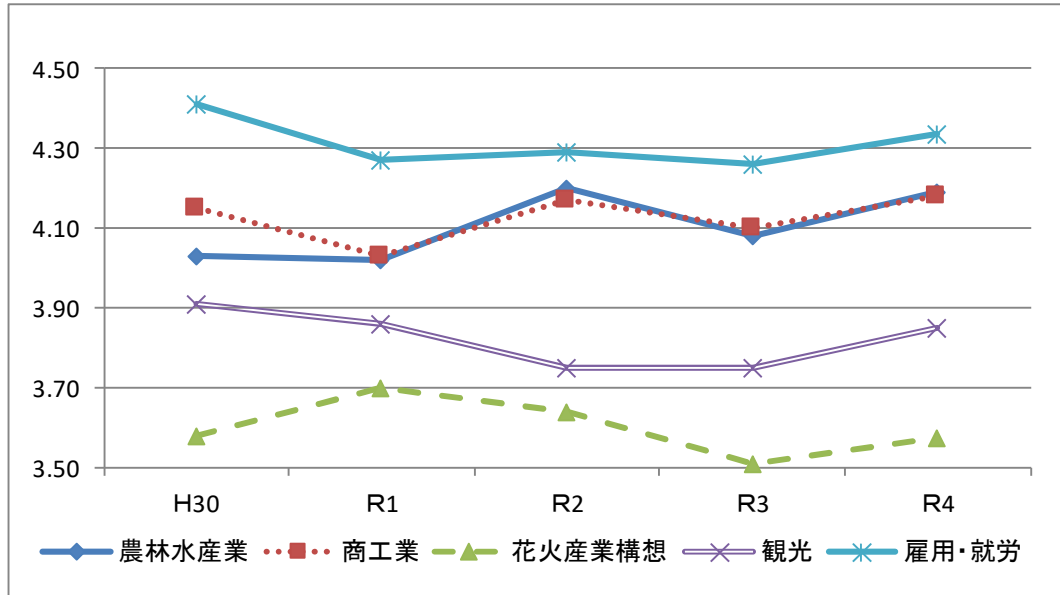
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「花火産業構想」が昨年度までは低下傾向だったが、今年度は上昇している。その他の4項目は、昨年度からほぼ横ばいとなっている。重要度は全ての項目が上昇している。要望度は、「花火産業構想」以外は平成30年度から令和元年度は低下傾向であったが、令和元年度以降は全体的に横ばいまたは上昇傾向となっている。

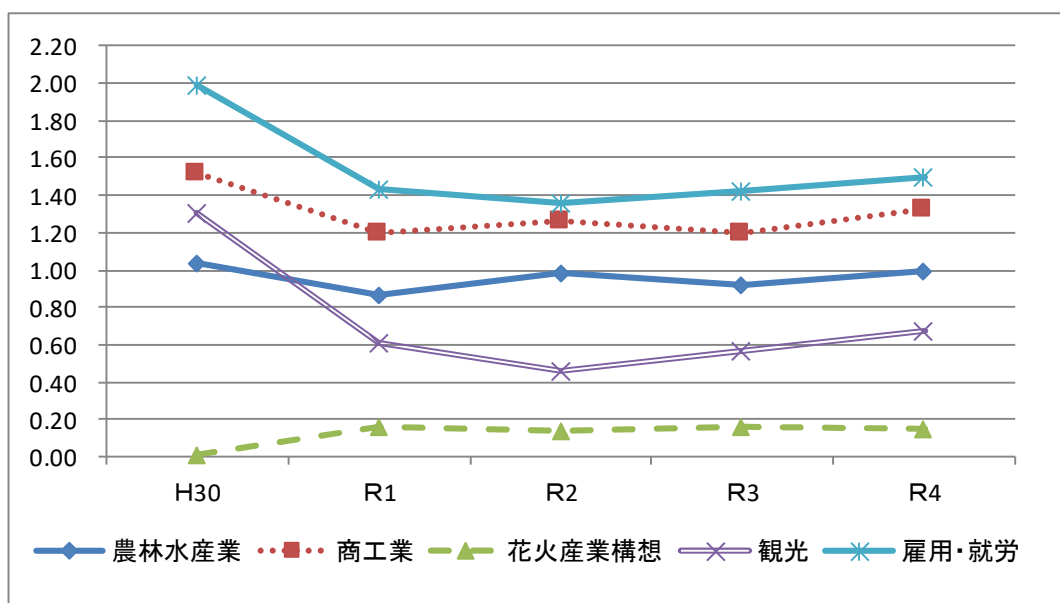
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	2.98	3.15	3.21	3.16	3.19
商工業	2.63	2.83	2.91	2.90	2.85
花火産業構想	3.57	3.54	3.50	3.35	3.43
観光	2.60	3.25	3.29	3.18	3.17
雇用・就労	2.41	2.84	2.93	2.84	2.84



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	4.03	4.02	4.20	4.08	4.19
商工業	4.15	4.03	4.17	4.10	4.18
花火産業構想	3.58	3.70	3.64	3.51	3.58
観光	3.91	3.86	3.75	3.75	3.85
雇用・就労	4.41	4.27	4.29	4.26	4.34



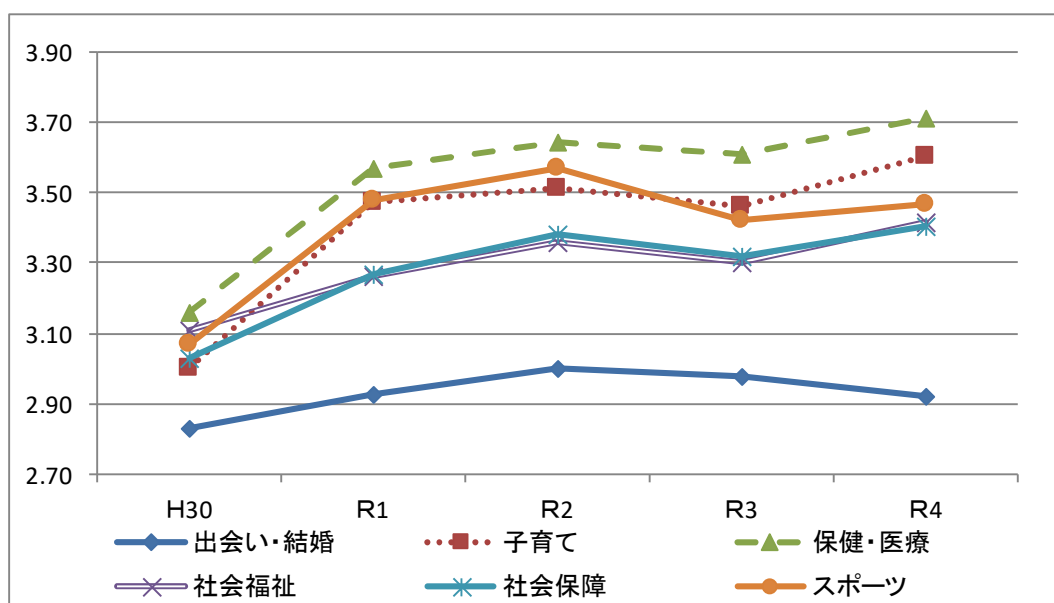
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	1.04	0.87	0.99	0.92	1.00
商工業	1.52	1.20	1.26	1.20	1.33
花火産業構想	0.01	0.16	0.14	0.16	0.15
観光	1.31	0.61	0.46	0.57	0.68
雇用・就労	1.99	1.43	1.36	1.42	1.50



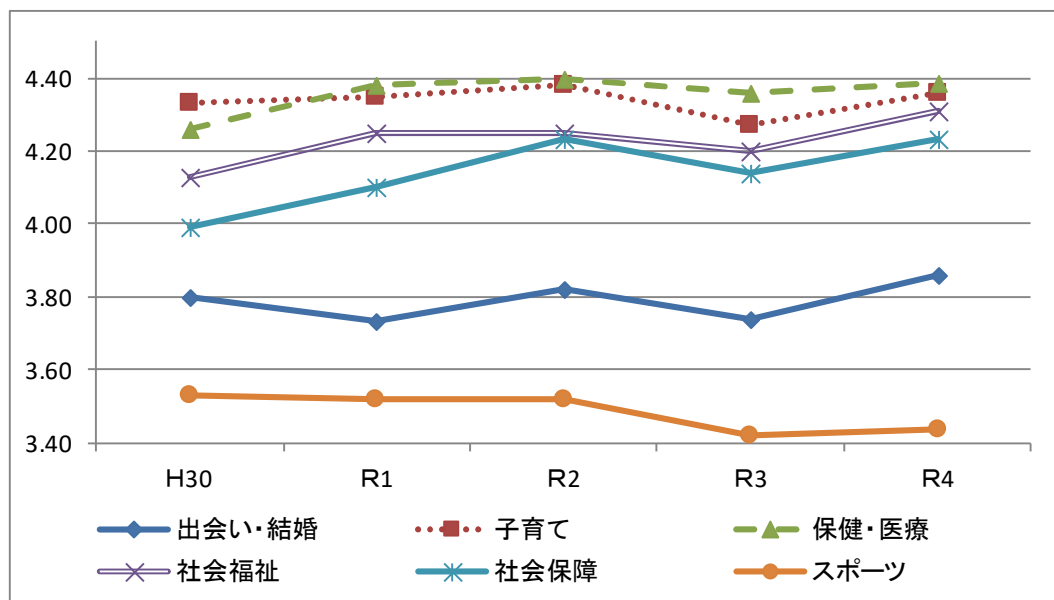
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は、全ての項目において令和2年度にかけて上昇し、昨年度は低下したものの、今年度は「出会い・結婚」を除いた4項目が再び上昇に転じている。重要度についても昨年度は全ての項目で低下したが、今年度は上昇に転じている。要望度は令和元年度から横ばいまたは低下傾向で推移していたが、今年度は「出会い・結婚」のみ上昇している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

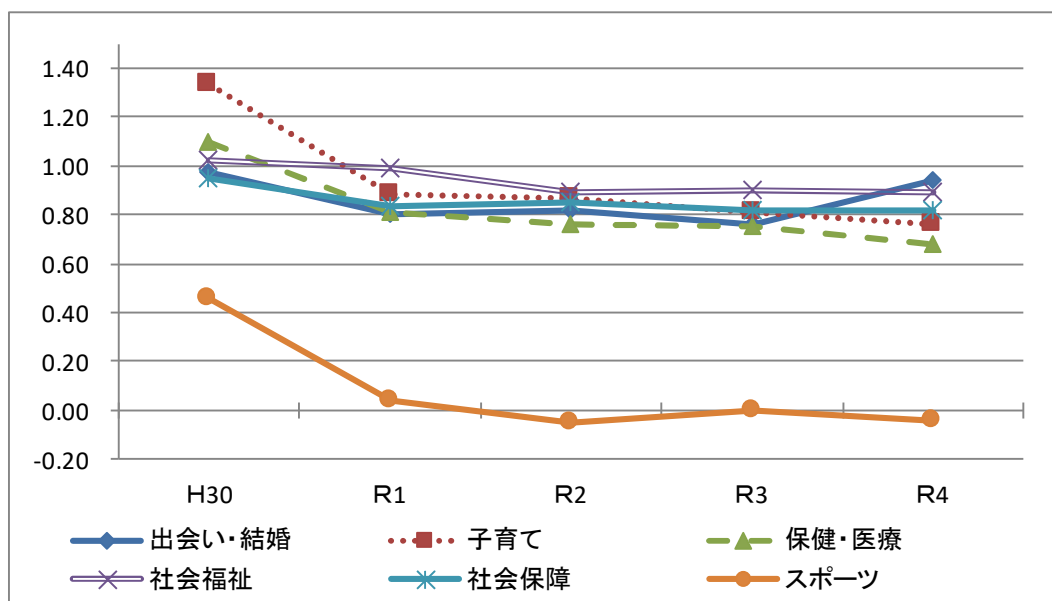
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	2.83	2.93	3.00	2.98	2.92
子育て	3.00	3.47	3.51	3.46	3.60
保健・医療	3.16	3.57	3.64	3.61	3.71
社会福祉	3.11	3.26	3.36	3.30	3.42
社会保障	3.03	3.27	3.38	3.32	3.41
スポーツ	3.07	3.48	3.57	3.42	3.47



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	3.80	3.73	3.82	3.74	3.86
子育て	4.33	4.35	4.38	4.27	4.36
保健・医療	4.26	4.38	4.40	4.36	4.39
社会福祉	4.13	4.25	4.25	4.20	4.31
社会保障	3.99	4.10	4.23	4.14	4.23
スポーツ	3.53	3.52	3.52	3.42	3.43



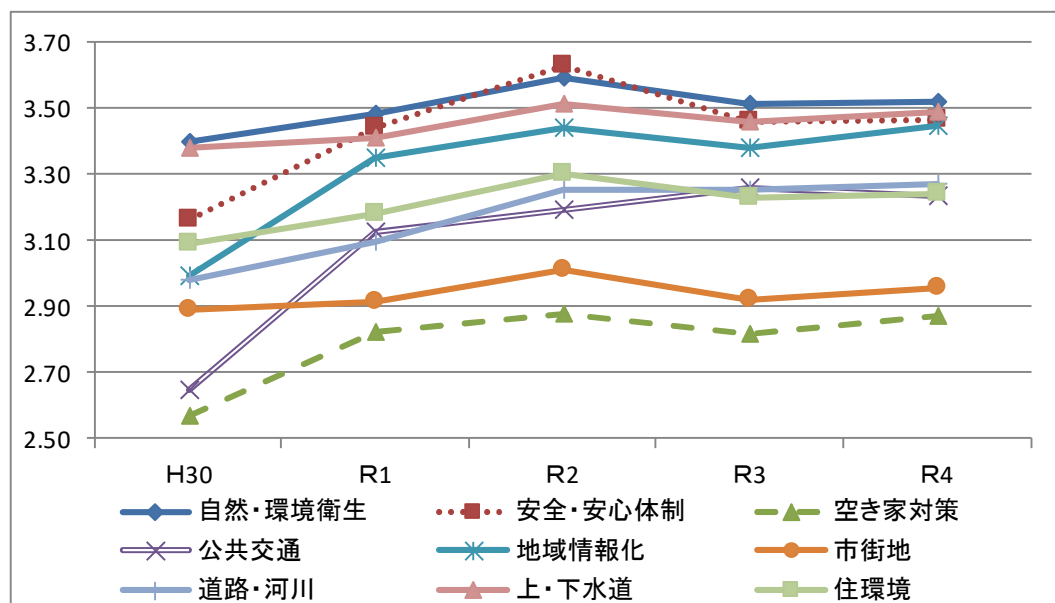
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	0.97	0.80	0.82	0.76	0.94
子育て	1.33	0.88	0.87	0.81	0.76
保健・医療	1.10	0.81	0.76	0.75	0.68
社会福祉	1.02	0.99	0.89	0.90	0.89
社会保障	0.95	0.83	0.85	0.82	0.82
スポーツ	0.46	0.04	-0.05	0.00	-0.04



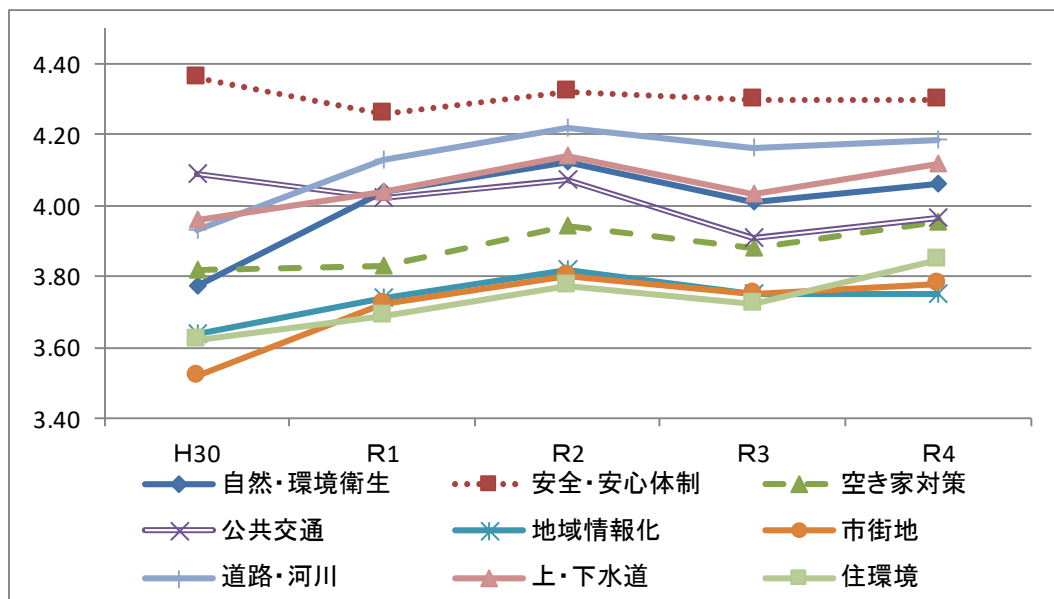
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は、令和2年度までは全ての項目で上昇していたが、昨年度は「公共交通」「道路・河川」以外は全て低下した。今年度は「公共交通」のみ低下し、その他の項目は横ばい、または上昇している。重要度については、昨年度は全ての項目で低下したが、今年度は横ばい、または上昇している。要望度は、令和元年度から全体的に横ばいで推移しているが、今年度は「公共交通」「上・下水道」「住環境」などで上昇している。また、「地域情報化」については、低位で推移していたが、今年度はさらに低下している。

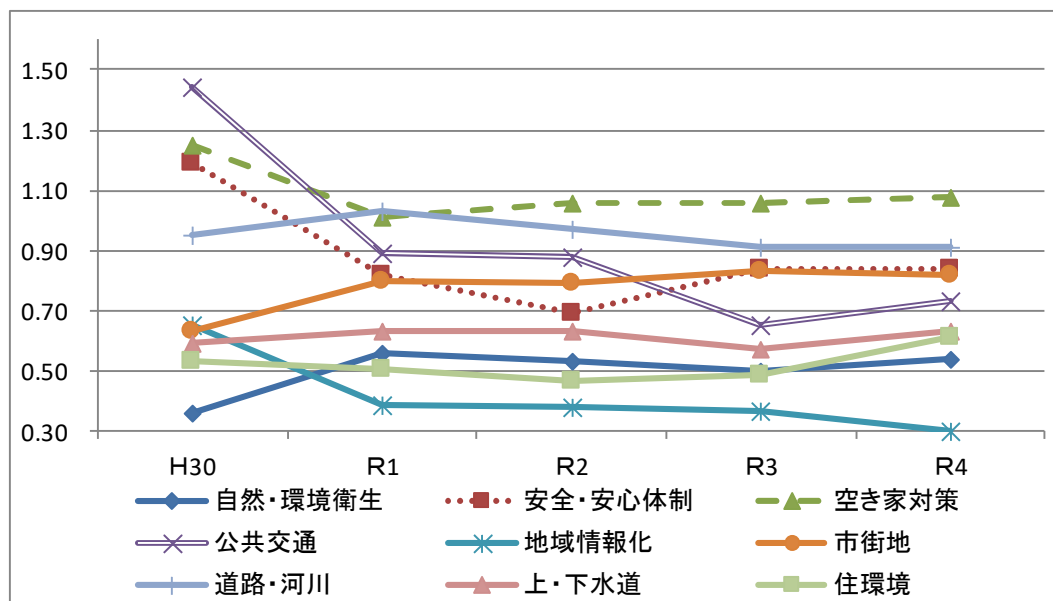
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	3.40	3.48	3.59	3.51	3.52
安全・安心体制	3.16	3.44	3.63	3.46	3.46
空き家対策	2.57	2.82	2.88	2.82	2.87
公共交通	2.65	3.13	3.19	3.26	3.23
地域情報化	2.99	3.35	3.44	3.38	3.45
市街地	2.89	2.92	3.01	2.92	2.96
道路・河川	2.98	3.10	3.25	3.25	3.27
上・下水道	3.38	3.41	3.51	3.46	3.49
住環境	3.09	3.18	3.30	3.23	3.24



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	3.77	4.04	4.12	4.01	4.06
安全・安心体制	4.36	4.26	4.32	4.30	4.30
空き家対策	3.82	3.83	3.94	3.88	3.95
公共交通	4.09	4.02	4.07	3.91	3.96
地域情報化	3.64	3.74	3.82	3.75	3.75
市街地	3.52	3.72	3.80	3.75	3.78
道路・河川	3.93	4.13	4.22	4.16	4.18
上・下水道	3.96	4.04	4.14	4.03	4.12
住環境	3.62	3.69	3.77	3.72	3.85



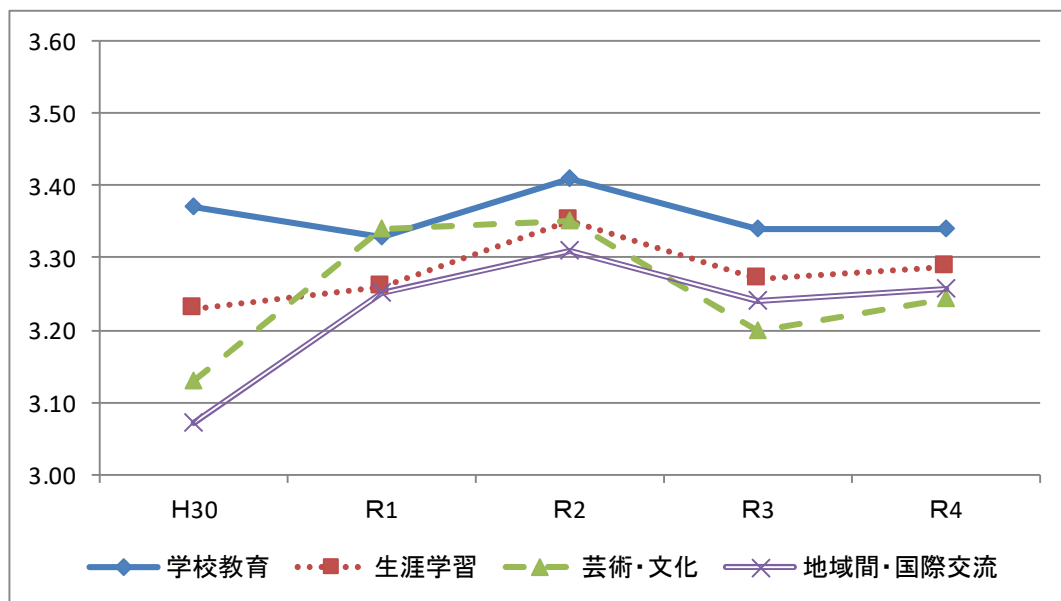
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	0.36	0.56	0.53	0.50	0.54
安全・安心体制	1.19	0.82	0.69	0.84	0.84
空き家対策	1.25	1.01	1.06	1.06	1.08
公共交通	1.44	0.89	0.88	0.65	0.73
地域情報化	0.65	0.39	0.38	0.37	0.30
市街地	0.63	0.80	0.79	0.83	0.82
道路・河川	0.95	1.03	0.97	0.91	0.91
上・下水道	0.59	0.63	0.63	0.57	0.63
住環境	0.53	0.51	0.47	0.49	0.61



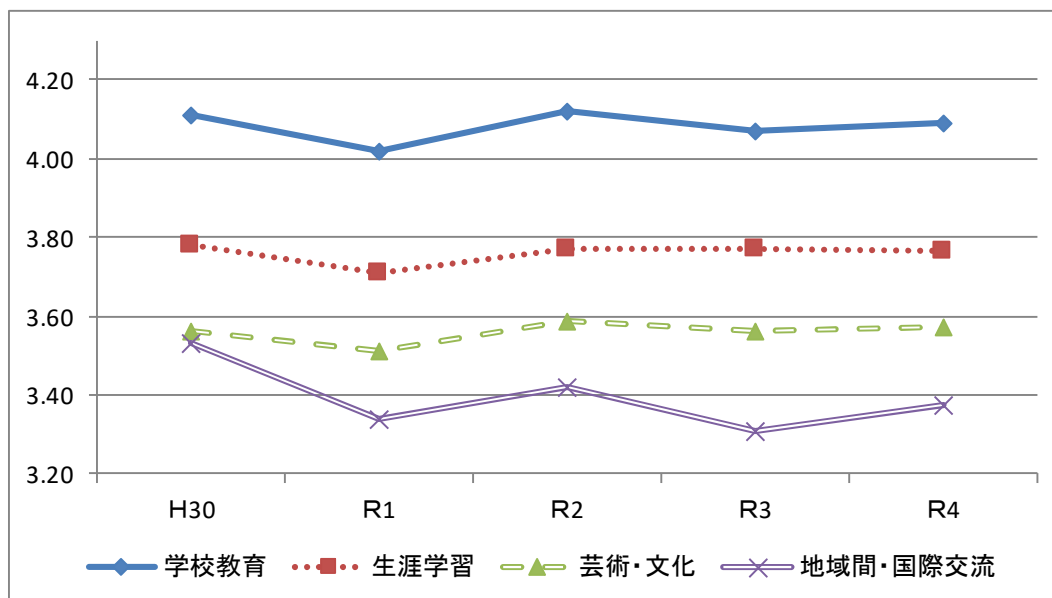
IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は、今年度、横ばいまたはやや上昇している。コロナ禍前の令和元年度と比べると、「芸術・文化」は低下しているが、その他の項目は同程度の値となっている。重要度は、「地域間・国際交流」が低下傾向となっているが、そのほかの項目は平成30年度から横ばいとなっている。要望度は、令和元年度以降、「芸術・文化」と「学校教育」が上昇傾向であったが、「芸術・文化」は今年度、やや低下している。

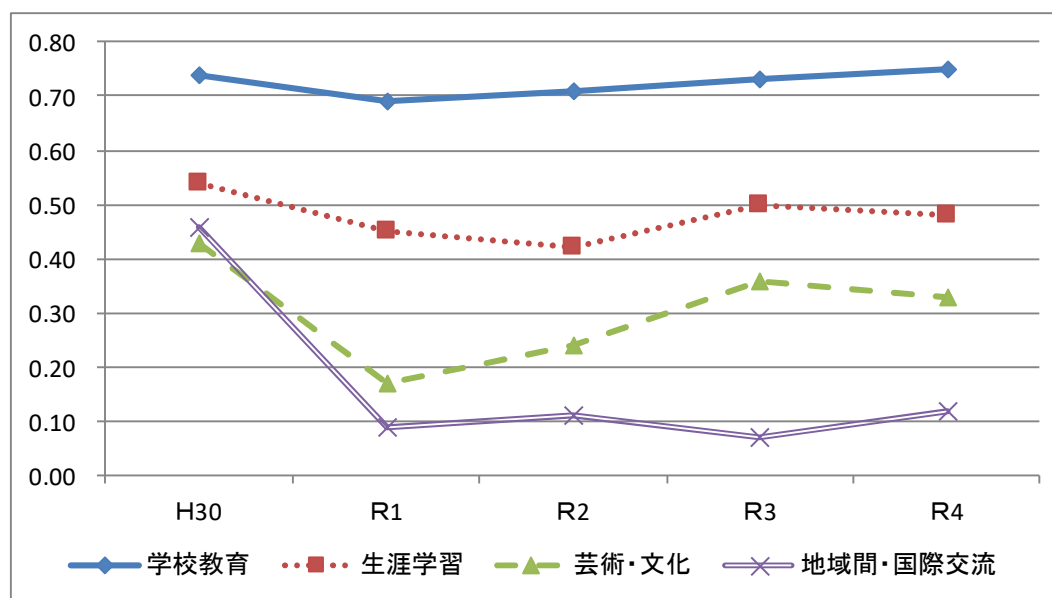
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	3.37	3.33	3.41	3.34	3.34
生涯学習	3.23	3.26	3.35	3.27	3.29
芸術・文化	3.13	3.34	3.35	3.20	3.24
地域間・国際交流	3.07	3.25	3.31	3.24	3.26



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	4.11	4.02	4.12	4.07	4.09
生涯学習	3.78	3.71	3.77	3.77	3.77
芸術・文化	3.56	3.51	3.59	3.56	3.57
地域間・国際交流	3.53	3.34	3.42	3.31	3.38



要望度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	0.74	0.69	0.71	0.73	0.75
生涯学習	0.54	0.45	0.42	0.50	0.48
芸術・文化	0.43	0.17	0.24	0.36	0.33
地域間・国際交流	0.46	0.09	0.11	0.07	0.12

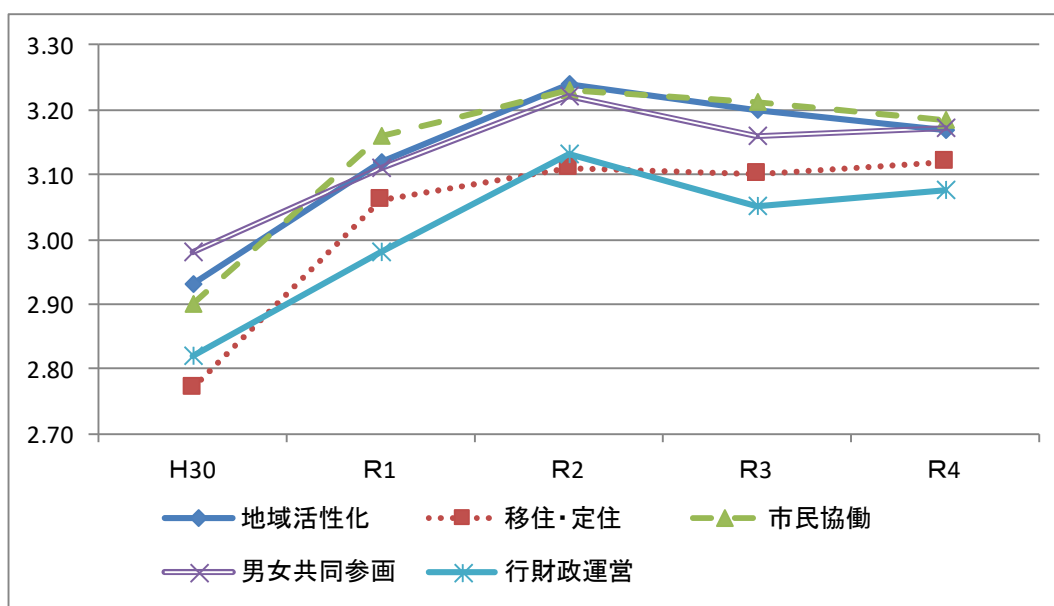


V 時代に合った地域を創ります！

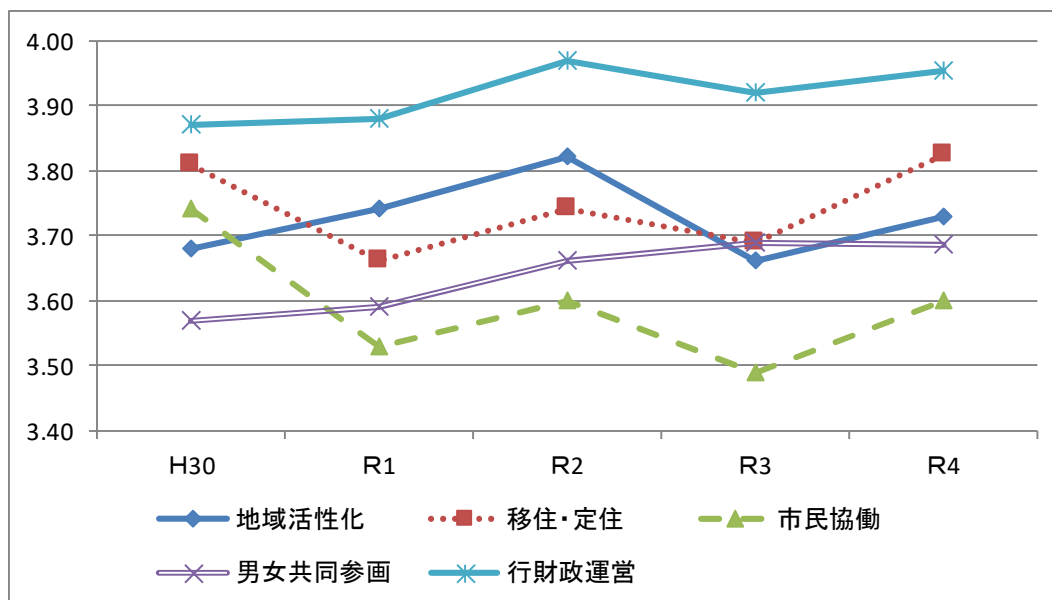
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は、平成30年度以降、全ての項目で上昇していたが、昨年度は低下し、今年度は概ね横ばいとなっている。重要度は、「男女共同参画」を除き、昨年度の低下から上昇に転じている。「男女共同参画」は平成30年度から上昇傾向となっている。要望度は、昨年度低下した「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が再び上昇し、その他の項目は横ばいとなっている。

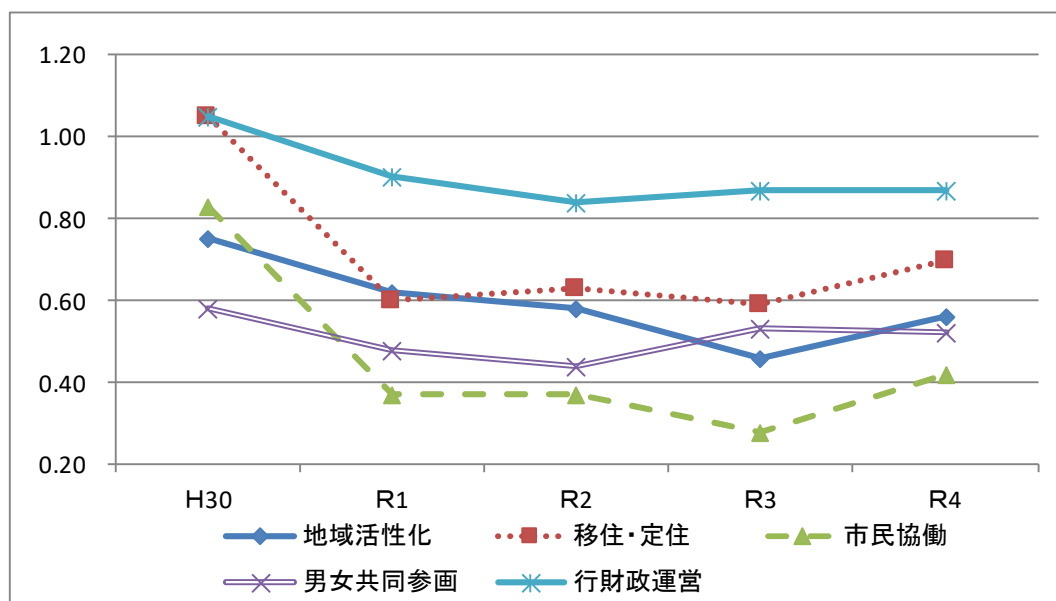
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	2.93	3.12	3.24	3.20	3.17
移住・定住	2.77	3.06	3.11	3.10	3.12
市民協働	2.90	3.16	3.23	3.21	3.18
男女共同参画	2.98	3.11	3.22	3.16	3.17
行財政運営	2.82	2.98	3.13	3.05	3.08



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	3.68	3.74	3.82	3.66	3.73
移住・定住	3.81	3.66	3.74	3.69	3.82
市民協働	3.74	3.53	3.60	3.49	3.60
男女共同参画	3.57	3.59	3.66	3.69	3.69
行財政運営	3.87	3.88	3.97	3.92	3.95



要望度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	0.75	0.62	0.58	0.46	0.56
移住・定住	1.05	0.60	0.63	0.59	0.70
市民協働	0.83	0.37	0.37	0.28	0.42
男女共同参画	0.58	0.48	0.44	0.53	0.52
行財政運営	1.05	0.90	0.84	0.87	0.87



大仙市の住みやすさについて

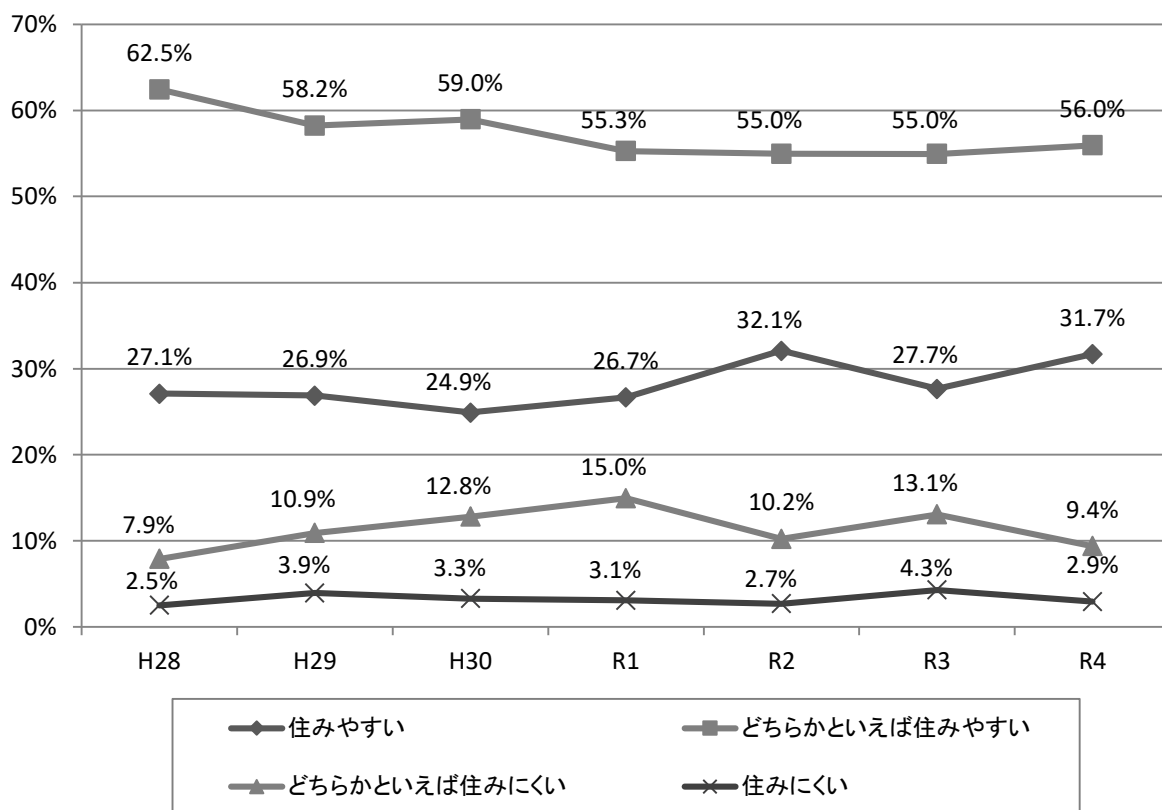
「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から上昇し、過去7年間で2番目に高い数値となっている。「どちらかといえば住みやすい」は低下傾向であったが、令和元年度からは横ばいとなっている。昨年度と比較すると「住みやすい」が上昇したことに伴い、住みにくいに関する項目が低下している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%	27.7%	31.7%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%	55.0%	56.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%	13.1%	9.4%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%	4.3%	2.9%

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



「大仙市に住み続けたいか」について

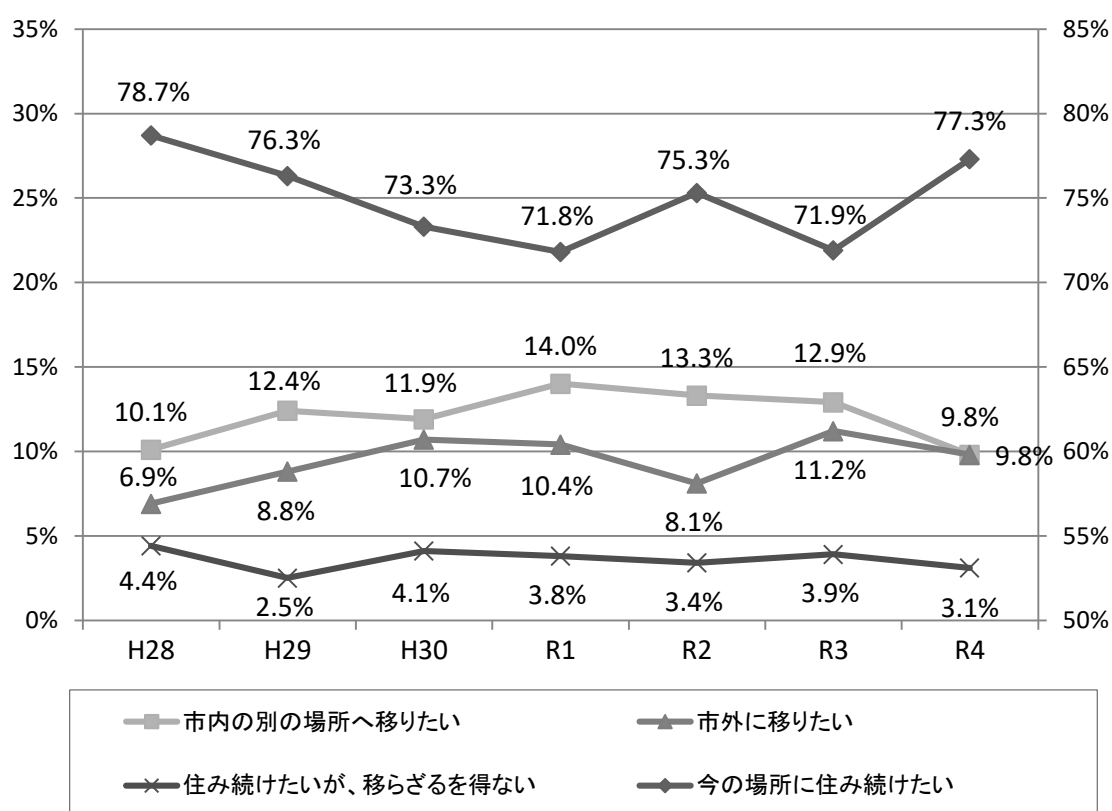
「今の場所に住み続けたい」は令和2年度に上昇した後、昨年度は大幅に低下したが、今年度はそれを上回る大幅な上昇を示しており、過去7年間で2番目に高い数値となっている。

「市内の別の場所へ移りたい」は令和元年度以降、低下傾向で推移しており、今年度は大幅に低下している。なお、過去7年間で最も低い数値となっている。「市外に移りたい」は、上昇傾向で推移しており、昨年度は大きく上昇したものの、今年度はやや低下している。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%	71.9%	77.3%
市内の別の場所へ 移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%	12.9%	9.8%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%	11.2%	9.8%
住み続けたいが、 移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%	3.9%	3.1%

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価

今年度の個別事業評価については、市民全体を対象に、3つの施策・事業に対する評価・意見を伺うこととし、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同様である（p 4～7を参照）。

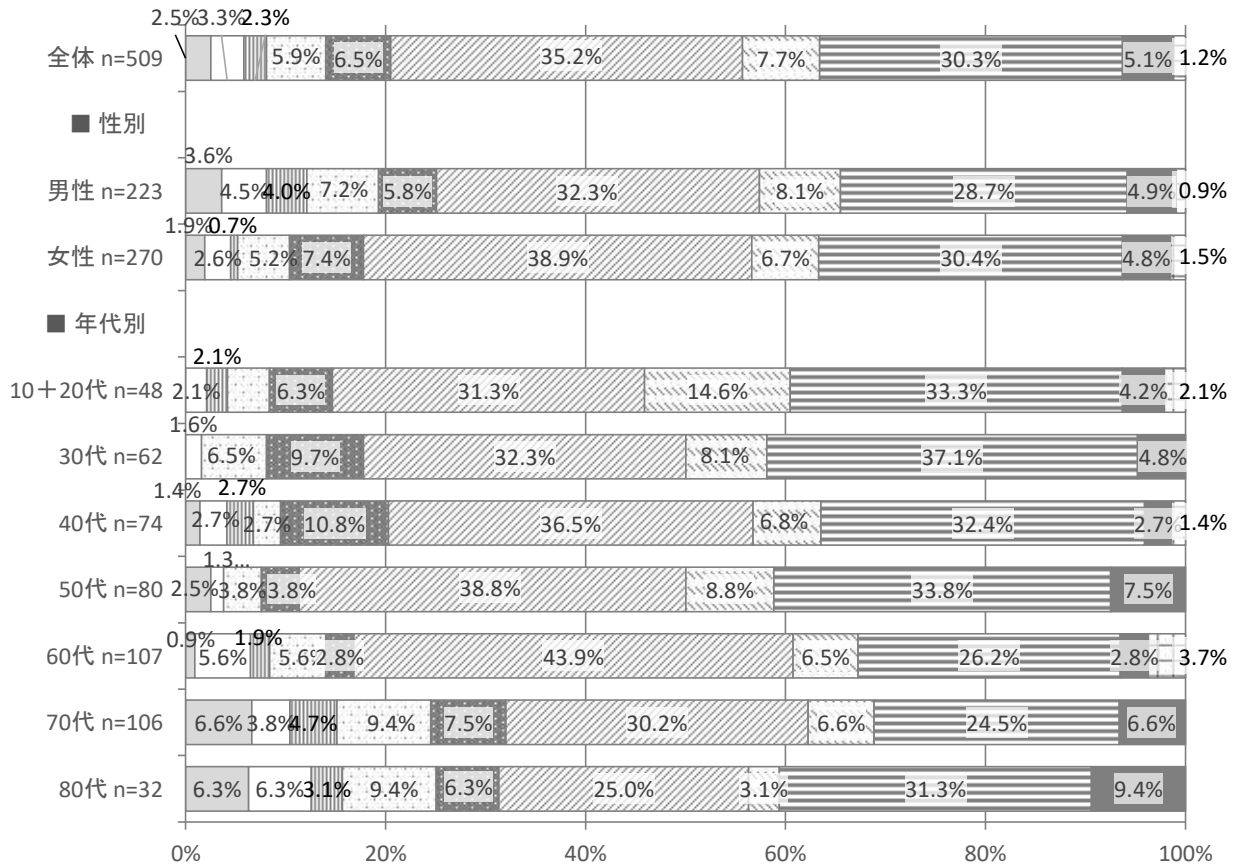
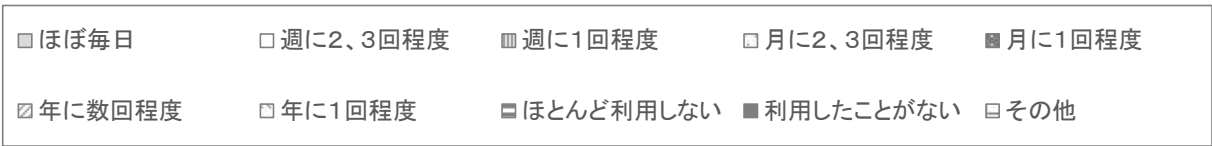
3.1.1 市所有温泉施設について

（観光文化スポーツ部温泉施設対策室）

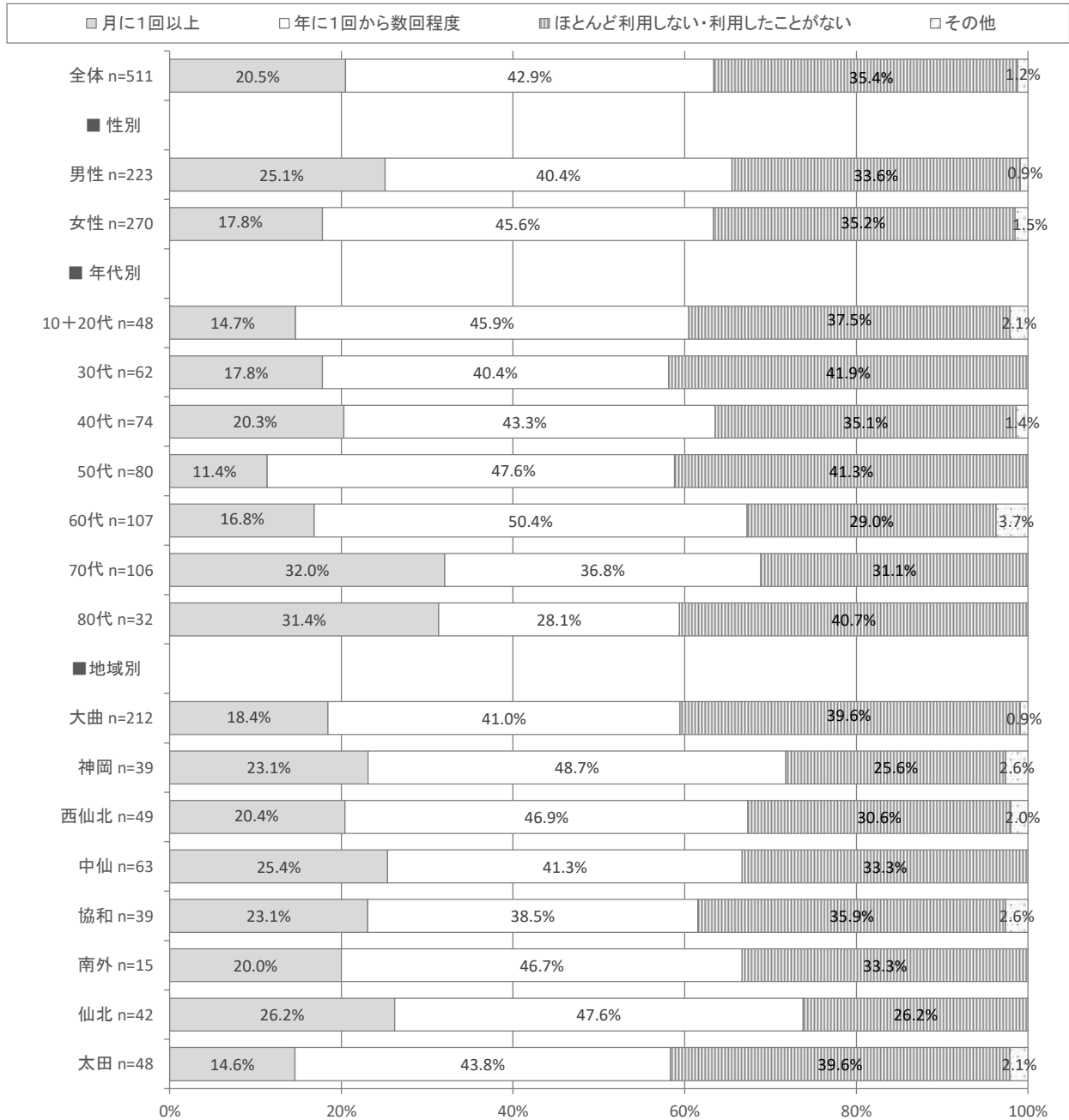
- ◆ **調査目的：** 市では市民の健康増進や市外からの交流人口拡大を図るため、市内7つの温泉施設を設置している。しかしながら、各施設では老朽化等に伴い管理費が増大しているほか利用者が減少傾向となっており、施設や経営の見直しが必要となっている。そのため、市所有温泉施設に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とする。

【問1】市内外を問わず温泉施設（入浴、宴会、宿泊などで）をどのくらい利用していますか。

- 全体では、「年に数回程度」が35.2%と最も高く、次に「ほとんど利用しない」が30.3%となっている。
- 利用頻度を、「ほぼ毎日」「週に2、3回程度」「週に1回程度」「月に2、3回程度」「月に1回程度」を合わせた「月に1回以上」グループと、「年に数回程度」「年に1回程度」を合わせた「年に1回から数回程度」グループと、「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を合わせた「ほとんど利用しない・利用したことがない」グループと、「その他」の4グループで比較すると、「年に1回から数回程度」のグループが42.9%で最も高く、次いで「ほとんど利用しない・利用したことがない」が35.4%、「月に1回以上」が20.5%となっている。
- 上記4グループを年代別で見ると、10代と20代を合わせた年代と40代から70代では「年に1回から数回程度」が最も高く、30代と80代では「ほとんど利用しない、利用したことがない」が最も高くなっている。また、60代のみ「ほとんど利用しない、利用したことがない」が29.0%で3割を下回っている。70代以上では、他の年代と比べ「月に1回以上」が高くなっており、70代で32.0%、80代で31.4%となっている。
- 同じく地域別で見ると、「ほとんど利用しない・利用したことがない」は大曲地域と太田地域が39.6%で最も高く、次いで協和地域が35.9%で3番目に高くなっている。



3. 1. 1 個別事業評価「市所有温泉施設について」



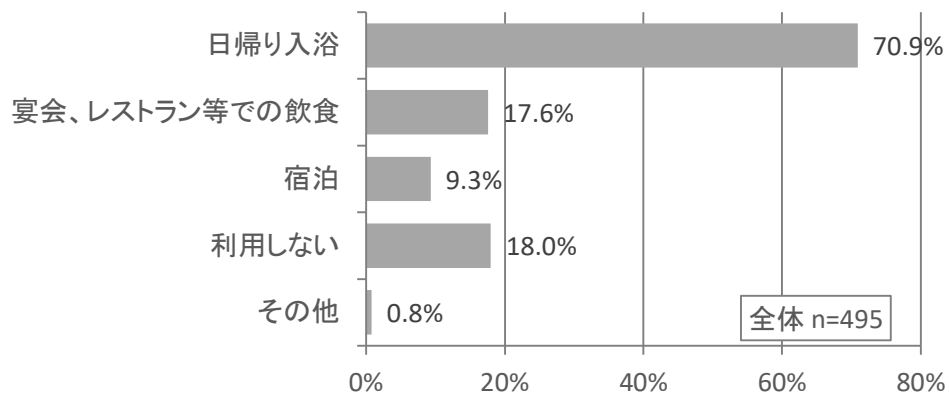
■その他の回答

- コロナのせいで利用していません (20代/女性、60代/女性)
- コロナ前は利用していたが、ここ2年くらいは利用していない (60代/男性)
- 利用したいがコロナ収束後 (60代/女性)

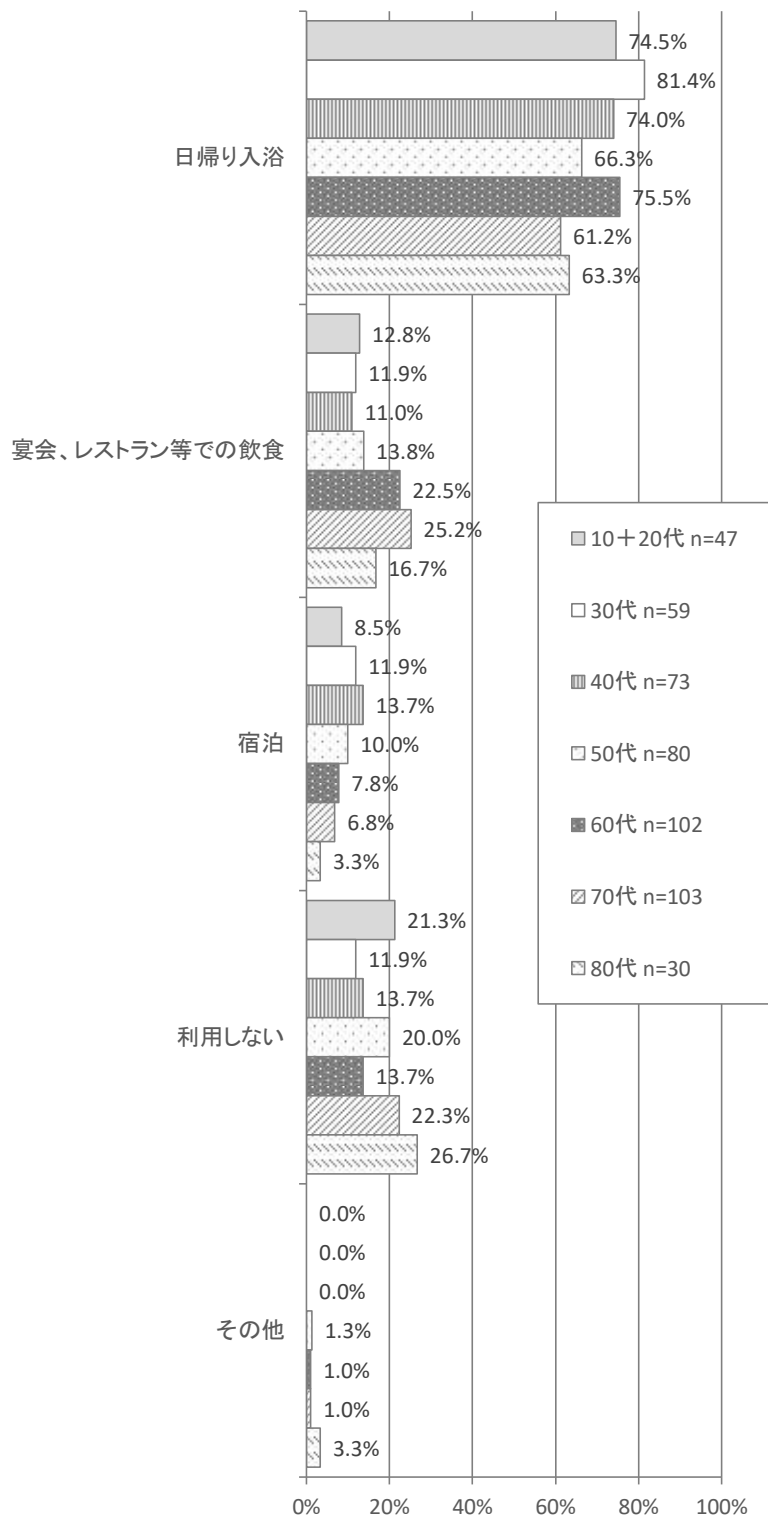
【問2】温泉施設の主な利用目的は何ですか。（複数回答可）

- 全体では、「日帰り入浴」が70.9%と最も高く「宴会、レストラン等での飲食」（以下、「飲食」）と「利用しない」がほぼ同じ割合となっている。
- 年代別で見ると、40代以下と60代で「日帰り入浴」がやや高く、「飲食」は60代以上で高い傾向にある。また、「利用しない」は80代で26.7%と最も高く、30代で11.9%と最も低くなっている。

■全体



■年代別

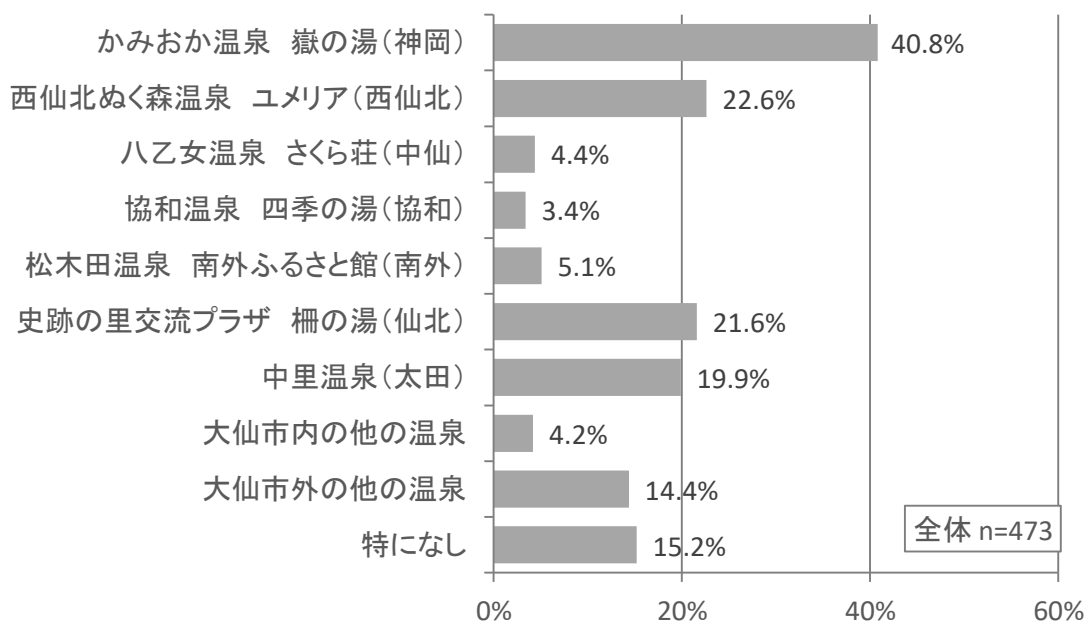


【問3】よく利用する、あるいは利用したことのある温泉施設はどこですか。

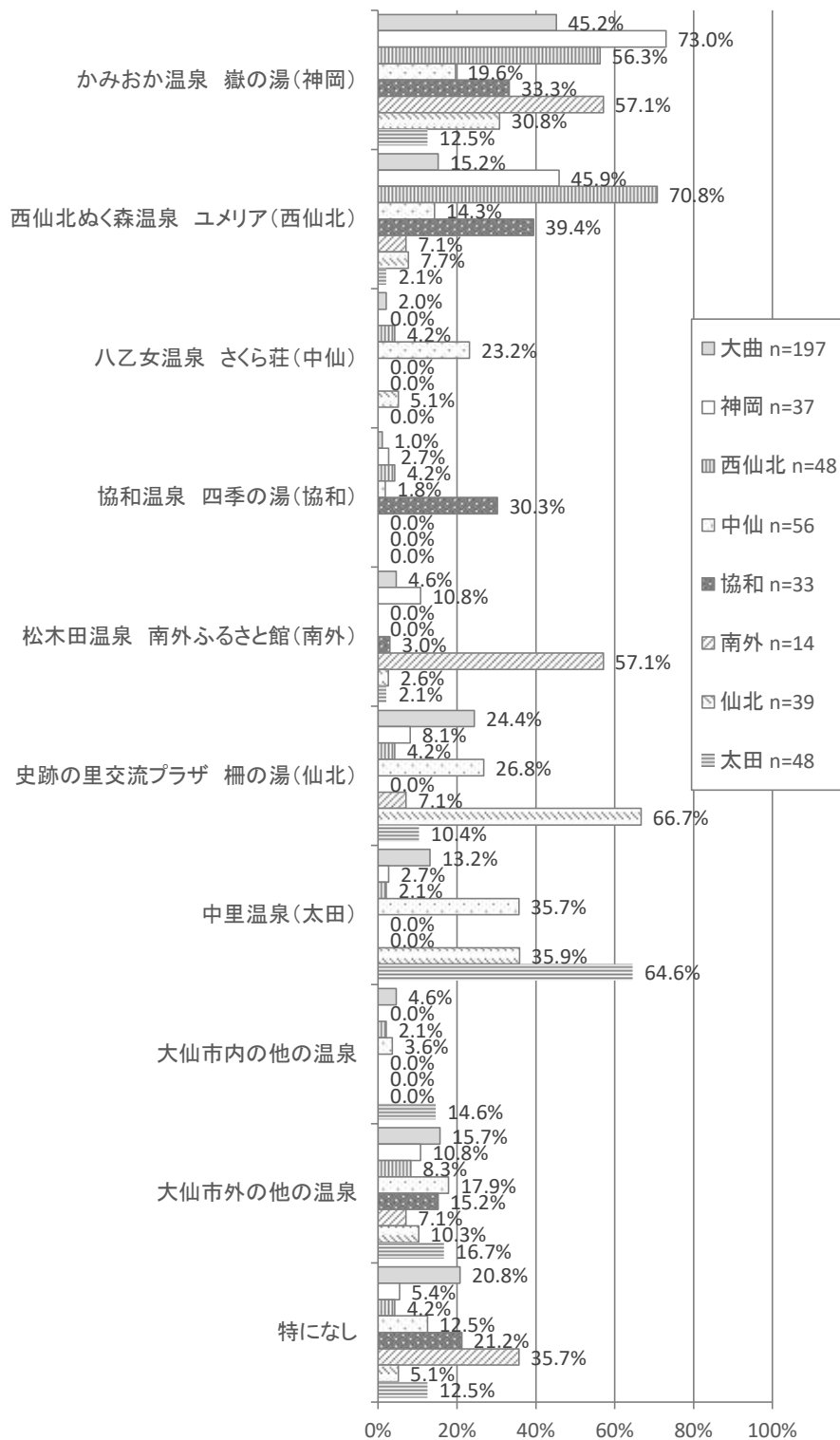
(2つまで回答可)

- 全体では、「かみおか温泉 嶽の湯」が40.8%、「西仙北ぬく森温泉 ユメリア」「史跡の里交流プラザ 柵の湯」「中里温泉」がほぼ同程度で約20%となっている。
- 地域別で見ると、全地域で回答者の居住地にある温泉施設が最も高く、「八乙女温泉 さくら荘」「協和温泉 四季の湯」以外では50%以上となっている。また、回答者の居住地に隣接する温泉施設が2番目に高い傾向となっている。

■全体



■地域別



■市内の他の温泉

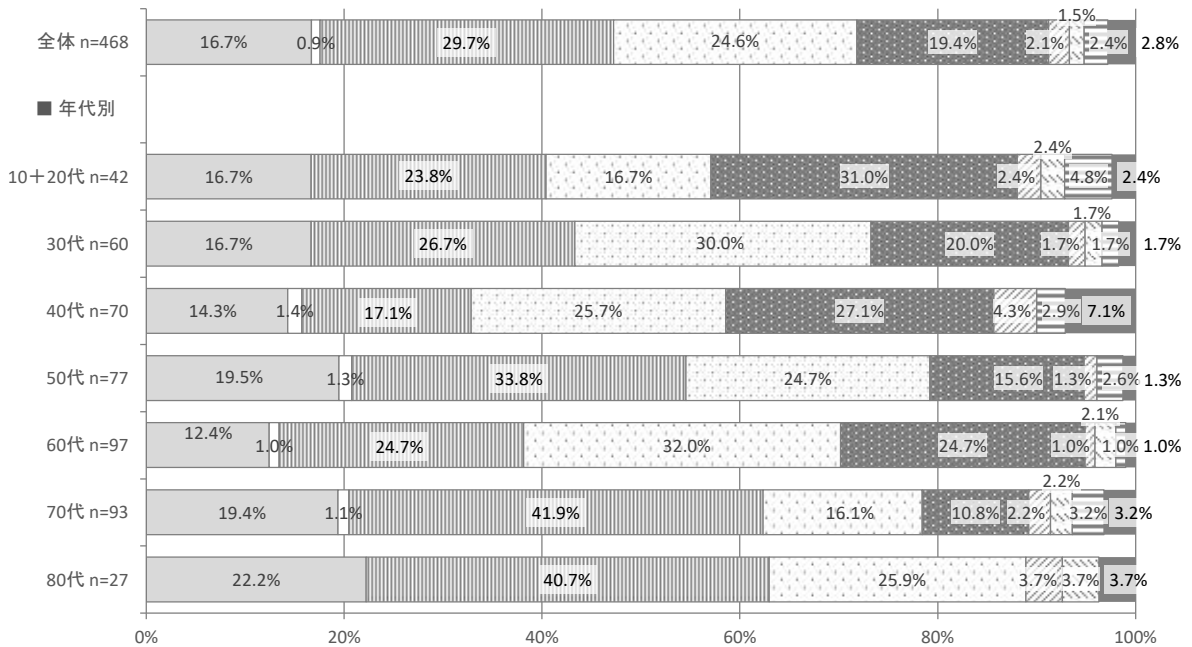
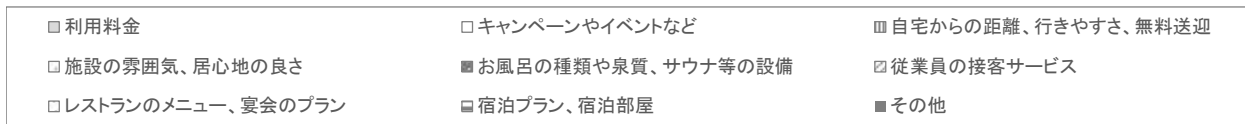
- スパ西遊喜
- 奥羽山荘
- 神湯館

■市外の他の温泉

- 花葉館
- ゆぼぼ
- 乳頭温泉郷
- やまゆり温泉
- あったか山
- サンアール
- 道の駅岩城、おおうち
- ユアシス
- こまち
- 水沢温泉
- 横手クォードイン
- 西木クリオン
- 横手ゆうゆうプラザ
- 国見温泉
- ねむの丘
- 横手市・秋田市の温泉
- さくら荘（横手市）
- 秋田温泉さとみ
- 桜温泉
- 田沢湖温泉
- 湯とびあ
- 田沢湖の温泉
- 学校のすみか
- 美郷町の温泉
- 秋田温泉
- 五輪坂としとらんど
- 大沢温泉
- つなぎ温泉

【問4】温泉施設を利用するうえで最も重視することは何ですか。

- 全体では、「自宅からの距離、行きやすさ、無料送迎」（以下、「行きやすさ」）が最も多く29.7%、次いで「施設の雰囲気、居心地の良さ」が24.6%となっている。
- 年代別で見ると、年代が上がるにつれて「行きやすさ」が高くなる傾向にあり、70代以上では40%を超えている。また、年代が下がるにつれて「お風呂の種類や泉質、サウナ等の設備」が高くなる傾向にあり、10代と20代を合わせた年代で最も高く、31.0%となっている。



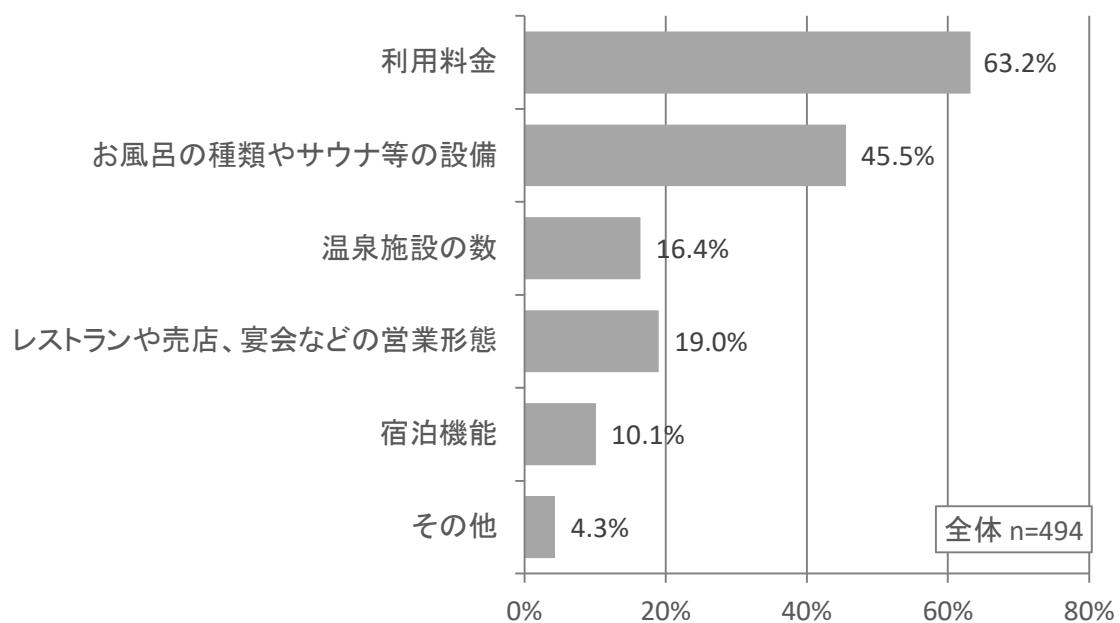
■その他の回答

- 清潔感・衛生管理。（20代・30代・40代・50代・70代／女性）
- コロナ対策。（40代／女性）
- スキー場に隣接しているから。（40代／男性）
- 開店時間。（40代／男性）
- 貸切風呂。（60代／女性）

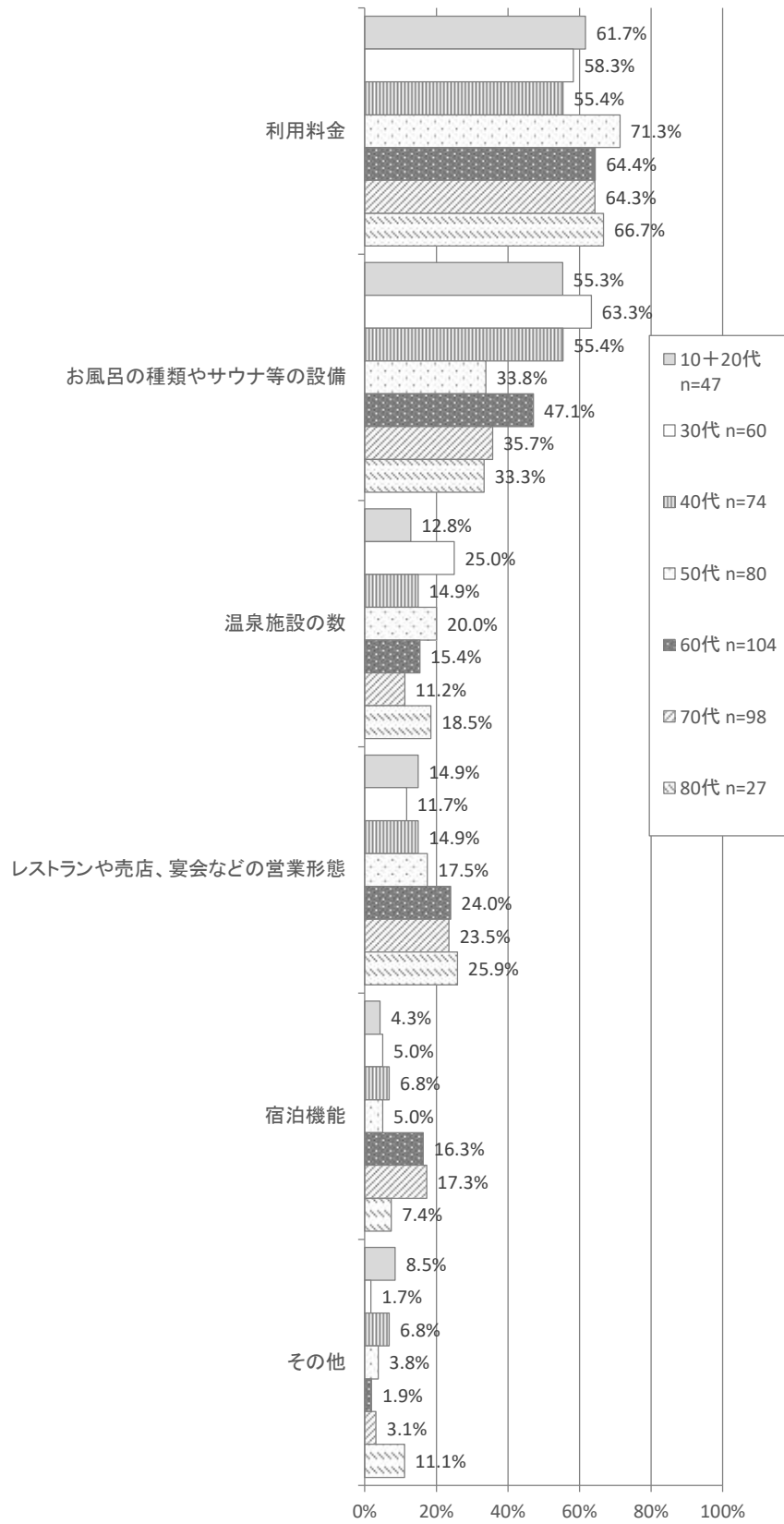
【問5】 今後、市の温泉施設経営の合理化を進めた場合、施設の統廃合、設備の縮減、利用料金や営業形態の見直し等を実施する可能性があります。そのような場合でも維持・確保してほしいと思うことは何ですか。（2つまで回答可）

- 全体では、「利用料金」が最も高く63.2%、次いで、「お風呂の種類やサウナ等の設備」（以下、「温泉設備」）が45.5%となっている。一方で、「宿泊機能」は最も低く、10.1%となっている。
- 年代別で見ると、全年代で「利用料金」が高く、どの年代でも50%以上となっており、30代以外では最も高くなっている。なお、30代では「温泉設備」が63.3%で最も高くなっている。また、40代では「利用料金」「温泉設備」が同割合で55.4%となっている。「温泉設備」は年代が下がるにつれて、「レストランや売店、宴会などの営業形態」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

■全体



■年代別



■その他の回答

- 衛生管理・清潔感。(20代・30代・40代・50代/女性、)
- そもそもこれに税金を使用する事がナンセンス。税金は別の使い方が在るはず。(50代/男性)
- 大曲近辺にあればいい。(70代/女性)
- 居心地の良さ・施設の雰囲気。(50代/女性)
- 立地・行きやすさ。(40代/男性、80代/男性、20代/女性)
- 地域バランス。(60代/男性)
- コロナ対策。(70代/男性、20代/女性)
- 従業員の接客マナー。(80代/男性、60代/女性)
- 泉質。(40代/女性)

【問6】市所有温泉施設は大仙市内にいくつあればよいと思いますか。

- 全体では、「現状のまま」が最も高く57.9%、次いで、「3つ程度」が19.8%となっている。
- 年代別では、全年代で「現状のまま」が最も高くなっている。また、10代から30代では「現状より多く」、60代と70代では「3つ程度」が他の年代に比べ高くなっている。
- 地域別では、全地域で「現状のまま」が最も高く、また、「現状より多く」は居住地域に市所有温泉施設が無い大曲地域で最も高く、17.3%となっている。一方で、「3つ程度」が最も高いのも大曲地域で24.5%となっている。また、大曲・協和地域では「市所有の温泉施設は必要なし」が、他の地域に比べ高くなっている。

3. 1. 1 個別事業評価「市所有温泉施設について」



■その他の回答

- ある程度集客が見込まれるのであれば現状のままで。(20代/性別無回答/大曲)
- 半分くらいの数で良い。(80代/女性/中仙)
- 地元の人が必要としていればいくつでも。(40代/女性/協和)
- 現状の内容によるが地域のコミュニケーションの場所としては必要だと思う。とくに高齢者の楽しみの場。(40代/女性/太田)
- 現在の状況に合ってる数、質で考えるべき。(30代/女性/大曲)
- 現状の1~2の減で、施設の状態、人口分布による検討判断。(40代/男性/中仙)
- スーパー銭湯がほしい。(60代/女性/南外)
- 民間で管理維持できるなら市所有である必要はなし。(20代/女性/大曲)

【問7】市所有温泉施設に関して、ご意見やご提案などがありましたらご記入ください。

(自由記述)

- ほとんど利用しませんが、今、何でも値上げの話ばかりでやはり気になるのは利用料金だと思います。温泉の種類なども気になるとは思います。
- 露天風呂の広さと充実。
- 維持していくのは大変と思うが西根の温泉は復活してもらいたい。市でなんとかなりませんか？
- 入浴後、ゆっくり休める無料のスペース（部屋やリクライニングチェア）があること。トレーニングルームと一体となった施設、又は体育館に併設した入浴施設（動くことができる+リラックスできる）。
- 自宅に遊びに来た客人達を宿泊させられるような施設があればよいと思う。又は、温泉だけでもよい。
- 年間1億円は大きいと思うので施設を減らすべきだと思う。
- 若い人も行きやすい雰囲気。利用しやすい温泉場。
- 例えば、市民全員が1回でも無料で使用できる状況になれば、また行きたいと思う人は少なからず現れると思う。
- 旧大曲市内に温泉施設がないのであれば良いと思う。
- 年を重ねるにつれ、近場での利用を求む。
- 老人は車、足がないので曜日でバスとかだしてもらえたらもっと行けるのにとみんなで話をしています。行きたいのに行けないのが残念です。
- 「健康ランド」的な温泉があればもっと自由に行けるとは思います。（時間的に無理かもしれませんが）長い時間ゆっくりできるような。
- 現状維持を希望します。経営改善はアイデアを出せば良い方策が見つかるかもしれません。良い市（施設）にするために、職員ががんばることが最優先だと思います。
- 各温泉施設にどれくらいの宿泊人数を迎えられるかわかりませんが、設備の縮小であれば、これを少なくするか、0にした方がいいと思います。（宿泊の施設）そのかわり、レストランや売店をもっとにぎやかにして地元産の野菜や民芸品、又は個人の不用品等の売買などしてみたらどうか？たとえば、第1日曜日は中里温泉で、第2日曜日は柵の湯で等、イベントをずらしてやってみたらどうか？
- みんなでくつろげる場所があったほうがいいし、温泉施設は近くにあったほうが利用しやすいので、今のまま必要だと思います。
- 市外からの客数が増える方が良いと思う。大きな道路が近くにあり、道の駅や直売所や温泉や宿泊やレストランやキャンプ場などと、ドライブ目的の客を呼べないものか。
- 温泉の近くに子供や家族で利用できる施設（公園や商業施設等）、また温泉とネカフェ等を複合して若者家族向けにリニューアルすればよいのでは？1日遊べる大江戸温泉のようなものがあれば、他市からもお客さんが見込めそう。今後コロナでどうなるかわからないし、減っていくアクティブユーザー（老人）の為に施設はもう現状維持しても衰退するのが見えてるのでターゲットをかえるべき。そもそも子育ての支援をしていると主張している市の割に子供や家族で過ごしたりする施設がなさすぎる。

- 他県に比べて温泉施設が安価で利用しやすいと感じていましたが、そのため、一億円もの公費が投入されていたことは知りませんでした。温泉施設は無くなってほしくないのですが、莫大な費用がかかるのは悩ましいところですね。
- 衛生的な管理を求めます。
- それぞれの地域で、それぞれ大切にされているので必要だと思いますが、新しいものよりも今ある場所をもう少し活用してほしい。合理化や効率化だけではないと思います。付加価値的なものがあるともっと活かせると思います。
- 施設数は旧市町村によるもので大仙市となり統廃合していきたいのですが、温泉は地域の人々のより合いの場でもあります。できればそのまま現状を確保できればいいと感じています。
- イベント等を行うと客足が増えると思う。
- 情報公開をして、赤字の有無。
- 八乙女温泉（交流センター内）を県や市主催の行事に参加した際に利用しました。私自身「温泉を利用しに行く」と言うことはあまりありませんが、宿泊施設として利用するには最適だと感じました。会議室や宴会場などの比較的大きな部屋と個室（一人部屋）や2～3人で泊まる部屋などがあるため、学習合宿や宿泊体験学習など学校行事に関連した場で利用を促進していくとよいのではないかと考えます。観光客や県外・市外の方の誘致も大切だと思いますが、まずは地元、地域住民やその地域の学校等での活用利用の幅を広げていくことが大切だと考えます。
- 老朽化して不潔な感じを受ける施設もあるので、清潔感のある施設、サービスを期待します。そうするともっと行きたいな～と思えると思います。
- 施設内で麻雀・将棋等できることを望んでいる。
- 今はコロナもあり控えておりますが、温泉施設の日帰り入浴は仕事帰りや休日、息抜きや体調管理に利用することがあり、楽しみになっていますので、より身近にあると良いなあと思っております。
- 以前、中里温泉を利用したことがあります。部屋食ができてパック料金で一日ゆっくりできることがとても良かったです。市民の割引、サービスなどがあればうれしいです。安くて美味しいご飯が食べられたら最高です。
- ホテル・旅館・温泉等は宿泊客のニーズの変化もあって苦境に立たされているところが多く、経営は光熱費・水道費・人件費といった固定費の負担が大きく経営状態が悪化すると、それをまかなうことすら難しくなる。顧客のニーズを刺激する付加価値を提供するのも一つの手であり、総合アミューズメント施設など、イオン等に変わる施設（大型）を温泉を含め建設してもらいたい。東海地方であるコロナワールドのような施設、200人くらいの雇用も可能に（企業誘致）。
- 24時間の岩盤浴もある健康ランド（漫画がたくさんおいている）など、館内着で一日ゆっくりすごせる所がほしいです。
- 旧大曲市内に施設がない。検討すべきでないか。既施設で清掃行き届いてないところある。不衛生。昼が常に感じ良くない。新しければなお良い。
- 現状維持できれば問題ないけれど、市で経営することに限界がある場合は委託するのもありだと思います。雇用につながればいいと思います。
- 子供も大人も楽しめる施設。景観も良くする。
- のんびりと休める大きな部屋があればよい。例えば横になってゆっくり眠れる部屋。

- 温泉施設があることで、地域住民だけでなく市外の方も来るきっかけになるので維持してほしいです。ふるさと館は人気があります。設備が古くなっているので改良されたらうれしいです。
- 難しい問題ではありますが、やはり利用者数が伸び悩んでいる所から考える必要あり。高齢化なので当然ですね。
- 厳しい予算の中から高額な運営費の支出等、確かに難しい事とは思いますが。しかし、人間が生きる上で、心の「やすらぎ」は是非とも重要かとも思います。しかし、予算も限られている以上、古い施設を2つぐらいは廃止する事も考えなければいけないと思います。
- 今のサービスで充分です。頑張ってください。
- 温泉大好きです！
- 不要だと思う。何のための温泉ですか？
- ユメリアのプール復活求む。
- 市外から移住したものにとってはどこも行きづらさがある。値段、建築年数、場所、雰囲気、設備が分からず、足を運びにくい。ホームページを参照したことがあるが、それだけでは進んでいく気になれず、いけない。温泉施設の紹介、設備、施設のイチオシなどを市報などの情報発信できるもので特集として掲載。利用特典（値引き、ジュース一杯無料、大仙市オリジナル商品プレゼント）等、何か行くきっかけがあれば。子育て・ご高齢世代でも気軽にいける企画（温泉とは関係の無いイベントなど）。温泉スタンプラリー（紙でも電子でも）などで市民全員が興味をわくものを。
- その昔、元市所有温泉施設の運営に関わったことがありましたが、多大なる支援をいただきながら、残念ながら力及ばず運営継続とはなりません。その際感じたことは、市営・指定管理施設と民間施設は別物で、考え方、やり方も全く別に行うべきで、市民・行政関係者の意識の統一も難しいということです。また、市営施設の補助金や税金の免除などの措置は理解に苦しむ場面が多々ありました。適切な料金を徴収し、人員配置をし、サービス料を徴収し、自己責任で運営している施設と市の補助がある施設では同じ施設してみるのは難しいでしょう。近年は縮小傾向にあり、逆に適切な経営判断を行っているように見受けられますが、運営に税金がかかり増しになっている現状は看過できないように感じます。施設の運営に関しては、住民の意見を、利用者・非利用者問わず広く聞き取りを行い、情報公開していけばよろしいかと思います。
- 特別ありませんが、「心が落ち着く安らぎの場」であってほしいです。障がい者の人にも優しい施設であってほしいです。
- 維持管理費、利用者の減少等で見直しはいずれ避けられないと思われます。
- 現在は、コロナの感染が心配で小さな子どもを連れて利用することができません。コロナが収束したら家族で温泉施設を利用させていただきたいと思います。そのときは、お得な料金で利用できたら幸いです。

- 青森県だと温泉が日常なのですが（個人の意見ですが）秋田は温泉が日常になっていないような気がするので、料金を地元民料金にして（200円ぐらい）利用しやすいようにしてはどうかと思います。温泉＝健康寿命につながっていると思います。泡のぶくぶくした風呂は疲れがとれ、魅力があると思うので天然温泉掛け流し+泡風呂+シャワーの出が良い、掃除が行き届いている施設がいいと思いました。
- 新しい施設をつくるのではなく、現状のままでいいと思います。ただ、老朽化した所を直して欲しいです。古い建物でも清掃がゆきとどいて接客が良ければもっと利用者は増えると思います。それかいつその事、新しくリニューアルし外観や内装をきれいにする。市内の客は利用するかもしれないが市外や県外の客は選ばないと思います。
- 交通の便です。前はユメリアへ車で良く行っておりましたが、それも出来なくなりバス停までは遠くて歩けません。近くに乗合場所があれば利用したいと思います。
- コロナ禍の中で各温泉施設は大変だったと思います。コロナ禍前は、関東方面からの大学の部活や卒業式の謝恩会等で使用されたいと思います。その分利益等がどうだったのか気になります。運営費として年間1億円を市で負担しているようですが、今後維持していくためにはどのように維持費を捻出していくのか心配です。
- バス利用でなければ行けない人もいますので、温泉発着があるといい。嶽の湯のように、玄関前まで行けるバスが最高です。
- いつも丁寧な接客ありがとう（柵の湯）。
- 大曲地域に温泉があれば助かります。無料送迎があれば、利用者が増えるのでは。
- 障害のある方も楽しく温泉を味わえるような施設をぜひ今後のために検討していただきたい。差別のない優しい（心と体に）施設設立と対応。
- 嶽の湯の脱衣場を広くしてもらいたい。
- 県内はもちろん、県外の方にも来てもらえるように周知してほしいと思います。
- レジオネラ菌に注意するよう日々清潔に。
- 健康ランド的な運営希望（例）24H営業、12時までの深夜営業 etc
- 人口的に営業が厳しい部分もあると思いますが、旧市町村内の適度な距離に温泉施設があると安心しますのでできれば現状維持をお願いしたいです。
- 県外などにあるスーパー銭湯などの施設が欲しい。
- 職員の方々の接し方が悪いと思います。利用する人が行っているのに職員同士の話し声が大きいのではないか。帰る時の「ありがとう」がほとんどないです。
- 温泉が好きでコロナ拡大前は仕事でつかれた時はいやしを求めて温泉に行っていました。できれば温泉施設の数減らしてほしいです。むしろ体育館や運動場などの近くに温泉を作してほしいです。
- 混んでいる施設とそうでない施設の差がすごい。人口が多い中央に必要。他にないので行くが、嶽の湯の脱衣所が非常に混雑していて、利用をためらうことがある。
- 利用者の多い施設を残してやって行った方が良く思う。
- 地域住民の交流場所が温泉施設になっています。また、宴会や総会の場所として利用する為にも、そのような施設を残してほしい。
- 貸切風呂が備えてあれば助かります。
- 年々利用者が減少している昨今思いきった政策をとる事は大切だと思います。目先の事より、先々の事を考えて事をおこしてほしいと思います。

- 温泉入浴は健康に良い。病気になる確率はぐんと下がる。国保の医療費総額は激減する。旧南外村の国保データ（H20～当時を調査）により明らかです。温泉は大切です。医療費負担で金を使うも、温泉施設の維持に金を使うも同じです。健康な人間が多ければその他の効果は図り知れないと思います。
- ユメリアなどの場合は無料休憩所がもう少し広ければ利用者がゆっくりできるのではないかと思う。
- 利用客のデータ、アンケートをとる。
- かみおか温泉（嶽の湯）の脱衣場を広くして下さい。
- 温泉施設内のコロナの感染対策がしっかりとされて、とても安心して利用できています。
- サウナの人気があるのにサウナ室が広くて、水風呂、露天風呂が大きいところが少ない。ベストがユメリア。嶽の湯、柵の湯はサウナ室が狭すぎる。前は中里温泉を利用していたが、今は新館がやってないので別に行く。サウナ室が広くて良かったが、露天風呂が狭くてガッカリ。改装などお金がかかるが利用者のニーズにそっていけば、それぞれの温泉施設ももっと利用が増えると思う。
- 近所にもあるが、ほとんど利用しない。
- 何かしらのイベントがない。レストランの充実が足りない。集客の努力が足りない。
- 数なども、もちろん大事だと思うが、人が集まる施設として、清潔感があったり、付属のレストランが美味しい等、総合的な魅力がある施設作りを継続的（メンテナンスの持続も含めて）に行ってほしい。
- イベント時や自宅の水道の調子が悪かった際に温泉を利用しました。雰囲気も良くまた利用したいと思いますので現状維持が望ましいです。
- 脱衣場荒らしがないよう貴重品ロッカー等の設備はしっかりして欲しいと考えます。また、清潔感のある施設である事もお願いしたいなと思います。
- 老若男女が利用しやすい周知が必要。
- あまりにも温泉には行かないので、古い記憶となっておりますが、秋田県としての温泉といえば、玉川温泉、湯瀬温泉、乳頭温泉郷しか知らないのも、馴染みがないのが行かない理由なのかと考えます。何事も宣伝することが重要です。私もですが、特に若い人は温泉に気軽に行くということは少ないと思います。学校ごとに割引券など行きたいと思えるような提供をすることが効果的であると考えます。
- いろいろと経費がかさむようになれば、縮小したほうが良い。
- 全体的に利用客が減少傾向にある。施設の数減らしてより整備しやすいようにした方がいいと思う。スタンプラリーなどのイベントを開いて利用客を増やしてもらいたい。
- 雨があまり降らなかったときに入浴中に水が止まってしまうことがあったので、そういうことがないようにしてもらいたい。
- 嶽の湯のように温泉そのものよりも周りに公園や図書館などの他施設があると利用しやすい。例えば公園で子どもと遊んでいて汗をかいたり服が汚れたから温泉に入るなどの理由があった方が利用者は確保できると思う。温泉単体である施設なら集客はあまり望めないと思うため廃合しても良いと思う。また税金を使ってまで管理維持する必要はないと思うため民営化しても良いと考えている。
- 利用者数が目に見えて減少している施設を維持する必要はない。
- 複数施設があれば近場で行く人がいるかもしれませんが、少額の利用料金、少人数で経営が厳しくなるのが目に見えてるので大型温泉複合施設を市に1つあれば良いと思います。

◆調査結果まとめ及び今後の方針

- 問4の温泉施設を利用する上で重視することの結果から、「行きやすさ」や「施設の雰囲気・居心地の良さ」が重視されていることが分かった。また、実際に居住地域に立地している温泉施設を利用している割合が高くなっている。市民ニーズとして、近場に温泉があり、くつろげる空間としての温泉施設が求められていると考えられる。
- 問5の温泉施設経営の合理化を進めた場合でも維持・確保してほしいこととして、「利用料金」や「お風呂の種類や泉質、サウナ等の設備」の割合が高かった。また、利用者は、年代が下がるほど「お風呂の種類や、サウナ等の設備」を重視する傾向となっている。今後は、持続的な施設運営を可能とするため、各温泉施設の「利用料金」に加え「お風呂の種類や、サウナ等の設備」を含めた差別化が必要と思われる。
- 市所有温泉施設は、市民の保養、休養及び交流を促進し、市民の豊かな生活に一定の役割を果たしているものと捉えているが、「年に1回から数回程度」「ほとんど利用しない・利用したことがない」を合わせた割合は約8割にのぼっており、また、維持費の負担増への懸念から縮減・廃止等の意見もあることなどを踏まえ、本アンケートで得られた温泉施設の利用目的や重視していること、さらには継続して望まれていることなどを参考にしながら、今後の運営に係る方向性を検討する。

◆ 調査目的: SDGsは、世界が直面する様々な問題をみんなで協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」で、17の目標(ゴール)と169の達成基準(ターゲット)が設定されており、2030年までの達成を目指している。

SDGsが目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現し、「今」も「未来」も幸せに暮らし続けていくためには、私たち一人一人が「自分のこと」として考え、行動していくことが重要である。

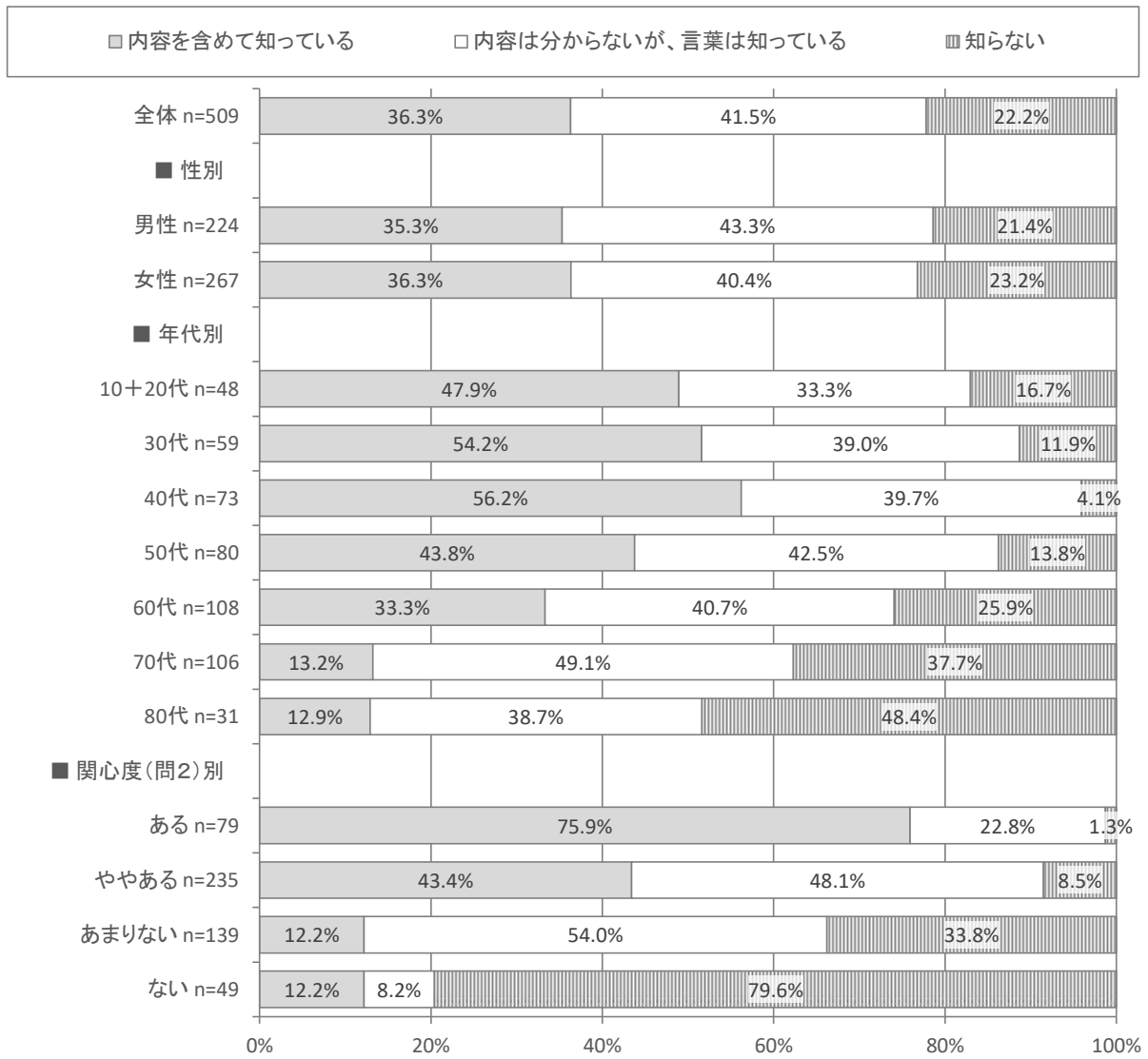
こうしたことを踏まえ、市では、総合計画をはじめとする各種計画にSDGsの考え方を取り入れ、着実に進めるとともに、市民の皆さまにSDGsへの理解を深めていただきながら、その達成に向けて市全体で取り組んでいくため、市広報やホームページを通じた普及啓発も行っている。

本調査では、市民の皆さまのSDGsの認知度や取組状況などを伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とする。

【問1】あなたは、SDGsという言葉を知っていますか。

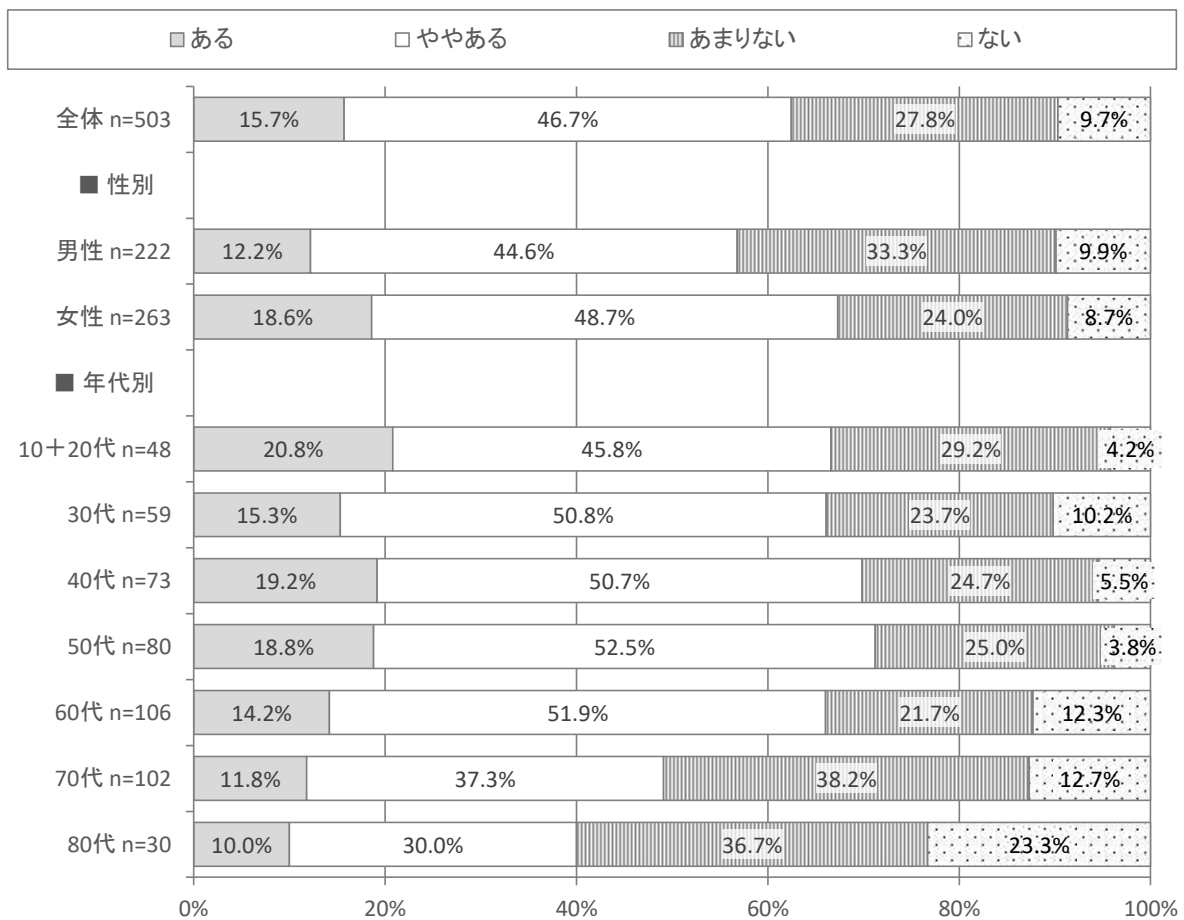
- 全体では「内容を含めて知っている」「内容はわからないが、言葉は知っている」(以下、「言葉は知っている」)を合わせた割合は77.8%となっており、約8割の方がSDGsを認知している状況にある。
- 性別による差異はほとんど無い。
- 年代別で見ると、40代を境に年代が上がる、または下がるにつれ「知らない」が高くなる傾向にある。なお、40代では「内容を含めて知っている」が56.2%で最も高くなっており、「言葉は知っている」と合わせると95.9%となっている。また、「知らない」が最も高いのは、80代で、約半数の方がSDGsという言葉を知らないという結果になっている。
- 問2の関心度別で見ると、関心の度合いが低下するにつれて、「知らない」が高くなる傾向にある。

3. 1. 2 個別事業評価「SDGsについて」



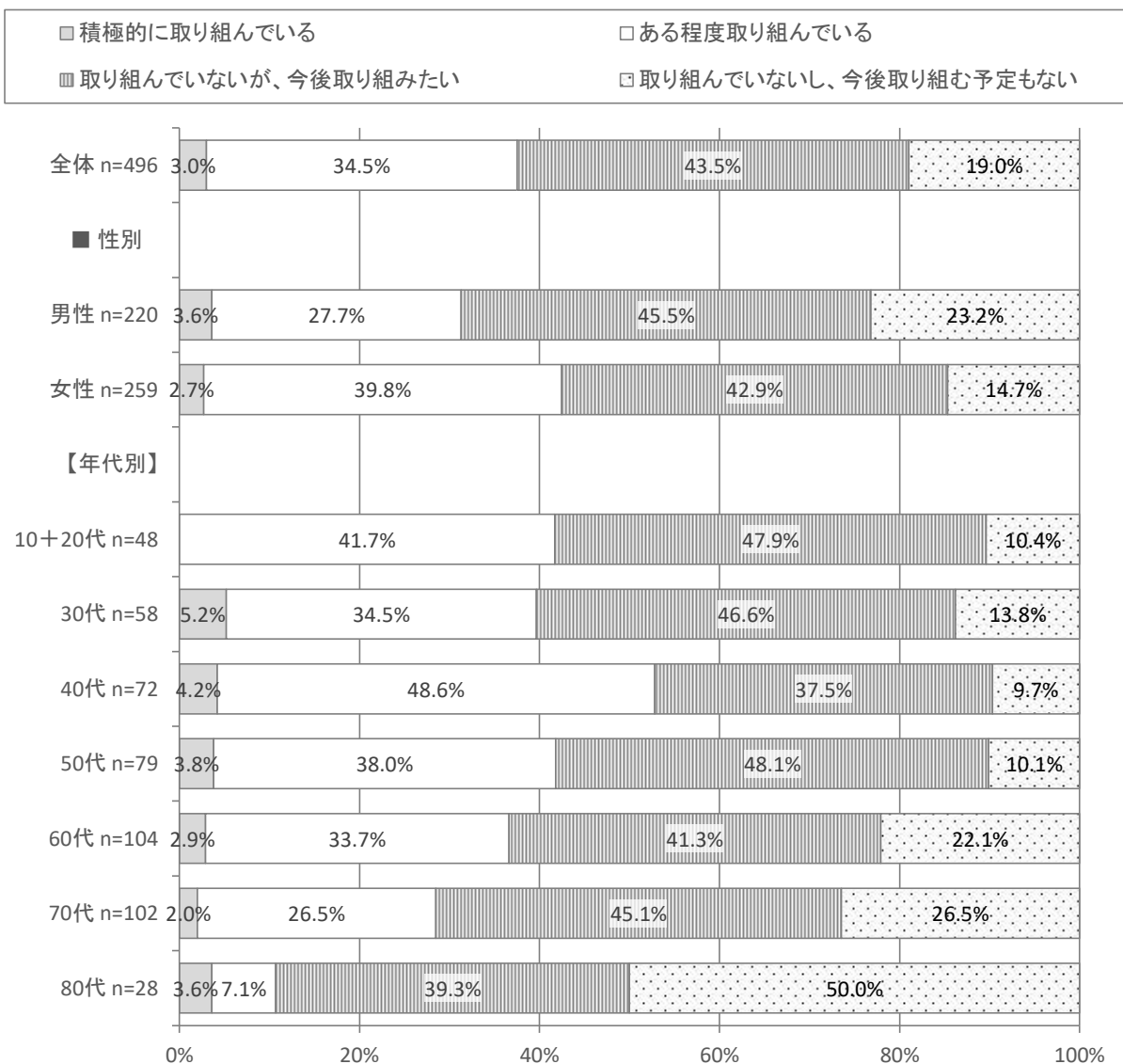
【問2】あなたはSDGsについて関心がありますか。

- 全体では、「ある」「ややある」を合わせた割合は62.4%となっており、6割以上の方が程度を問わず関心があると回答している。
- 性別で見ると、「ある」「ややある」を合わせた割合は男性の56.8%に対し、女性は10.5ポイント高い67.3%となっている。
- 年代別で見ると、「ある」「ややある」を合わせた割合は、10代から60代でほぼ同じ割合となっており、約7割の方が程度を問わず関心があると回答している。なお、50代を境に年代が上がるにつれて関心度が低下する傾向となっている。



【問3】あなたはSDGsを意識して、日常で何らかの取組を行っていますか。

- 全体では、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせた割合が37.5%、「取り組んでいないが、今後取り組みたい」が43.5%となっており、8割以上の方が取り組む意欲があると回答している。
- 性別で見ると、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」「取り組んでいないが、今後取り組みたい」を合わせた取り組む意欲のある方の割合は、男性が76.8%、女性が85.4%となっており、問2の関心度と同様、女性が高くなっている。
- 同様に、取り組む意欲のある方の割合を年代別で見ると、10代から50代まではほぼ同じだが、60代以上では年代が上がるにつれて低くなる傾向となっている。



【問4】SDGsの17の目標のうち、次のことについてどのようにお考えですか

■取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標（複数回答可）

- 全体では、割合が高い順に「住み続けられるまちづくりを」が50.1%、「すべての人に健康と福祉を」が40.2%、「平和と公正をすべての人に」が39.1%となっている。一方で、低い順に見ると「産業と技術革新の基盤をつくろう」が11.0%、「パートナーシップで目標を達成しよう」が11.3%、「海の豊かさを守ろう」が18.7%となっている。
- 年代別で見ると、10代から30代、60代、70代で「住み続けられるまちづくりを」が50%を超えて最も高くなっているほか、40代と80代でも2番目に高くなっている。40代では「平和と公正をすべての人に」が38.3%、80代では「すべての人に健康と福祉を」が66.7%で最も高くなっている。また、「平和と公正をすべての人に」は40代以外でも高くなっており、「すべての人に健康と福祉を」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

■関心がある目標（5つまで）

- 全体では、割合が高い順に「すべての人に健康と福祉を」が46.9%、「住み続けられるまちづくりを」が45.7%、「貧困をなくそう」が36.3%となっている。一方、低い順に見ると「パートナーシップで目標を達成しよう」が4.5%、「働きがいも経済成長も」が11.9%、「陸の豊かさを守ろう」が12.3%となっている。
- 年代別で見ると、全年代で「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」が30%を超えており、「すべての人に健康と福祉を」は10代と20代を合わせた年代、40代、70代以上で最も高く、特に70代では62.8%、80代では73.9%と他の年代に比べ非常に高くなっている。「住み続けられるまちづくりを」は50代と60代で最も高く、50代で41.1%、60代で54.3%となっている。また、30代では「貧困をなくそう」が45.3%で最も高くなっている。その他の項目では、30代と40代で「質の高い教育をみんなに」、50代で「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、60代で「産業と技術革新の基盤をつくろう」が高くなっている。

■重要だと思う目標（5つまで）

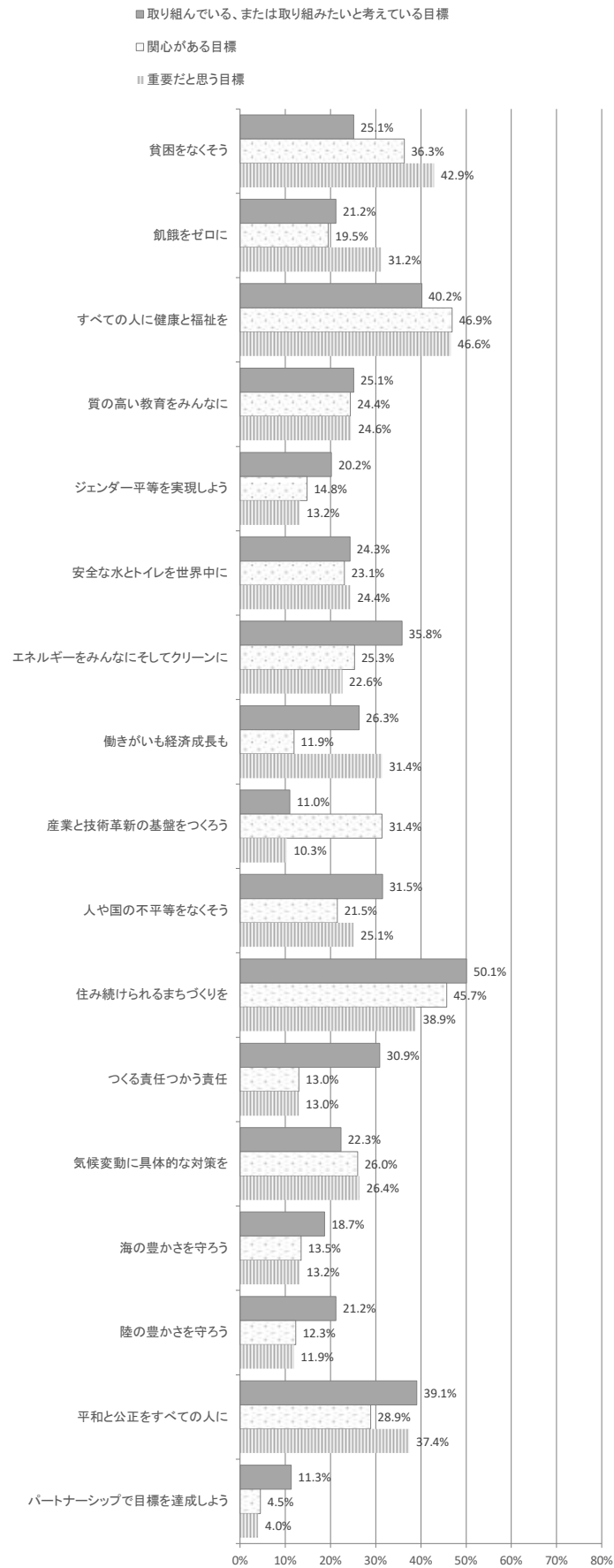
- 全体では、割合が高い順に「すべての人に健康と福祉を」が46.6%、「貧困をなくそう」が42.9%、「住み続けられるまちづくりを」が38.9%となっている。一方、低い順に見ると「パートナーシップで目標を達成しよう」が4.0%、「産業と技術革新の基盤をつくろう」が10.3%、「陸の豊かさを守ろう」が11.9%となっている。
- 年代別で見ると、10代と20代を合わせた年代、30代、50代では「貧困をなくそう」が最も高く、10代と20代を合わせた年代と30代で50%を超えている。40代と60代以上では「すべての人に健康と福祉を」が最も高く、60代以上では50%を超えている。その他の項目では、10代と20代を合わせた年代と80代で「安全な水とトイレを世界中に」、30代で「飢餓をゼロに」、30代と50代以上で「住み続けられるまちづくりを」、50代から70代で「平和と公正をすべての人に」が高くなっている。

■「取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標」（以下、「取組度」）、「関心がある目標」（以下、「関心度」）、「重要だと思ふ目標」（以下、「重要度」）の比較

- 目標別に、取組度、関心度、重要度を見ると、「すべての人に健康と福祉を」は取組度が40.2%（2位）、関心度が46.9%（1位）、重要度が46.6%（1位）、また、「住み続けられるまちづくりを」は取組度が50.1%（1位）、関心度が45.7%（2位）、重要度が38.9%（3位）となっており、この2つの目標は全ての割合が高くなっているが、「すべての人に健康と福祉を」は取組度が、「住み続けられるまちづくりを」は重要度がやや低くなっている。

続いて、「貧困をなくそう」は関心度が36.3%（3位）、重要度が42.9%（2位）となっているのに対し、取組度は25.1%（8位）と低くなっている。「飢餓をゼロに」は取組度が21.2%（12位）、関心度が19.5%（11位）とほぼ同じなのに対し、重要度は31.2%（6位）と高くなっている。「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は関心度が25.3%（7位）、重要度が22.6%（11位）となっているのに対し、取組度が35.8%（4位）と高くなっている。「働きがいも経済成長も」は取組度が26.3%（7位）、重要度（5位）が31.4%となっているのに対し、関心度が11.9%（16位）と低くなっている。「産業と技術革新の基盤をつくろう」は取組度が11.0%（17位）、重要度が10.3%（16位）となっているのに対し、関心度が31.4%（4位）と高くなっている。「つくる責任つかう責任」は関心度、重要度がともに13.0%（ともに14位）なのに対し、取組度が30.9%（6位）と高くなっている。「平和と公正をすべての人に」は取組度が39.1%（3位）、重要度が37.4%（4位）となっているのに対し、関心度が28.9%（5位）と、ほぼ順位に差は無いものの割合が低くなっている。その他の目標については割合、順位ともにあまり差は無い。

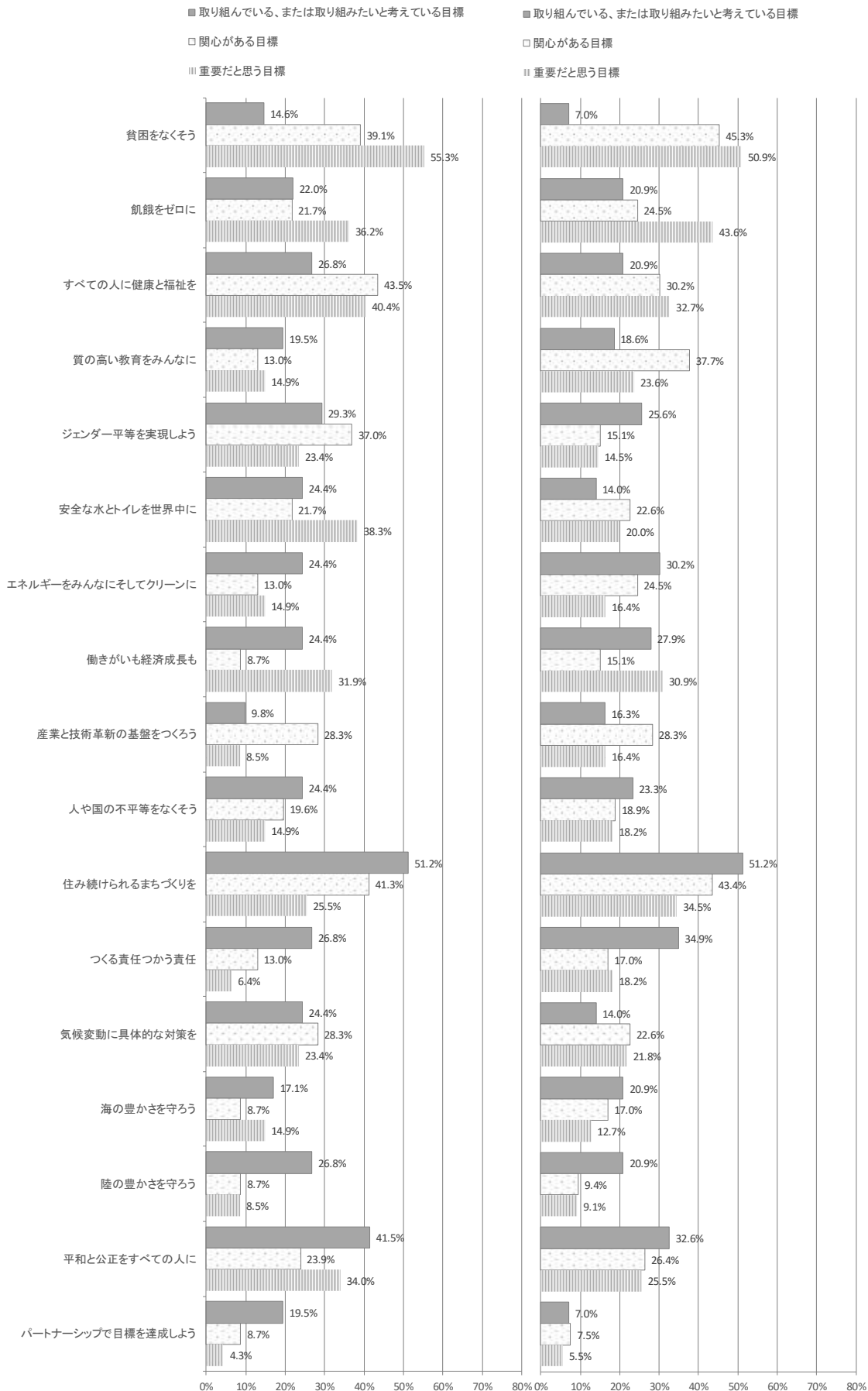
■全体



■年代別

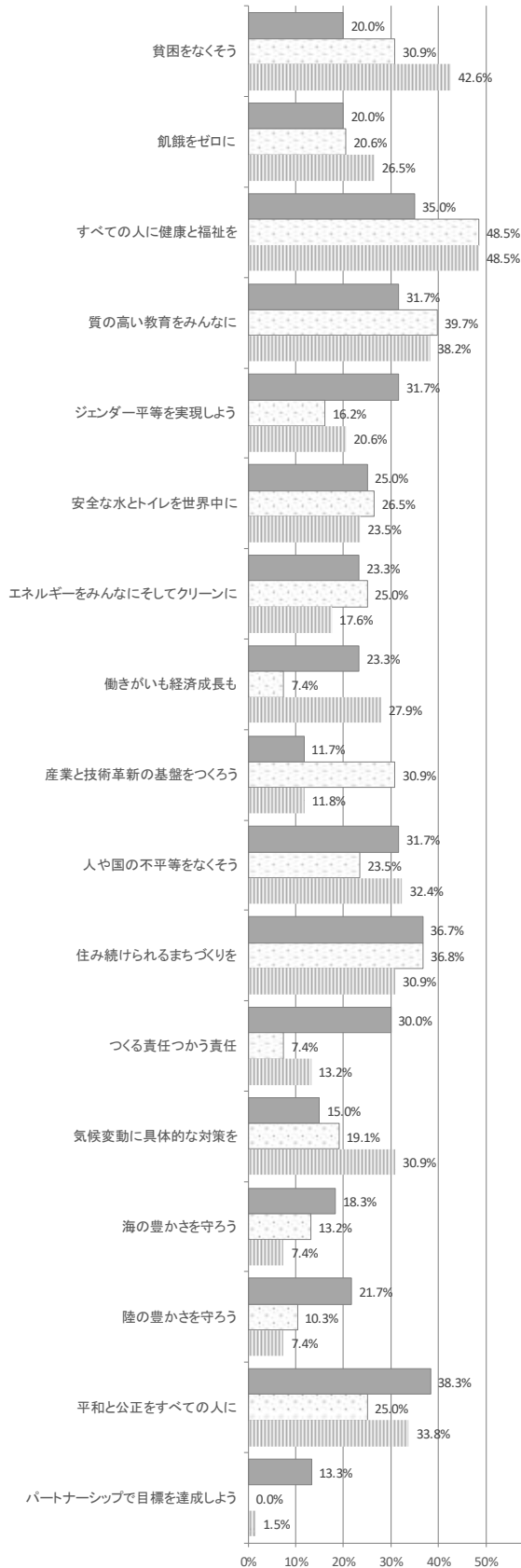
【10代+20代】

【30代】



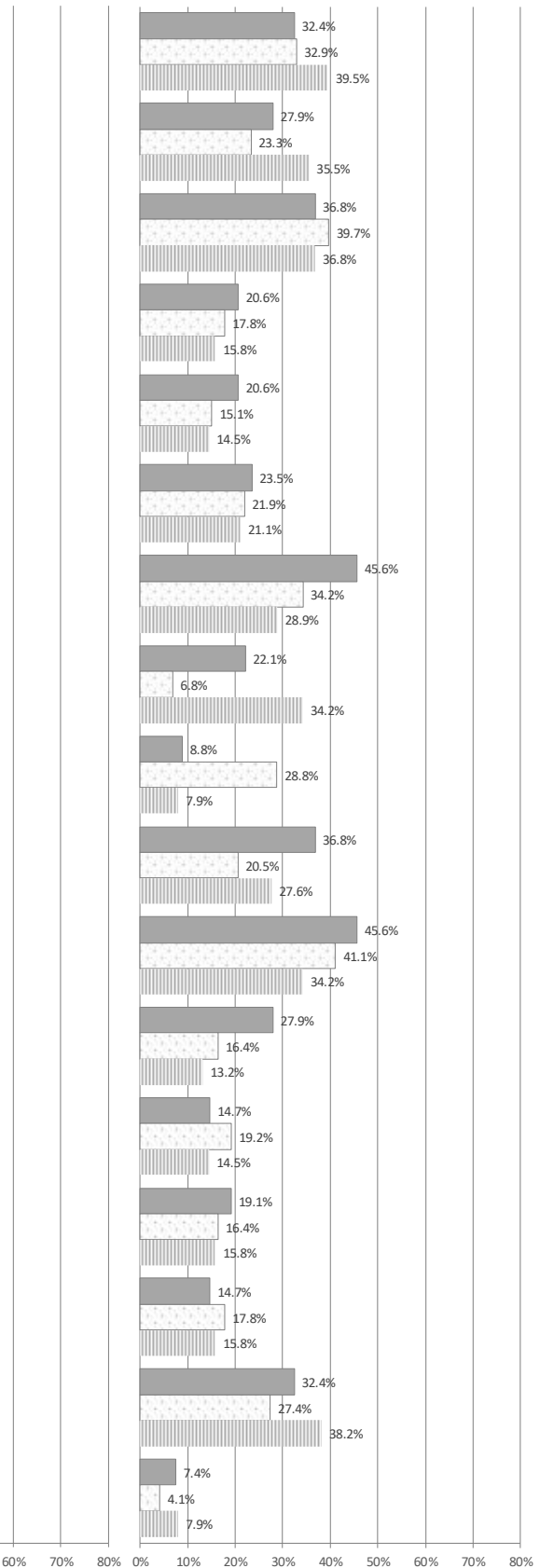
【40代】

- 取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標
- 関心がある目標
- ▨ 重要だと思ふ目標



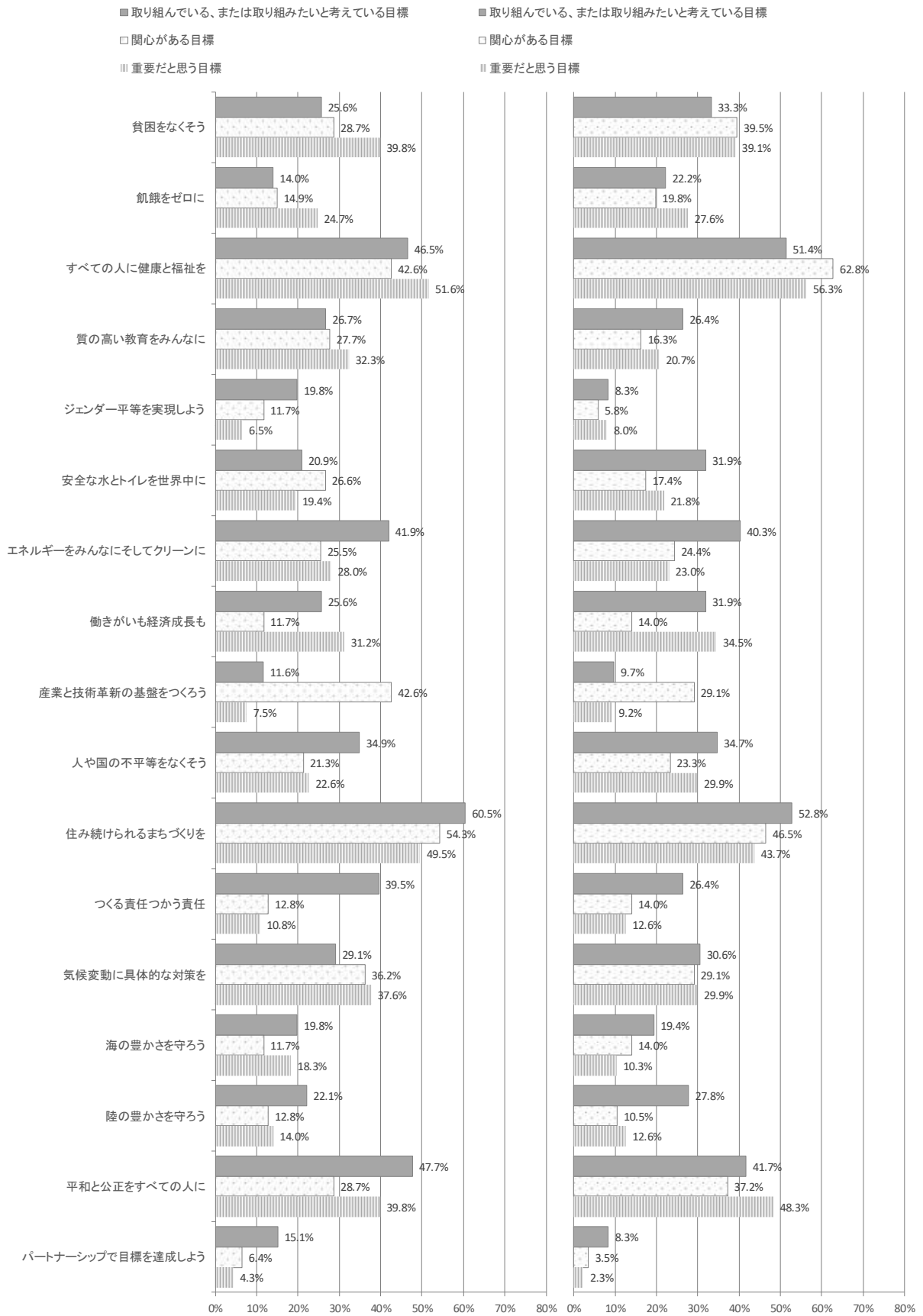
【50代】

- 取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標
- 関心がある目標
- ▨ 重要だと思ふ目標

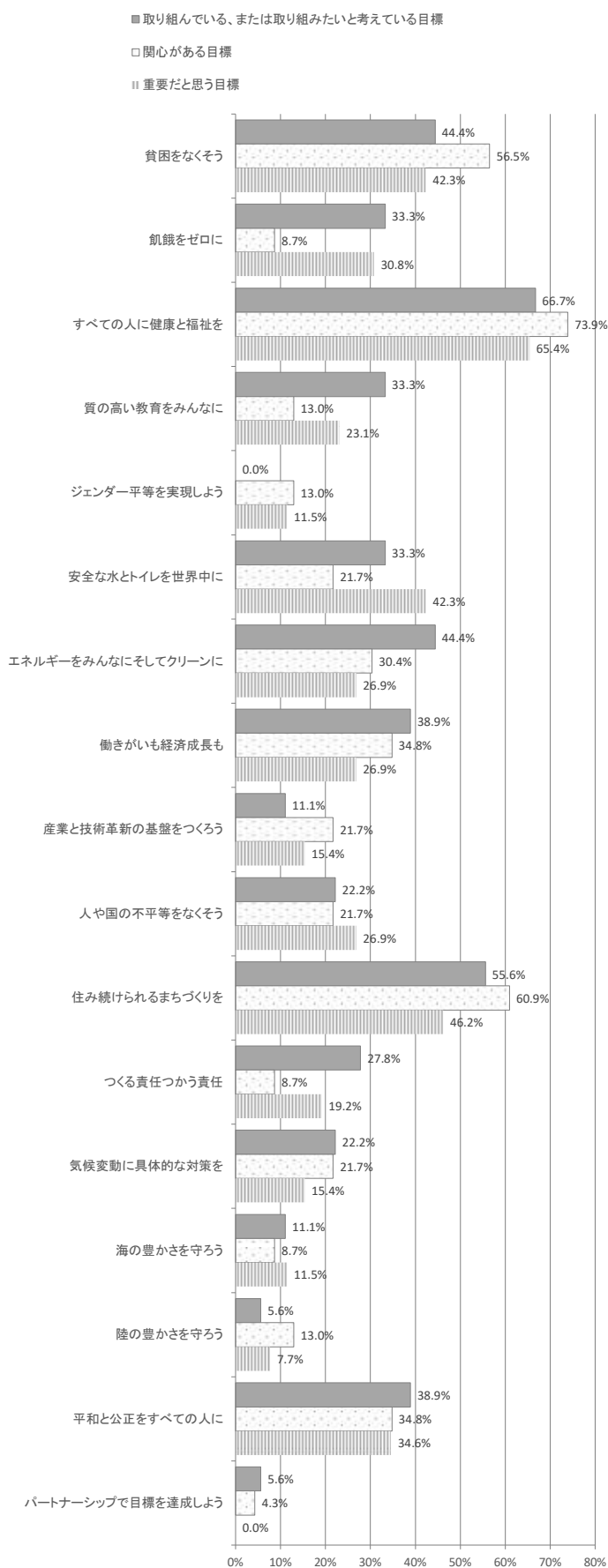


【60代】

【70代】

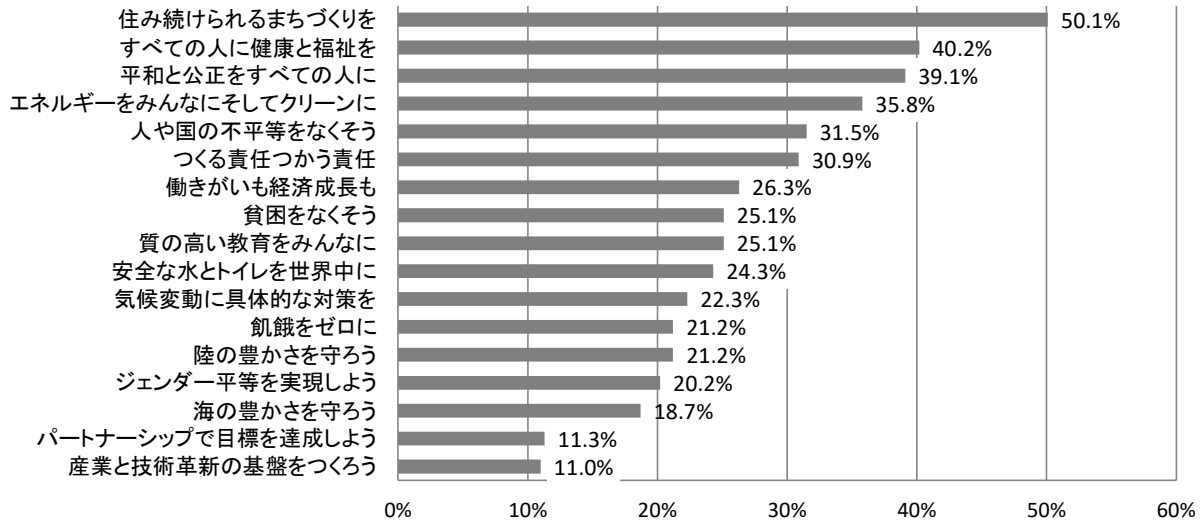


【80代】

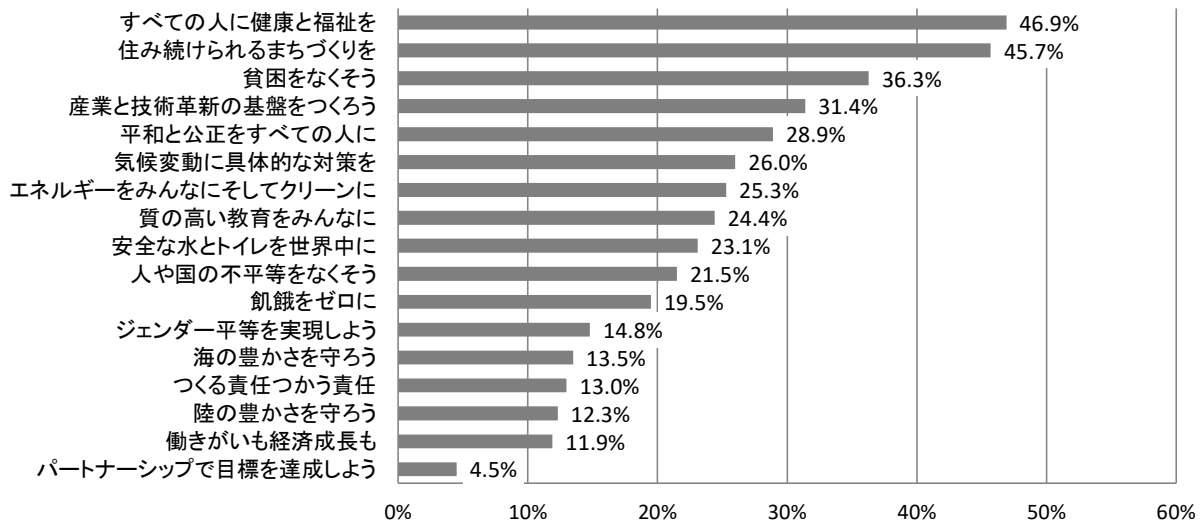


■目標別（割合順）

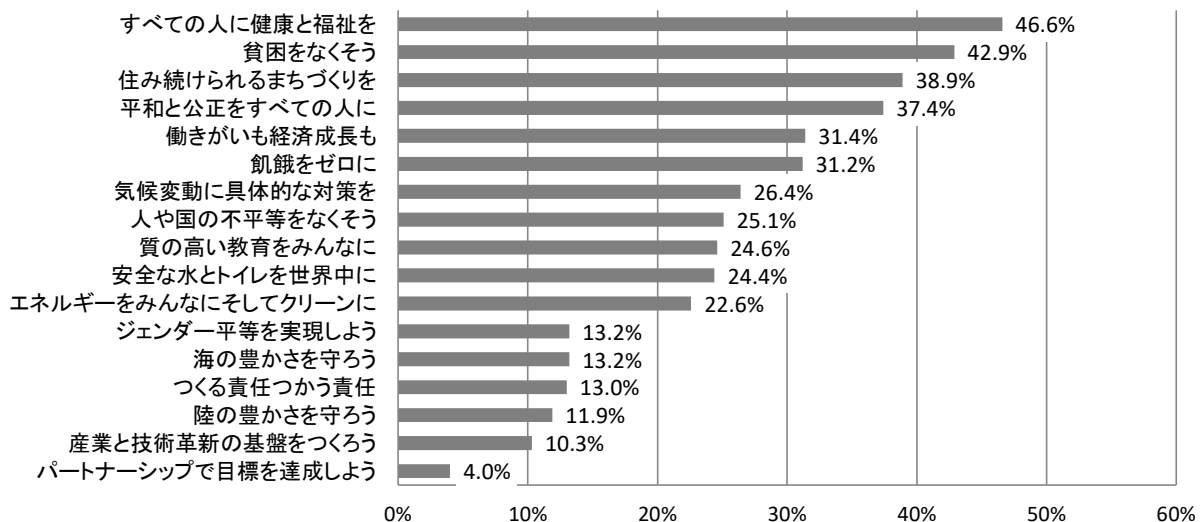
取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標



関心がある目標



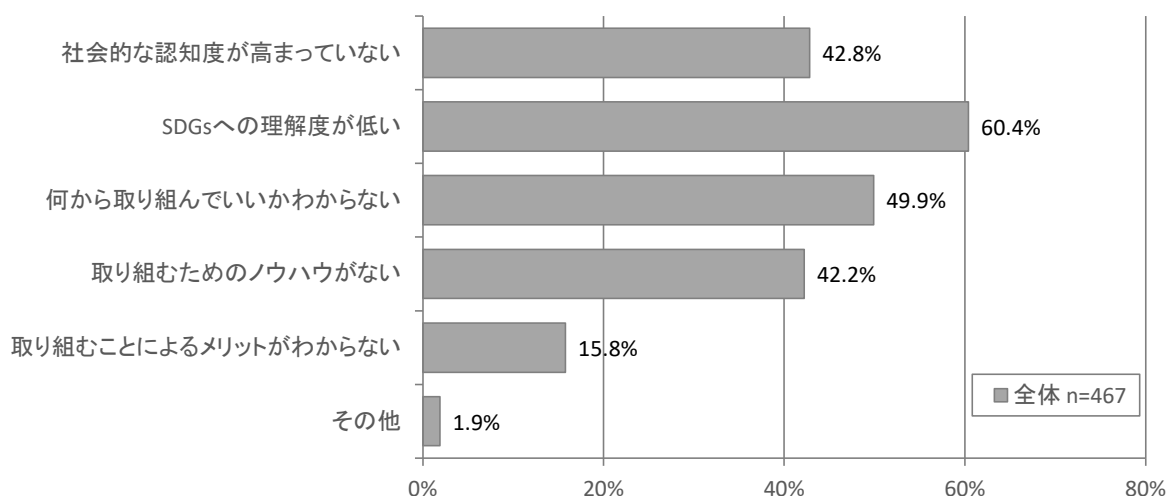
重要だと思う目標



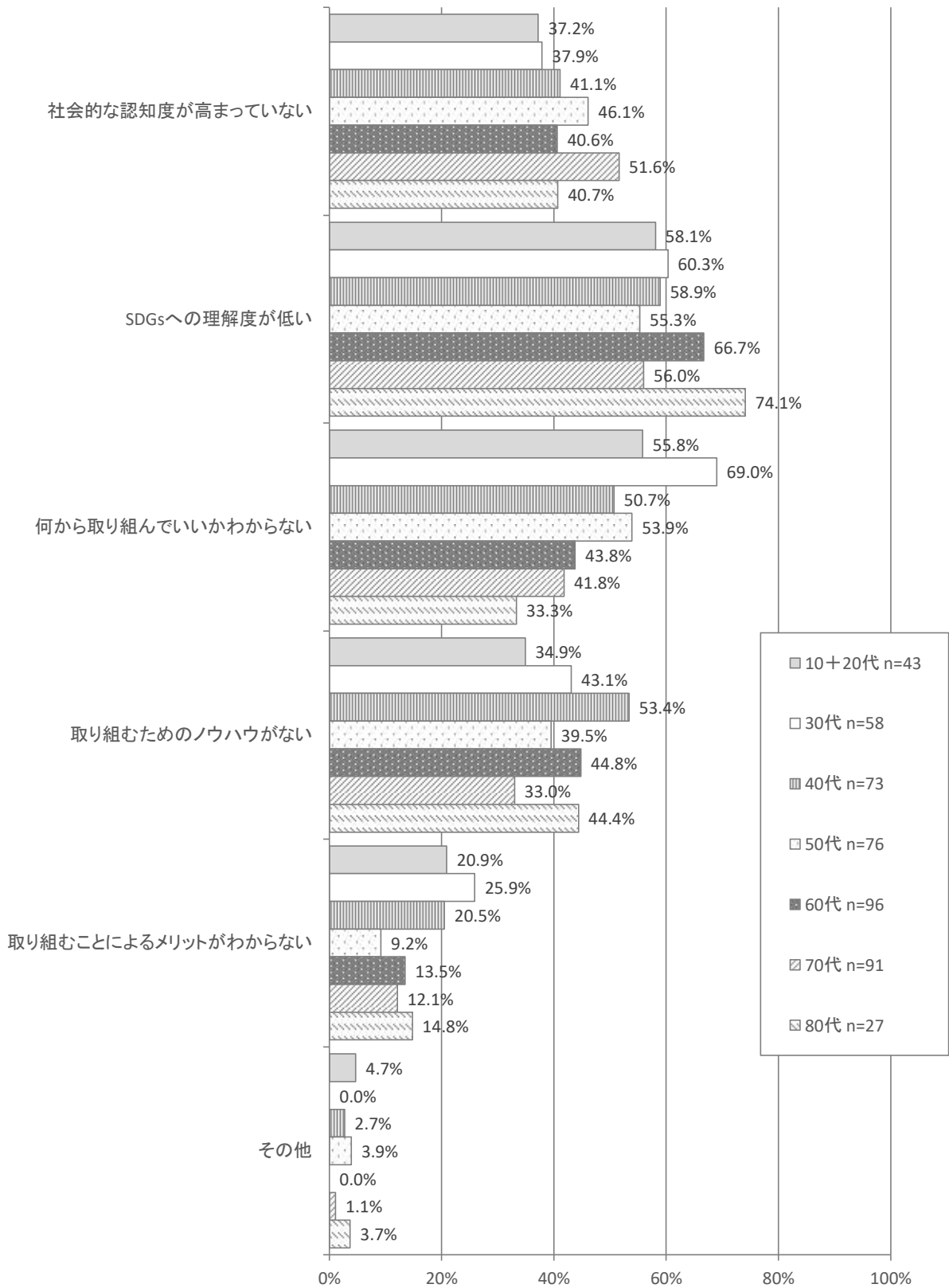
【問5】SDGsを推進していく上での課題は何だと思いますか。（複数回答可）

- 全体では、「SDGsへの理解度が低い」が60.4%で最も高く、次いで「何から取り組んでいいかわからない」が49.9%、「社会的な認知度が高まっていない」と「取り組むためのノウハウがない」がほぼ同割合で約42%となっている。
- 年代別で見ると、30代以外で「SDGsへの理解度が低い」が最も高くなっており、80代では74.1%となっている。30代では「何から取り組んでいいかわからない」が最も高く、69.0%となっている。また、50代以下で「何から取り組んでいいかわからない」、40代以下で「取り組むことによるメリットがわからない」が高くなっている
- 問2の関心度別で見ると、「社会的な認知度が高まっていない」については、関心が「ある」と回答した方の割合が比較的高くなっている。また、「SDGsへの理解度が低い」については、関心度が上昇するほど高く、「取り組むことによるメリットがわからない」では、関心度が低下するほど低くなっており、「何から取り組んでいいかわからない」では関心が薄い層の割合が高い。
- 問3の取組状況別で見ると、「積極的に取り組んでいる」と回答した方では「社会的な認知度が高まっていない」と「SDGsへの理解度が低い」が57.1%で、最も高くなっている。また、「ある程度取り組んでいる」「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答した方も「SDGsへの理解度が低い」が最も高く、特に「ある程度取り組んでいる」と回答した方は、66.7%で他の取組状況を大きく上回っている。「取り組んでいないが、今後取り組みたい」と回答した方では「何から取り組んでいいかわからない」が59.8%ととび抜けて高くなっている。「何から取り組んでいいかわからない」と「取り組むためのノウハウがない」は「積極的に取り組んでいる」と回答した方のみ低くなっている。「取り組むことによるメリットがわからない」は全体的に低くなっているが、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答した方の28.6%と、他の取組状況の2倍以上となっている。

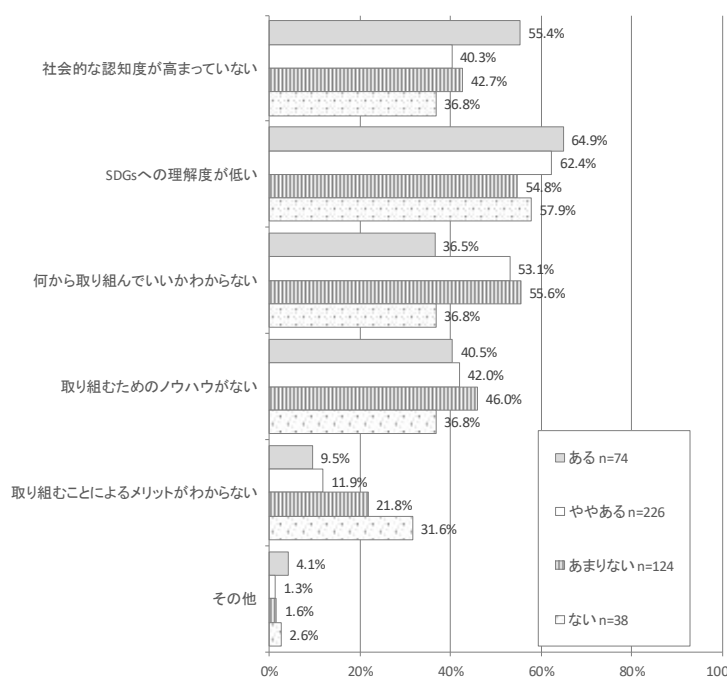
■全体



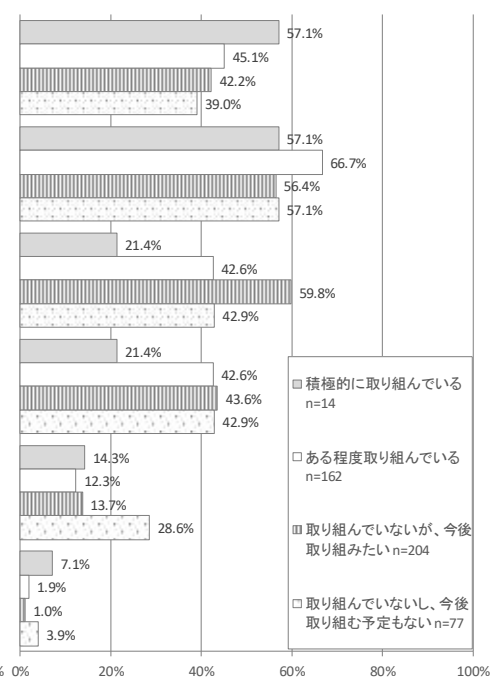
■年代別



■関心度（問2）別



■取組状況（問3）別



■その他の回答

- 個人の意識（50代／女性／大曲）
- 周知と理解の普及（50代／男性／大曲）
- 達成基準がわからないため、他人事になってしまうことが多い。（10代／女性／中仙）
- 取り組むことによるデメリット。（10代／性別無回答／大曲）
- 地域で行うきっかけ作り（40代／女性／太田）
- 理想のみで現実が全く見えて無い（50代／男性／大曲）
- 当たり前の事として取り組める環境作り。今は無理に取り組まされている感覚がある。（40代／女性／大曲）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○ 問1のSDGsの認知度については、22.2%の方がSDGsという言葉を知らないと回答しており、40代を境に年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向が見られ、80代では48.4%となっている。また、問2の結果から、関心が「ある」と回答した方のうち、SDGsを「知らない」と回答した方は1.3%であったのに対し、関心が「ない」と回答した方のうち、「知らない」と回答した方は79.6%となっており、関心度と認知度に正の相関関係が見られる。以上のことから、今後、より一層SDGsに対する認知度を向上させるため、特に高齢の方の的を絞った効果的な情報発信を行うとともに、市民の皆さまに関心を持っていただけるような方策を検討する。

○ 問3のSDGsへの取組状況については、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせた割合が37.5%、「取り組んでいないが、今後取り組みたい」が43.5%となっており、取り組む意欲のある方は81.0%となっている。年代別に見ると、10代から50代では取り組む意欲のある方は約9割となっている一方で、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答した方は60代で22.1%、70代で26.5%、80代では50%となっており、高齢の方ほど取り組む意欲がない方が多い傾向にある。

問5のSDGsを推進していく上での課題について、問2の関心度や問3の取組状況とクロス集計を行ったところ、関心度等により認識する課題に有意と思われる差異や一定の傾向が見られたことから、さらに分析を進めながら意識改革や行動変容を促すきっかけづくりや環境づくりに取り組んでいく。

○ 問4のSDGs17の目標については、目標によって取組度、関心度、重要度に差が生じており、自身にとって身近でないものほど割合が低くなっているものと推察される。こうした目標ごとの差を埋めていくこともSDGsを推進する重要な観点であることから、それぞれの目標を身近な行動に置き換え、具体例を示すなど、市民の皆さまにとってSDGsがより身近なものとなるための環境づくりを進めていく。

3.1.3 男女共同参画について

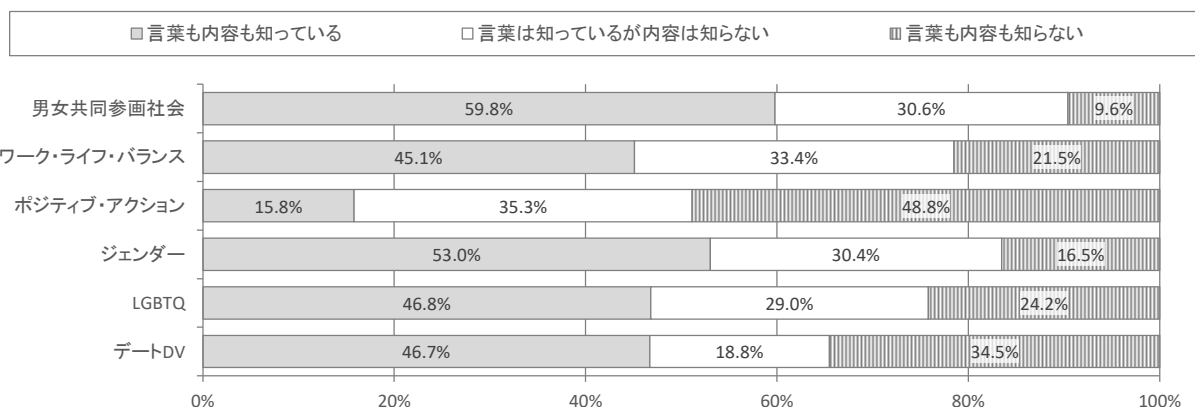
(企画部総合政策課)

- ◆ 調査目的: 調査票の記載のとおり、令和2年度からは「第3次大仙市男女共同参画プラン」のもと、「誰もがイキイキと『ともに輝く男女共同参画のまち』」を目指して、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進、DVやあらゆるハラスメントの防止、性的マイノリティに対する理解促進などに取り組んでいる。
- 本調査では、市民の皆さまから男女共同参画に関するお考えやご意見を伺い、今後、さらに男女共同参画を推進していくための参考とする。

【問1】あなたは、男女共同参画に関する次の言葉を知っていますか。

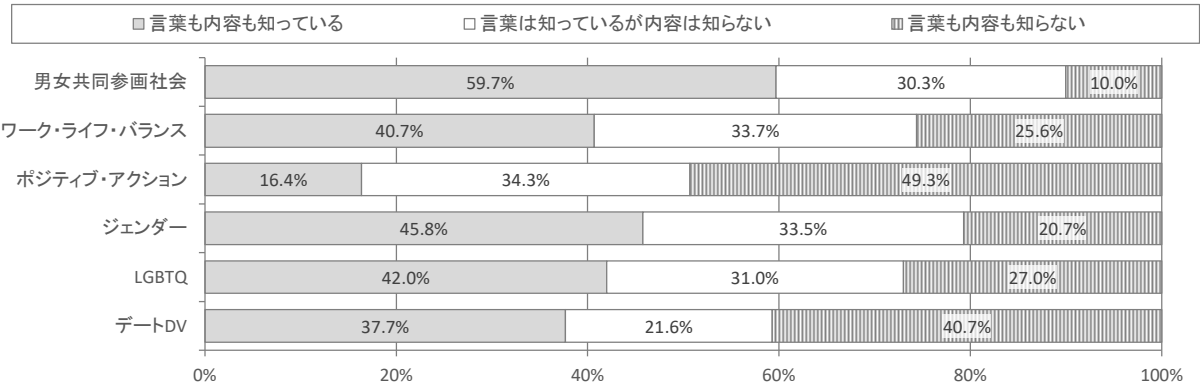
- 全体では、「言葉も内容も知っている」（以下、「知っている」）「言葉は知っているが内容は知らない。」（以下、「言葉は知っている」）を合わせた割合が最も高いのは『男女共同参画社会』で90.4%となっており、以下、『ジェンダー』『ワーク・ライフ・バランス』『LGBTQ』『デートDV』『ポジティブ・アクション』と続いている。最も認知度が低い『ポジティブ・アクション』は、約半数の方が「知らない」と回答している。
- 性別で見ると、「知っている」「言葉は知っている」を合わせた割合は全ての項目で女性が高くなっており、特に『デートDV』については、男性の59.3%に対し、女性は70.6%と11.3ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、割合の差はあるものの、80代を除いた年代で概ね同様の傾向となっているが、60代以上で『ジェンダー』と『LGBTQ』について「知らない」と回答した方の割合が高くなっている。80代は他の年代に比べ、『ワーク・ライフ・バランス』と『ポジティブ・アクション』について「知らない」と回答した方の割合が低くなっている。

■全体

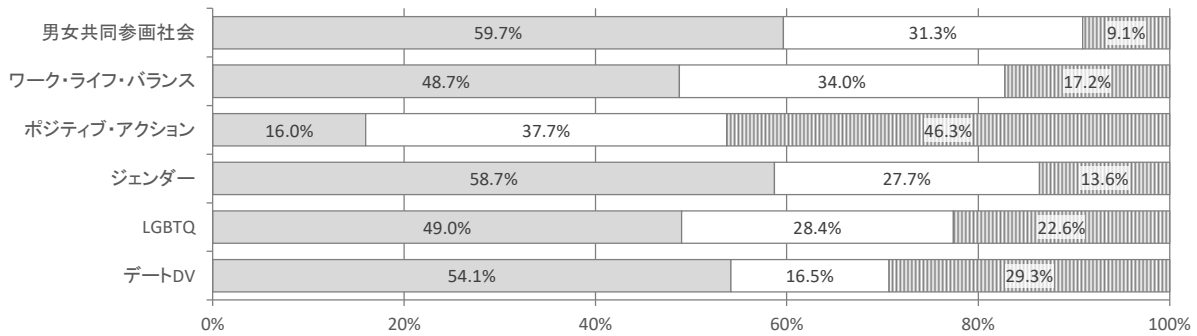


■性別

【男性】

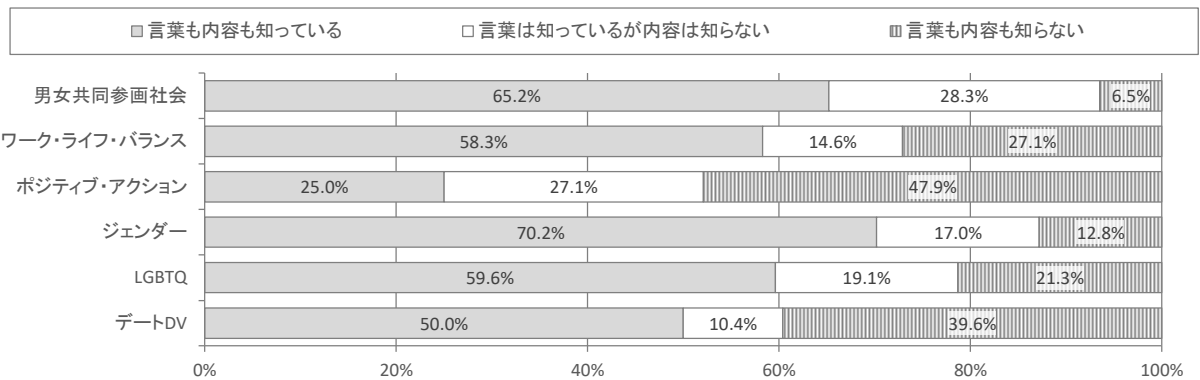


【女性】

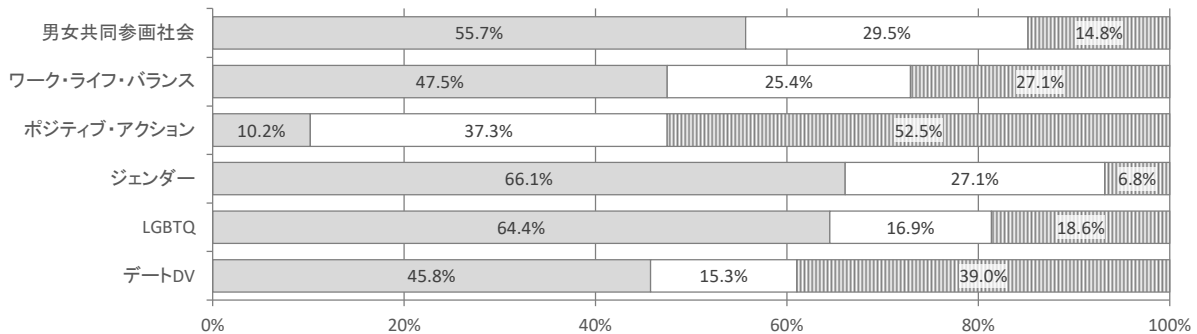


■年代別

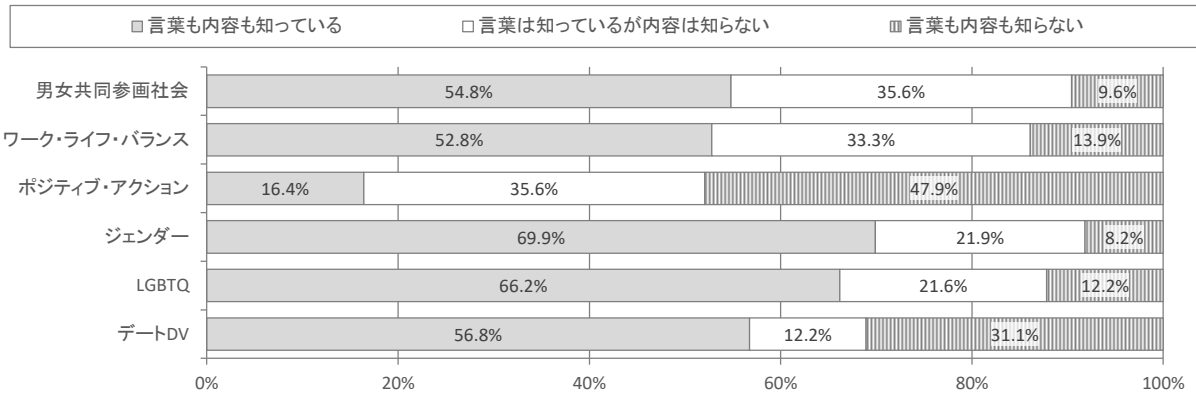
【10代+20代】



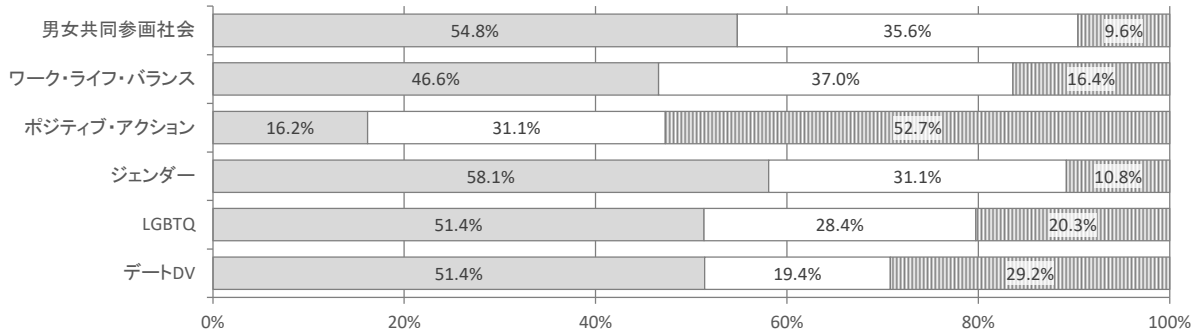
【30代】



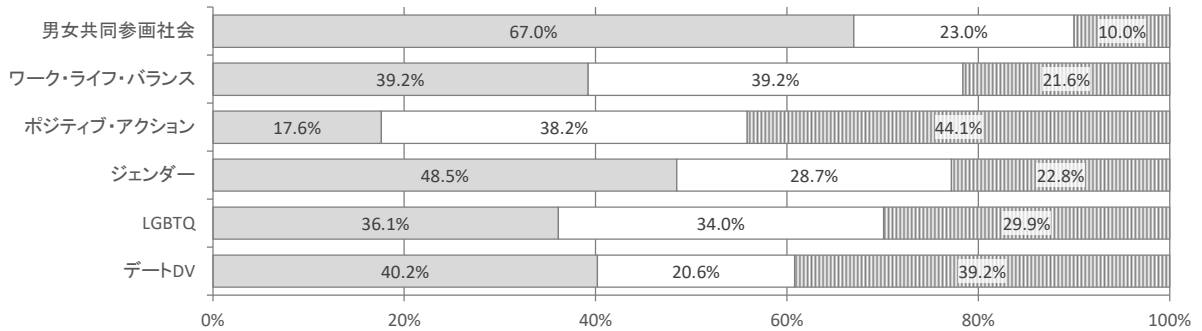
【40代】



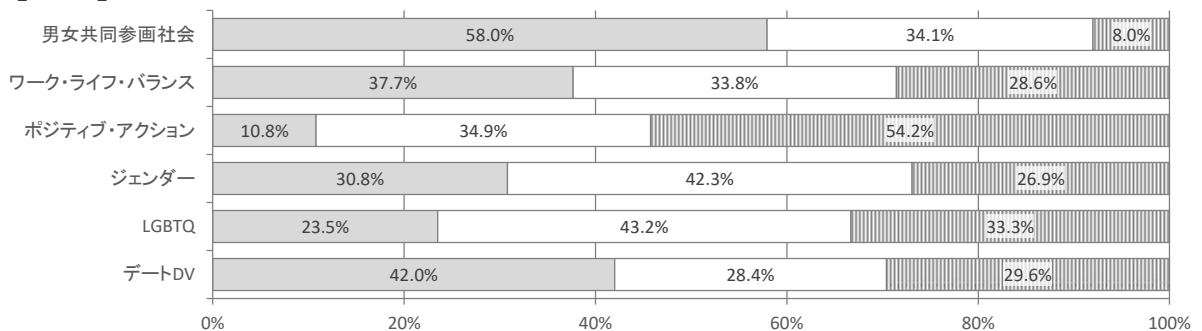
【50代】



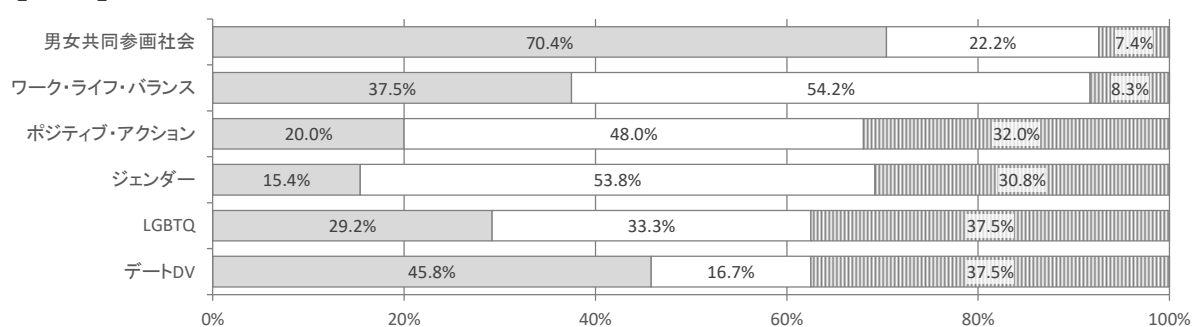
【60代】



【70代】



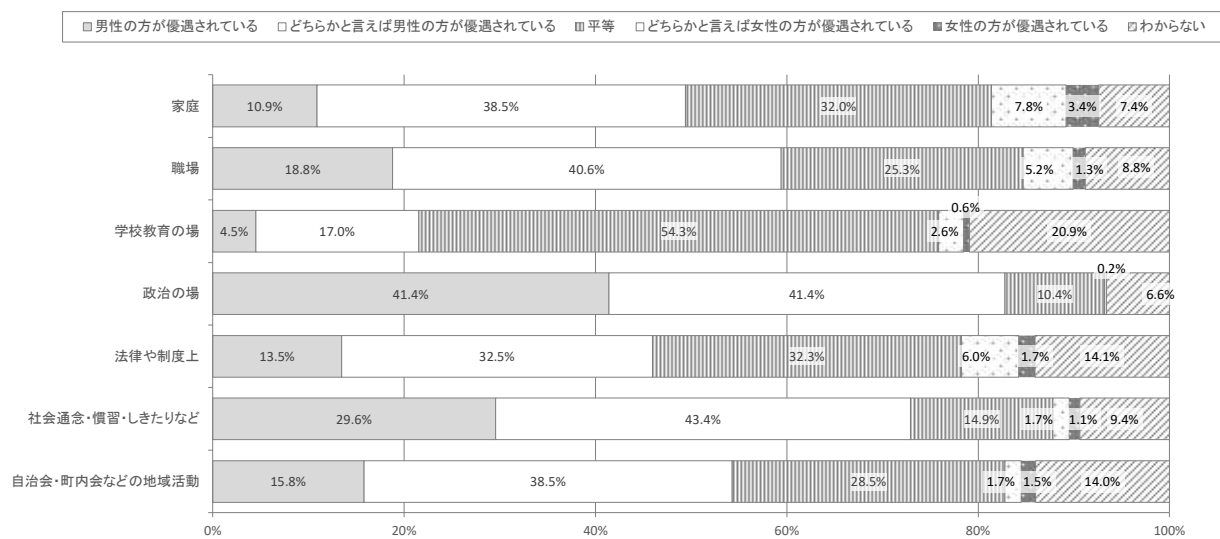
【80代】



【問2】あなたは、次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
--

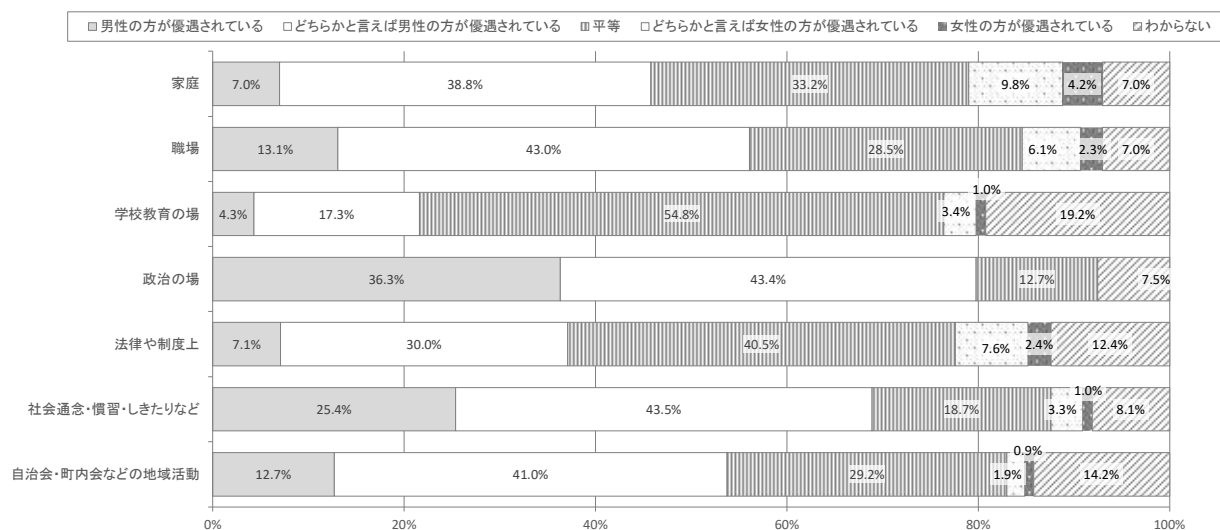
- 全体では、「男性の方が優遇されている」（以下、「男性」）「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」（以下、「どちらかと言えば男性」）を合わせた割合が、「女性の方が優遇されている」（以下、「女性」）「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」（以下、「どちらかと言えば女性」）を全ての分野で上回っており、「男性」「どちらかと言えば男性」を合わせた割合が最も高いのは『政治の場』で82.8%となっている。
- 「女性」と「どちらかと言えば女性」を合わせた割合は全ての分野で低い傾向にあり、最も高い『家庭』でも11.2%となっている。
- 「平等」が最も高いのは『学校教育の場』で、54.3%となっており、唯一5割を超えている。次いで、『法律や制度上』が32.3%となっている。
- 性別で見ると、割合の差はあるものの、男性、女性ともに「男性」「どちらかと言えば男性」を合わせた割合は『政治の場』、「平等」は『学校教育の場』、「女性」「どちらかと言えば女性」を合わせた割合は『家庭』で、それぞれ最も高くなっており、全体、男性、女性と同様の傾向を示している。「男性」「どちらかと言えば男性」を合わせた割合は全ての分野で女性が高くなっている。特に『法律や制度上』では男性で37.1%、女性で54.8%と17.7ポイントの差が生じており、その分、「平等」の割合にも差が生じている。一方で、『学校教育の場』では男女の差が最も小さく、ほぼ同じ割合となっている。
- 年代別で見ると、70代以下では「男性」「どちらかと言えば男性」を合わせた割合が最も高いのは『政治の場』で、全年代で最も低い80代でも66.7%となっており、全年代において非常に高くなっている。80代では『職場』が最も高く、70.3%となっている。
- 全年代で「平等」が最も高いのは『学校教育の場』となっており、割合が最も高くなっている80代で65.2%、最も低い40代で45.2%となっている。
- 「女性」「どちらかと言えば女性」を合わせた割合は、10代と20代を合わせた年代、30代で『法律や制度上』、40代から70代で『家庭』、80代で『社会通念・慣習・しきたりなど』が最も高くなっている。割合が最も高くなっているのは、10代と20代を合わせた年代の『法律や制度上』で20.9%となっている。一方で、50代と60代では1割を超えている分野はなく、特に低い傾向にあり、50代と60代で最も高い『家庭』でもそれぞれ6.8%、5.0%にとどまっている。

■全体

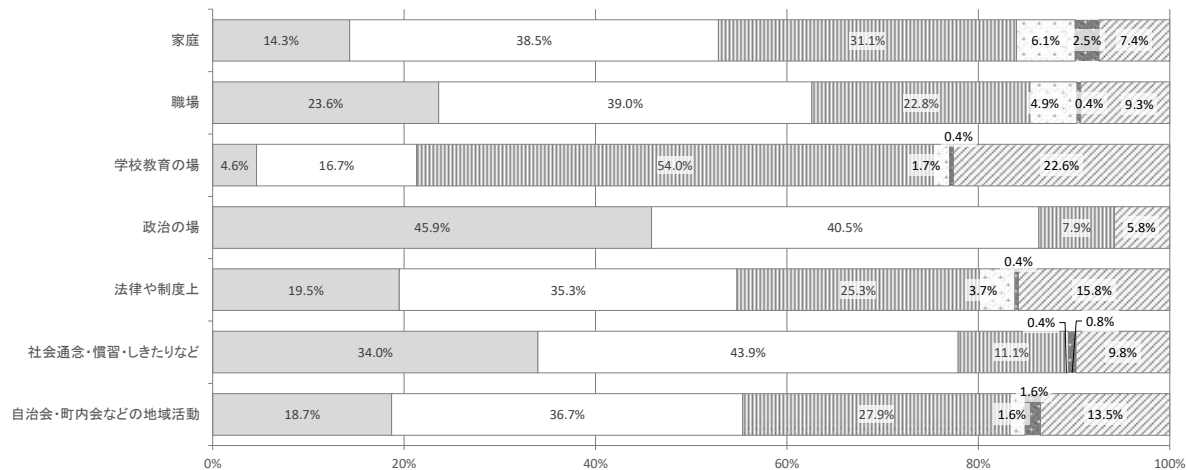


■性別

【男性】

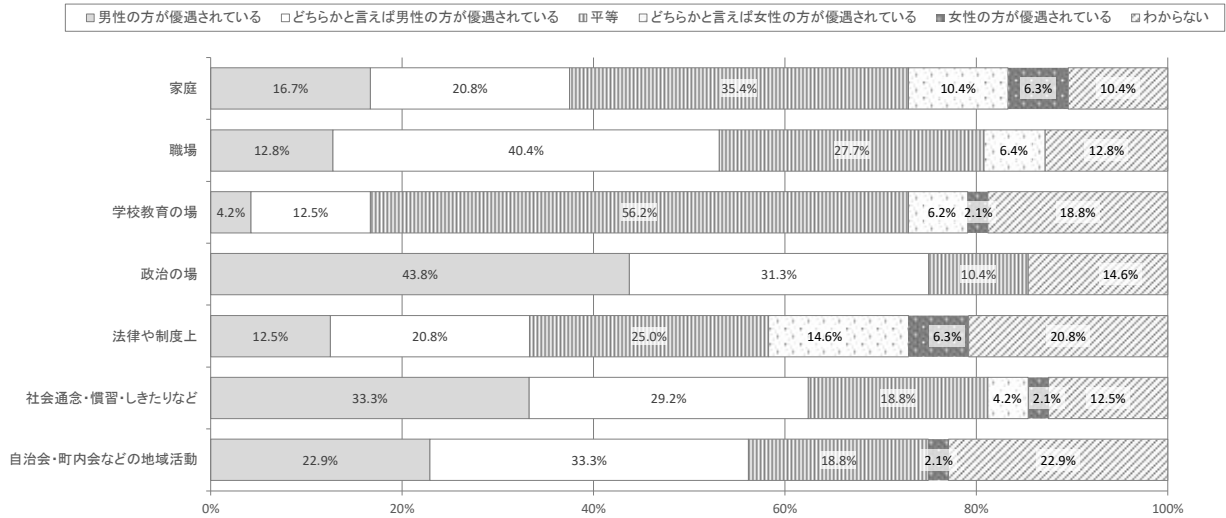


【女性】

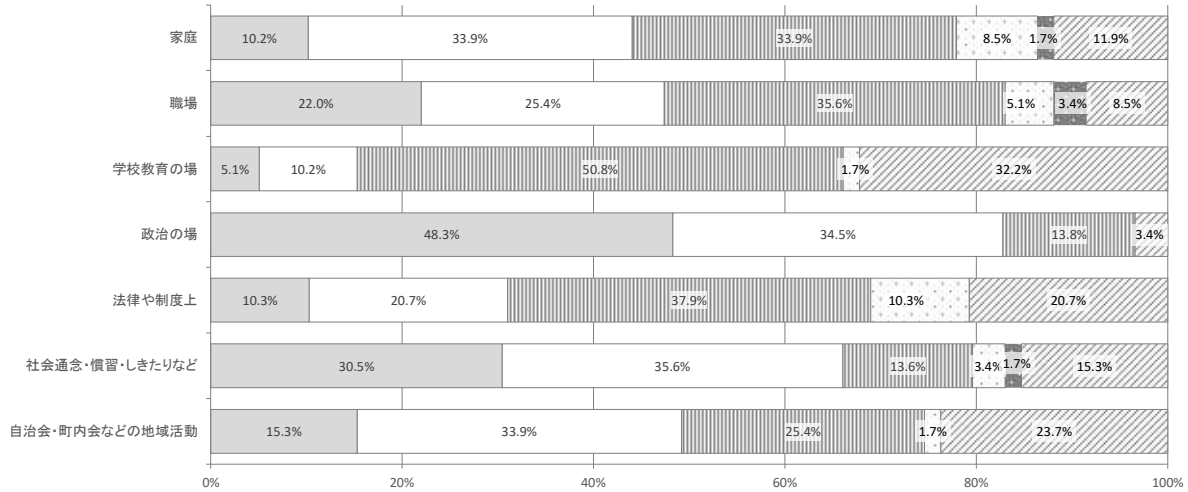


■年代別

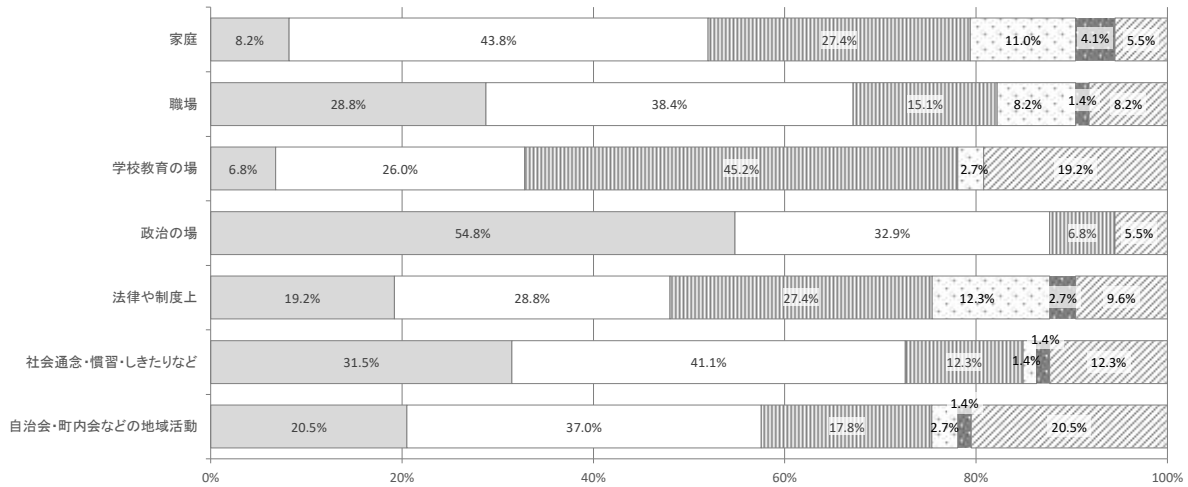
【10代+20代】



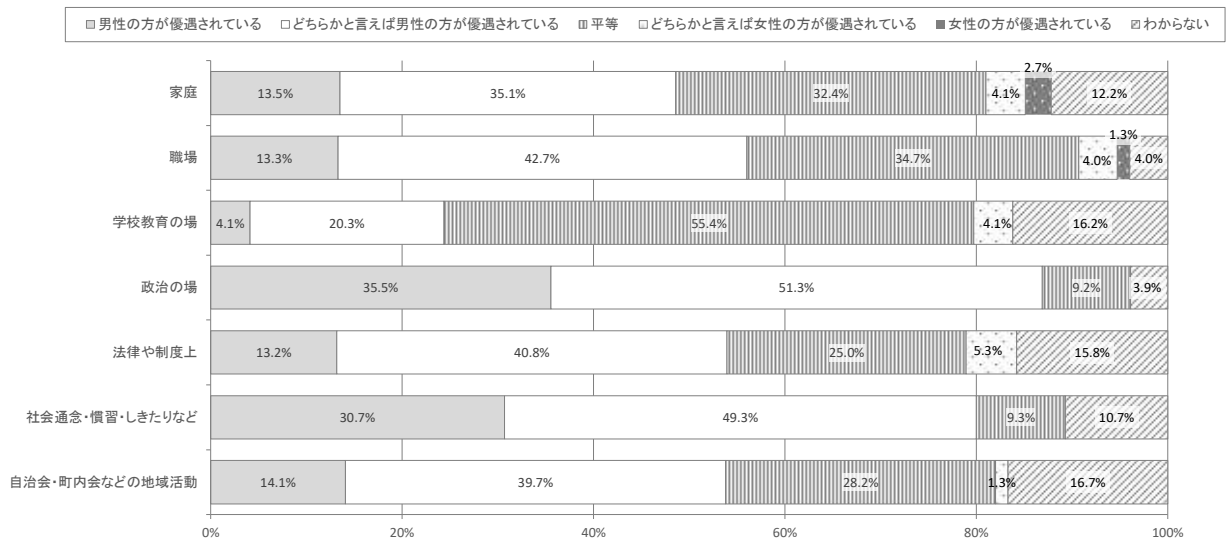
【30代】



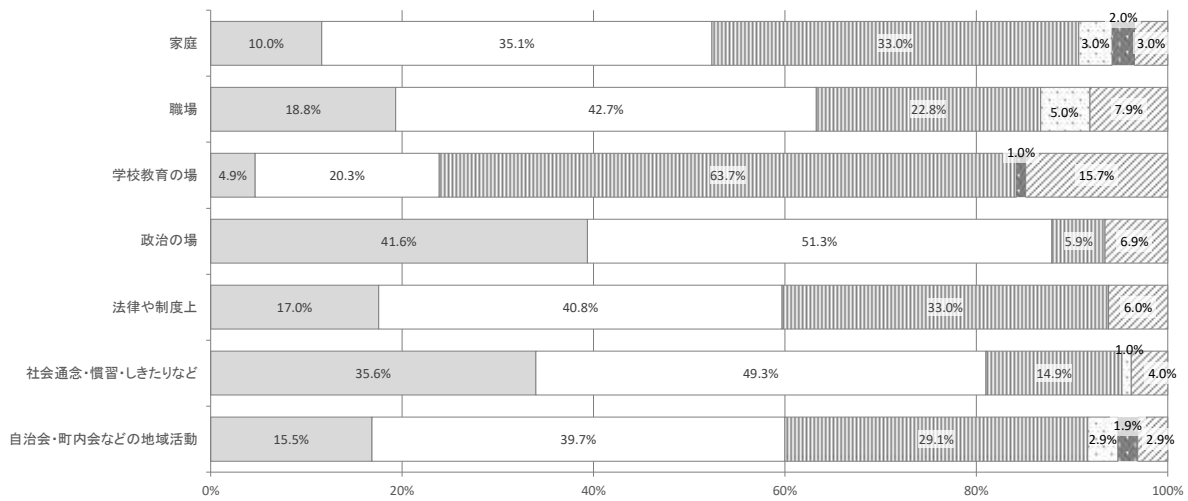
【40代】



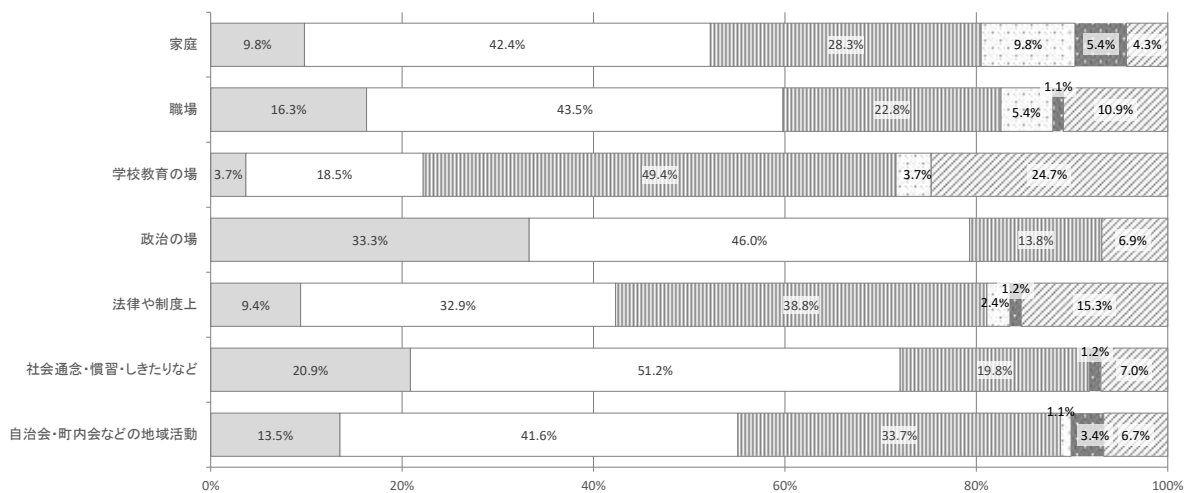
【50代】



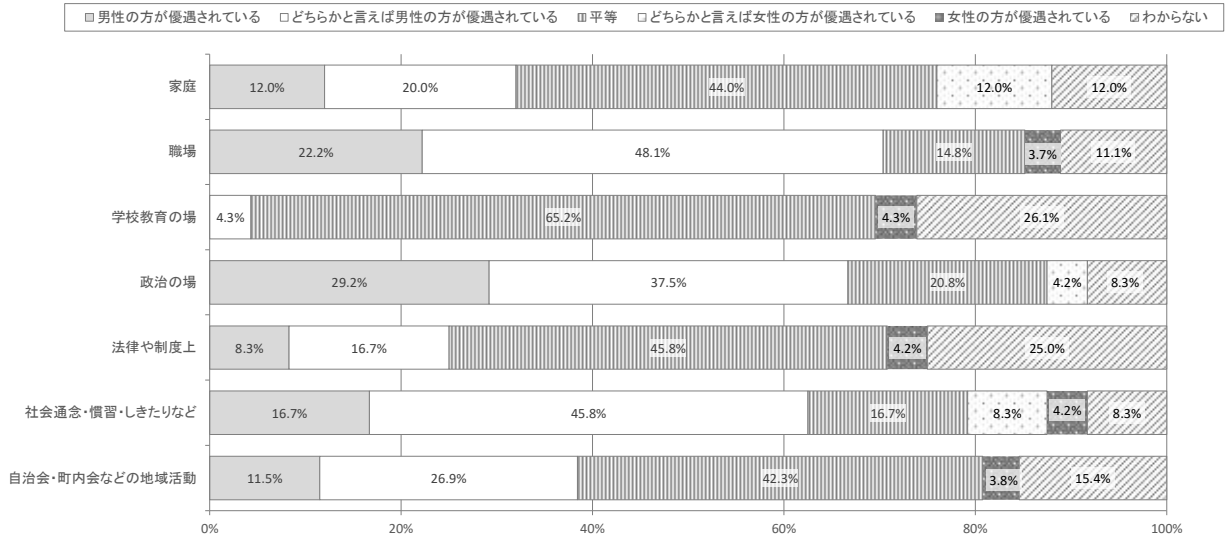
【60代】



【70代】



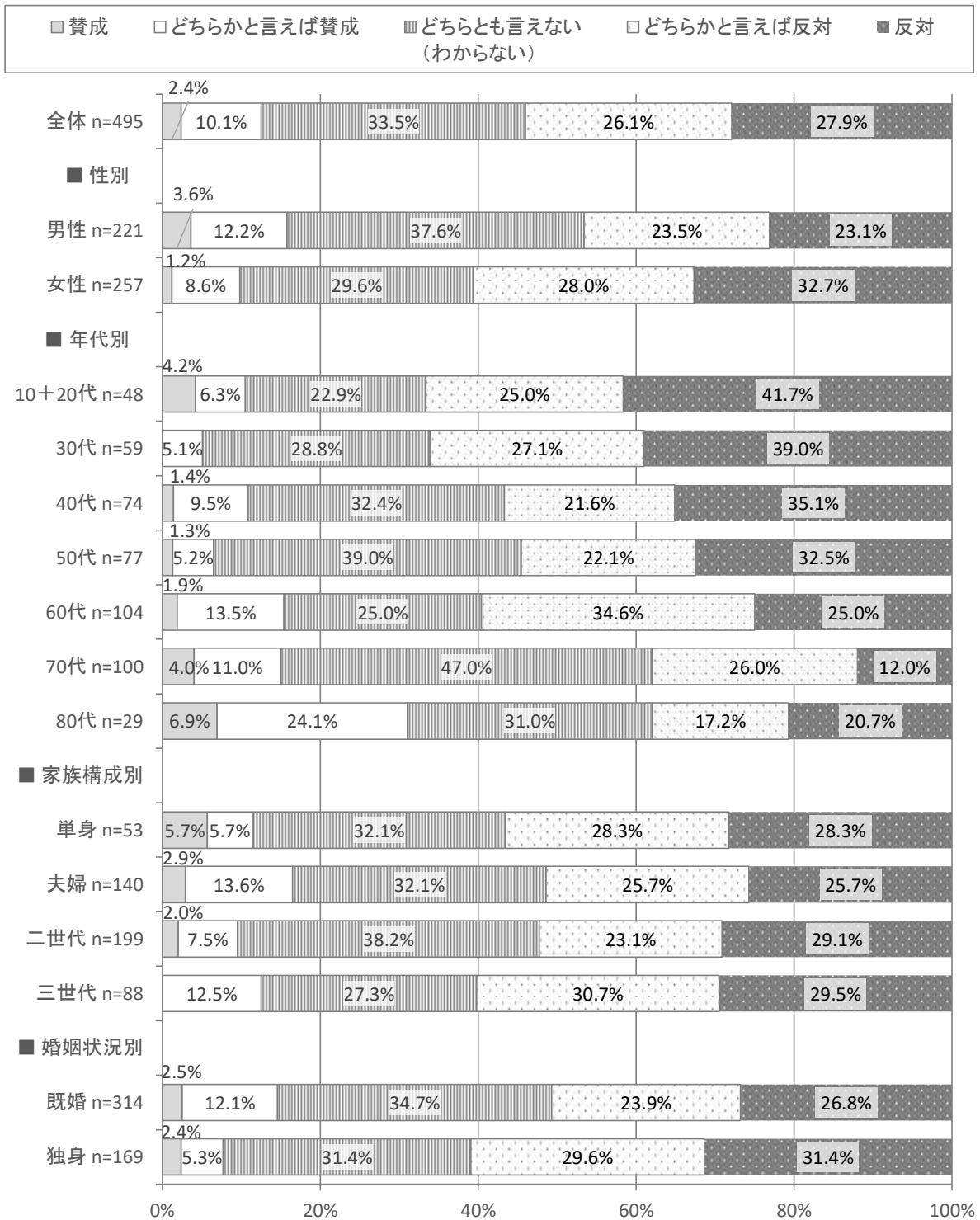
【80代】



【問3】あなたは、次の考え方をどう思いますか。

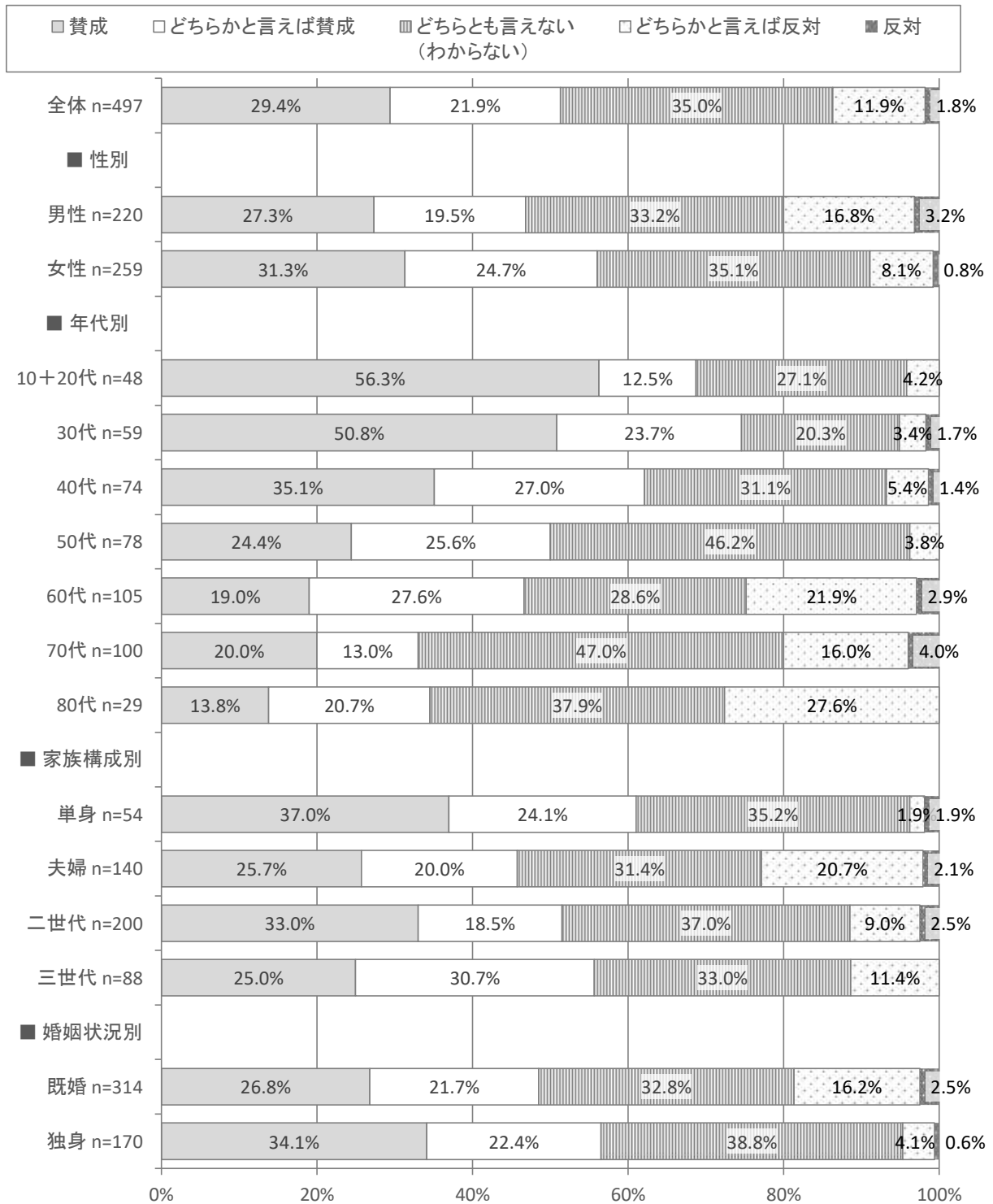
■「男性は仕事、女性は家庭」

- 全体では、「どちらとも言えない（わからない）」が33.5%で最も高いが、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると54.0%で、程度を問わず反対の割合は5割を超えている。一方で、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は12.5%にとどまっている。
- 性別で見ると、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は、男性が46.6%、女性が60.7%で女性が14.1ポイント高く、程度を問わず反対の割合が高くなっている。その分、「賛成」「どちらかと言えば賛成」「どちらとも言えない（わからない）」は男性が高くなっている。
- 年代別で見ると、40代以下では「反対」が最も高く、年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。また、50代、70代、80代では「どちらとも言えない（わからない）」、60代では「どちらかといえば反対」が最も高くなっているが、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると、60代以下では5割を超えている。一方で、70代では38.0%、80代では37.9%となっており、大きな差が生じている。
 全年代で「賛成」は低い傾向にあり、最も高い80代でも6.9%だが、「どちらかと言えば賛成」を合わせると31.0%となり、「どちらとも言えない（わからない）」と同割合となっている。
- 家族構成別で見ると、大きな差異は無いが、単身世帯と三世帯世帯で「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合がやや高くなっている。また、三世帯世帯のみ「どちらとも言えない（わからない）」が30%を下回っており、27.3%となっている。
- 婚姻状況別で見ると、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は既婚で14.6%、独身で7.7%となっており、既婚が6.9ポイント高く、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は、既婚が50.7%、独身が61.0%で独身が10.3ポイント高くなっている。



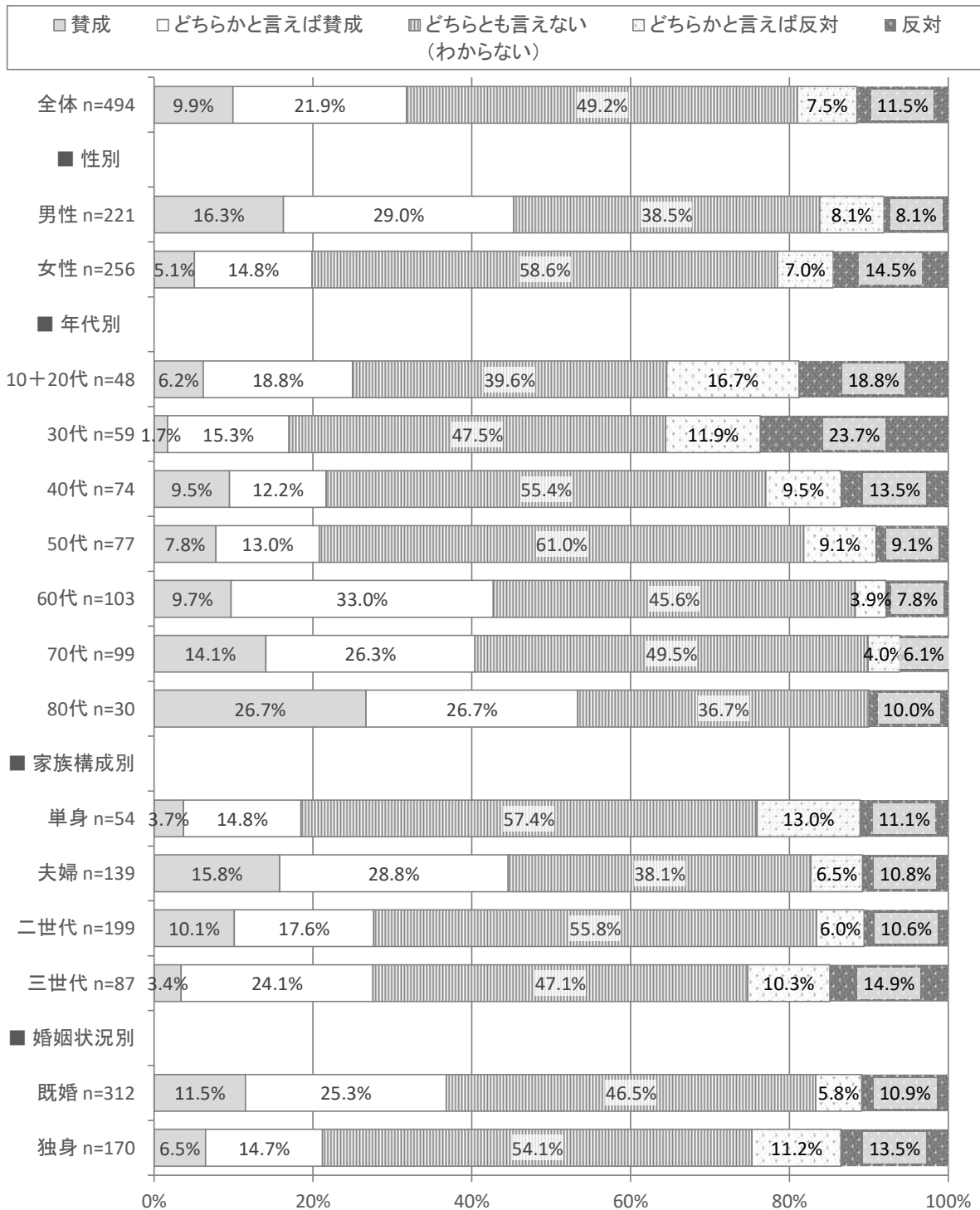
■結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい

- 全体では、「どちらとも言えない（わからない）」が35.0%で最も高いが、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせると51.3%となっており、程度を問わず賛成の割合が高くなっている。一方で、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は13.7%にとどまっている。
- 性別で見ると、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は男性が46.8%、女性が56.0%で女性が9.2ポイント高く、程度を問わず賛成の割合が高くなっている。一方で、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は男性が20.0%、女性が8.9%で男性が11.1ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、40代以下では「賛成」が最も高く、年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。50代以上では「どちらとも言えない（わからない）」が最も高くなっているが、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせると、50代と60代では「どちらとも言えない（わからない）」よりも高くなる。また、60代以上では「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合が2割以上となっており、60代以上と50代以下で差が生じている。
- 家族構成別で見ると、単身世帯では「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が61.1%で最も高く、夫婦世帯では45.7%で最も低くなっている。一方で、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は夫婦世帯が22.8%で最も高く、単身世帯が3.8%で最も低くなっている。
- 婚姻状況別で見ると、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は既婚が48.5%、独身が56.5%で独身が8.0ポイント高くなっており、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は既婚が18.7%、独身が4.7%で既婚が14.0ポイント高くなっている。



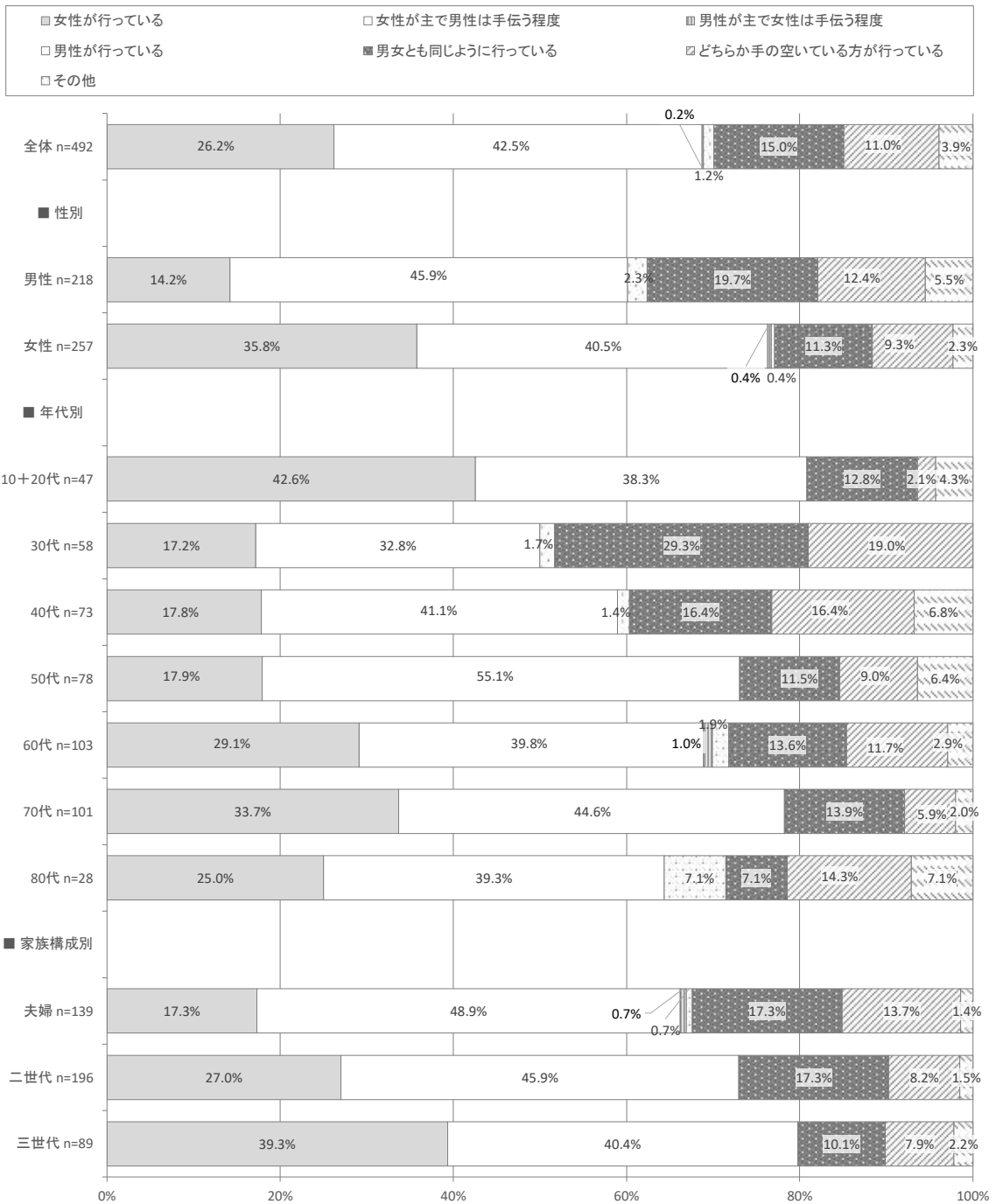
■結婚をしたら子どもを持つべきである

- 全体では、「どちらとも言えない（わからない）」の割合が 49.2%で最も高く、また、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が 31.8%、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合が 19.0%となっている。
- 性別で見ると、男性、女性ともに「どちらとも言えない（わからない）」が最も高いが、男性が 38.5%、女性が 58.6%で女性が 20.1 ポイント高くなっている。また、男性は「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が 45.3%で「どちらとも言えない（わからない）」よりも高くなっており、女性の 19.9%を 25.4 ポイント上回っている。また、女性は「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合が 21.5%で「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合よりもやや高くなっている。
- 年代別で見ると、全年代で「どちらとも言えない（わからない）」が最も高くなっているが、80代では「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせると 53.4%となり、「どちらとも言えない（わからない）」よりも高くなっている。また、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は、50代以下では2割前後、60代以上では4割以上となっており、大きな差が生じている。「反対」は30代が最も高く、23.7%で、「どちらかと言えば反対」を合わせると 35.6%となっている。また、10代と20代を合わせた年代も 35.5%でほぼ同じ割合になっており、年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。
- 家族構成別で見ると、全家族構成で「どちらとも言えない（わからない）」が最も高くなっているが、夫婦世帯では「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせると 44.6%で「どちらとも言えない（わからない）」よりも高くなっている。また、単身世帯と三世帯世帯では「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合が、夫婦世帯や二世帯世帯と比較するとやや高い傾向にある。
- 婚姻状況別で見ると、既婚、独身ともに「どちらとも言えない（わからない）」が最も高くなっている。また、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は既婚が 36.8%、独身が 21.2%、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は既婚で 16.7%、独身で 24.7%となっており、既婚は程度を問わず賛成が、独身は程度を問わず反対が高くなっている。



【問4】あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。

- 全体では、「女性が主で男性は手伝う程度」（以下、「女性が主」）が42.5%で最も高く、次いで、「女性が行っている」が26.2%で、約7割が主に女性が行っていると回答している。一方で、「男性が行っている」は0.2%で最も低く、次いで、「男性が主で女性は手伝う程度」（以下、「男性が主」）が1.2%で2番目に低くなっており、主に男性が行っていると回答した方の割合は非常に低くなっている。また、「男女とも同じように行っている」（以下、「男女同じ」）が15.0%、「どちらか手の空いているほうが行っている」（以下、「手の空いている方」）が11.0%となっている。
- 性別で見ると、男性、女性ともに「女性が主」が最も高くなっているが、「女性が行っている」が男性では14.2%、女性では35.8%となっており、女性が21.6ポイント高くなっている。また、「男女同じ」「手の空いている方」を合わせた割合は男性が32.1%、女性が20.6%で男性が11.5ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、30代以上では「女性が主」が全年代で3割を超えており、最も高くなっている。10代と20代を合わせた年代では「女性が行っている」が42.6%で最も高くなっている。また、30代では「男女同じ」が29.3%、「手の空いている方」が19.0%でどちらも全年代の中で最も高い割合となっており、2つを合わせた割合は48.3%で約5割が性別に関わらず家事等を行っている。
- 家族構成別で見ると、全家族構成で「女性が主」が40%を超えて最も高くなっており、「女性が行っている」が2番目に高くなっている。また、「女性が行っている」は世代が増えるにつれ、高くなる傾向にある。一方で、「男女同じ」「どちらか手の空いている方」を合わせた割合は世代が増えるにつれ、低くなる傾向にある。なお、単身世帯は必然的に世帯主が家事等を行うことになるため比較から除いている。



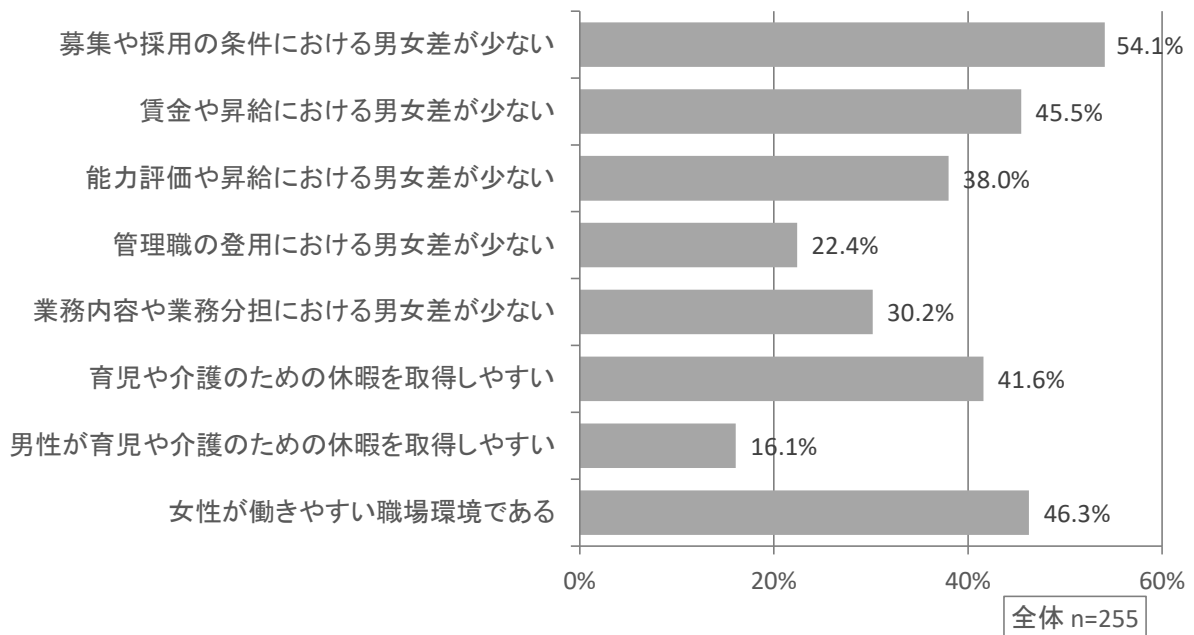
■その他の回答

- 1人暮らしである。(複数名)
- その時々。(50代/男性/大曲/二世帯世帯)
- 男がない。(60代/女性/太田/三世帯世帯)
- 妻の体調が悪く、自分一人で行っている。(80代/男性/大曲/夫婦世帯)
- 部分的に分けて得意・不得意により行っている。(40代/男性/中仙/三世帯世帯)
- 家事は分担し、育児はその時々で手の空いている方、または、子どもに指名された方が行っている。(20代/女性/大曲/二世帯世帯)

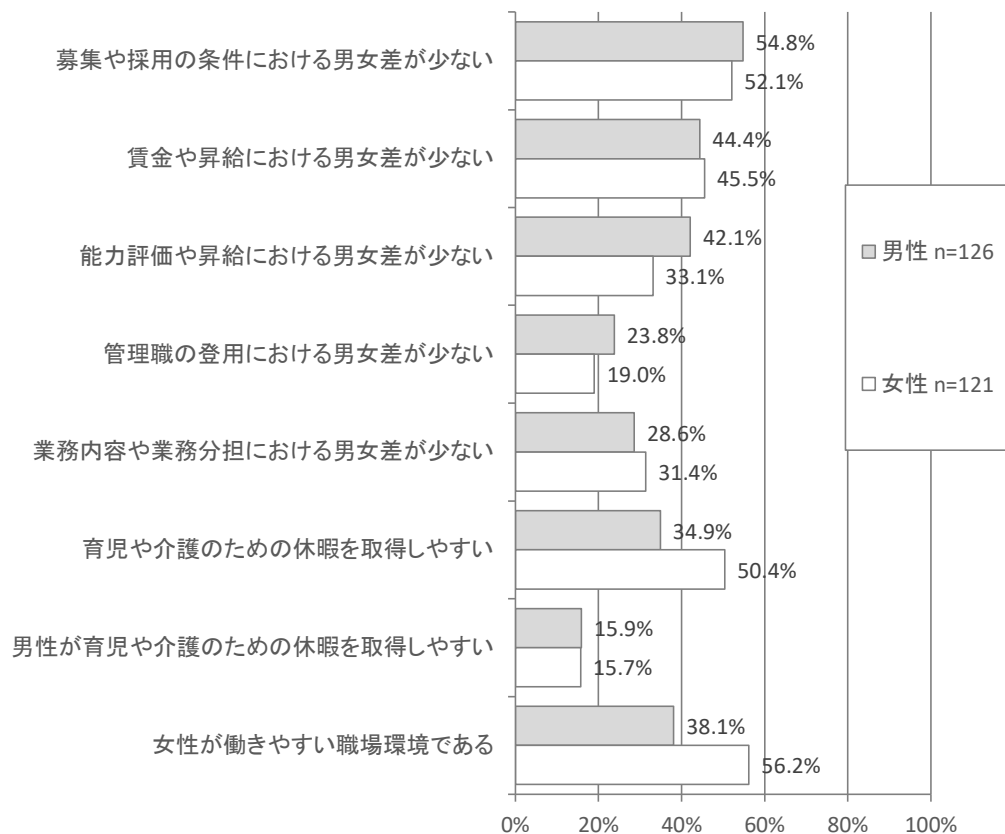
【問5】あなたの職場における男女共同参画や女性活躍に関する状況について教えてください。
(複数回答可)

- 全体では、「募集や採用の条件における男女差が少ない」が54.1%で最も高く、次いで、「女性が働きやすい職場環境である」が46.3%、「賃金や昇給における男女差が少ない」が45.5%となっている。一方、最も低いのは「男性が育児や介護のための休暇を取得しやすい」で16.1%となっており、次いで、「管理職の登用における男女差が少ない」が22.4%、「業務内容や業務分担における男女差が少ない」が30.2%となっている。
- 性別で見ると、男性は「募集や採用の条件における男女差が少ない」が54.8%、女性は「女性が働きやすい職場環境である」が56.2%でそれぞれ最も高くなっている。「女性が働きやすい職場環境である」は男性では38.1%となっており、女性と18.1ポイントの差が生じている。また、「育児や介護のための休暇を取得しやすい」も同様の傾向で、男性の34.9%に対し、女性は15.5ポイント高い50.4%となっている。
- 年代別で見ると、30代と50代以上では「募集や採用の条件における男女差が少ない」が最も高く、10代と20代を合わせた年代と40代では「女性が働きやすい職場環境である」が最も高くなっている。一方、「男性が育児や介護のための休暇を取得しやすい」は全ての年代で最も低くなっている。

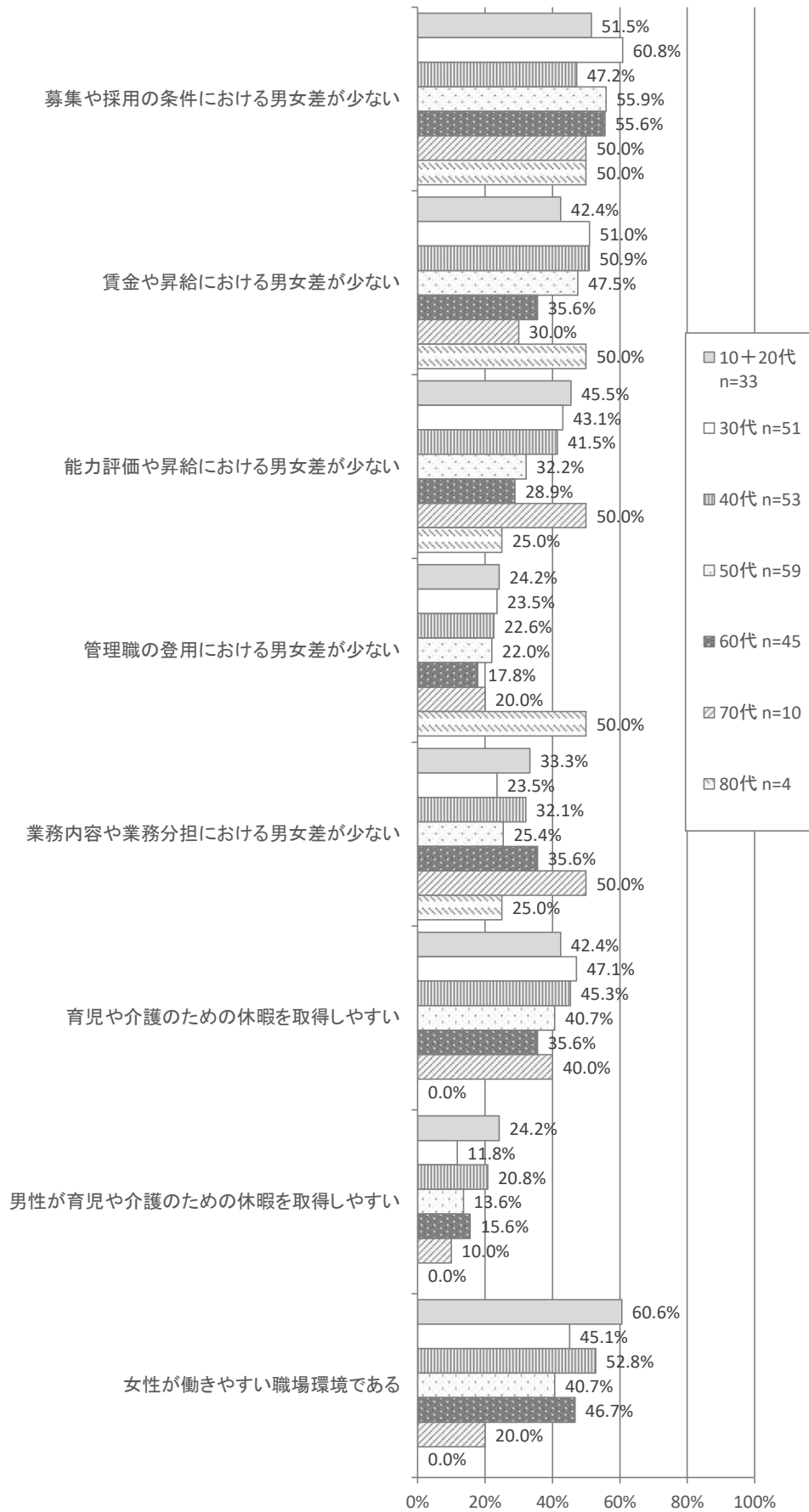
■全体



■性別



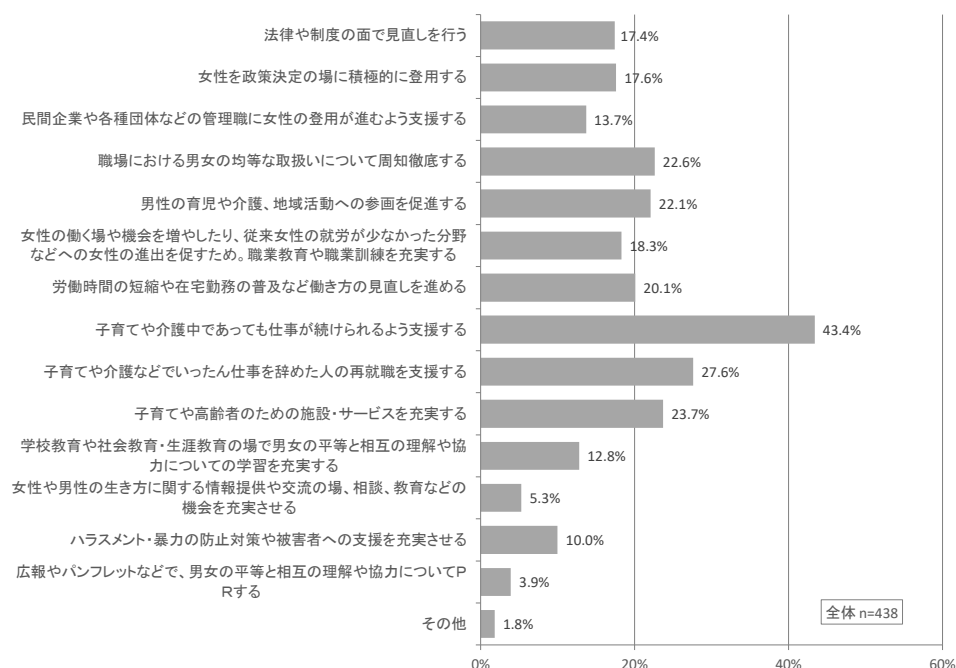
■年代別



【問6】男女共同参画社会を実現するために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 全体では、「子育てや介護中に仕事が続けられるように支援する」が43.4%で最も高く、他の項目より突出して高くなっている。次いで「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が27.6%となっており、「子育てや高齢者のための施設・サービスを充実する」「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底する」「男性の育児や介護、地域活動への参画を促進する」「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方の見直しを進める」が20%を超えている。一方で、最も低いのは「広報やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする」が3.9%、次いで、「女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの機会を充実させる」が5.3%となっており、この2項目が10%未満となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「子育てや介護中であっても仕事が続けられるように支援する」が最も高く、「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が男性で2番目、女性では3番目に高くなっている。また、「男性の育児や介護、地域活動への参画を促進する」「子育てや高齢者のための施設・サービスを充実する」は女性が10ポイント以上高くなっている。
- 年代別で見ると、全年代で「子育てや介護中であっても仕事が続けられるように支援する」が最も高くなっており、80代では「女性を政策決定の場に積極的に登用する」も同割合で最も高くなっている。また、「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が30代以上では2番目、もしくは3番目に高くなっている。その他の項目では、10代と20代を合わせた年代で「法律や制度の面で見直しを行う」、10代と20代を合わせた年代、60代、80代で「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底する」、30代と50代で「男性の育児や介護、地域活動への参画を促進する」、40代と70代で「子育てや高齢者のための施設・サービスを充実する」がそれぞれ上位に入っている。

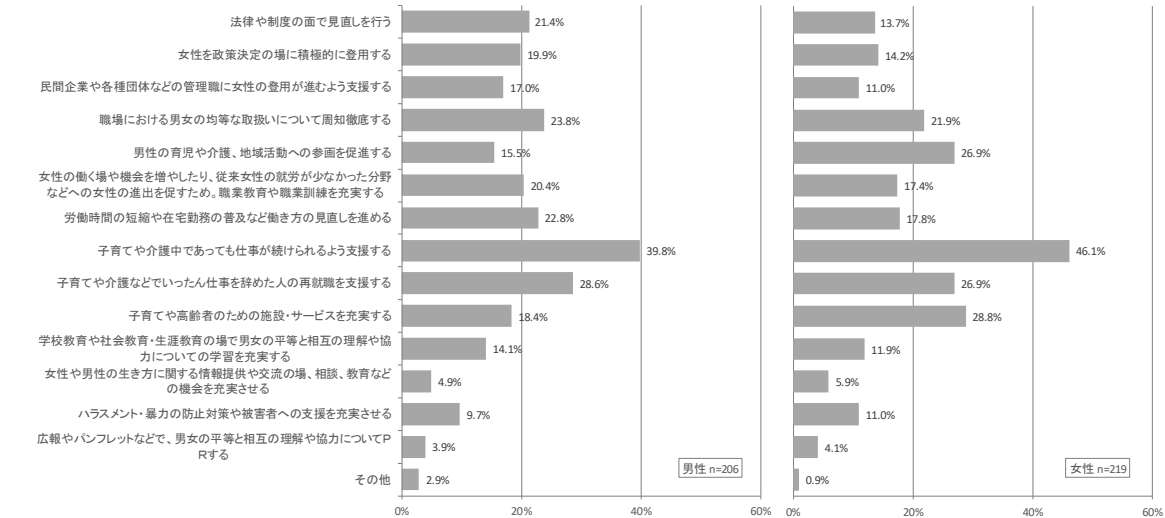
■全体



■性別

【男性】

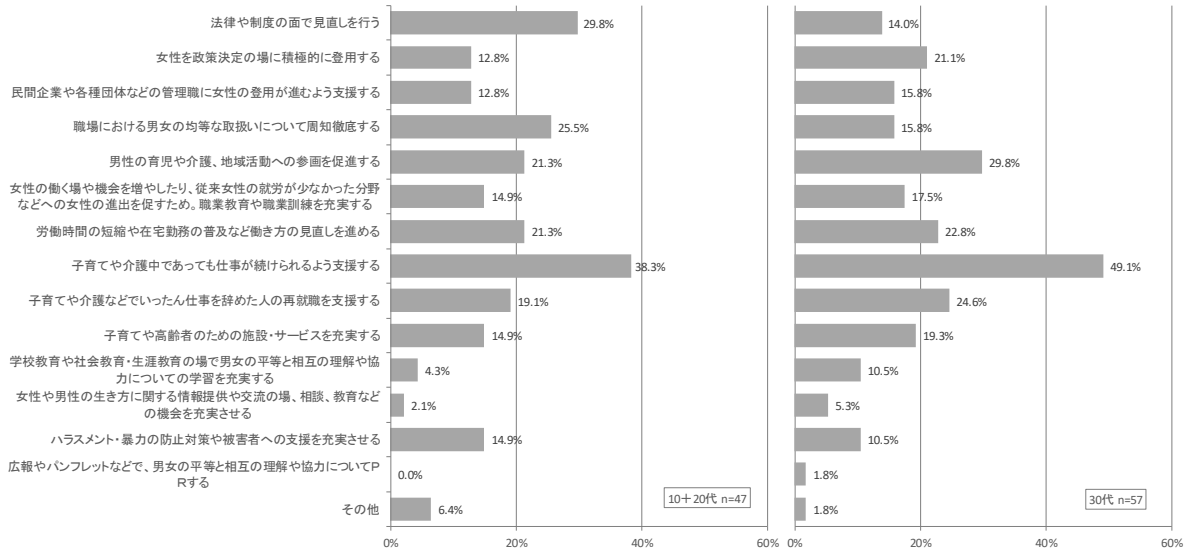
【女性】



■年代別

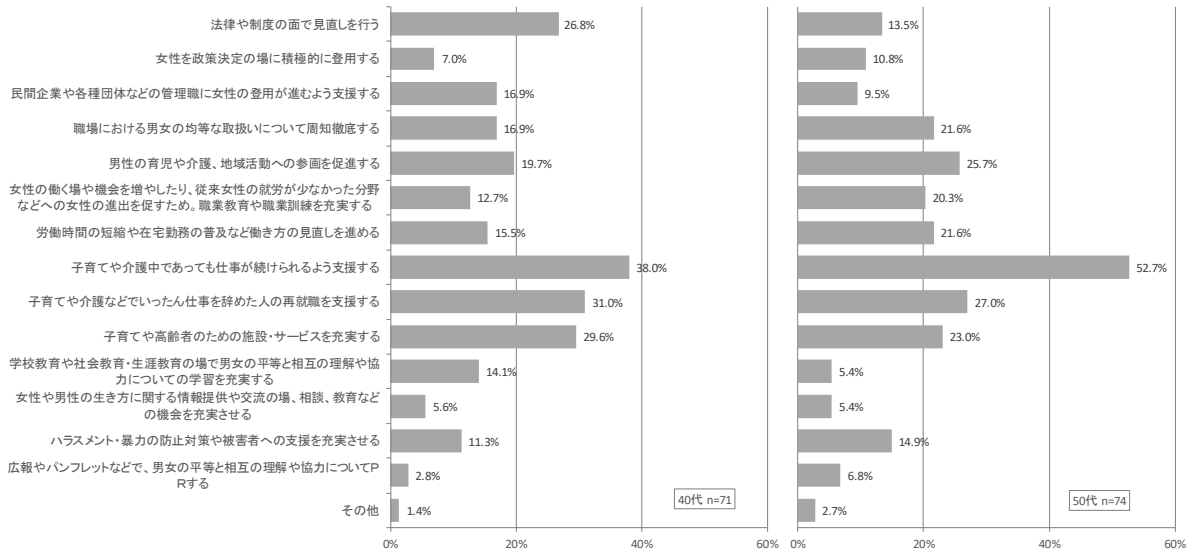
【10代+20代】

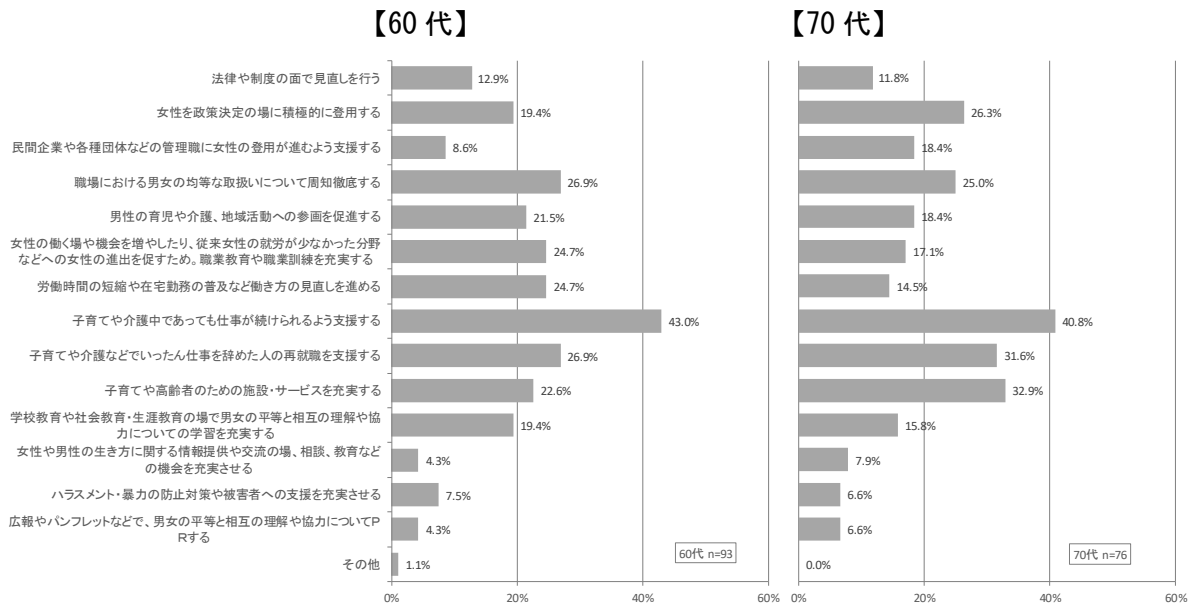
【30代】



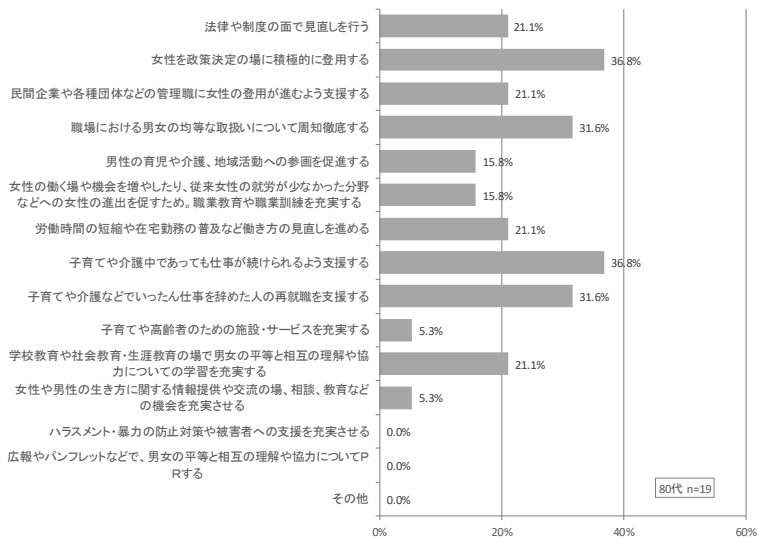
【40代】

【50代】





【80代】



■その他の回答

- 中小企業の経営者の理解が進まないという。 (50代/男性/大曲)
- 生理休暇がほしいです。 (20代/女性/太田)
- とにかく公的職場です。男性の残業や休日出勤等をなくす事が大事であり、それから民間企業へと進めてもらいたい。 (60代/男性/大曲)
- 女性自身が自ら頑張る。 (40代/女性/大曲)
- 平等の基準を作る。 (30代/男性/協和)
- 結局男女関係なく仕事が出来ない人は上の立場になっていくし、出来ない人は何かと理由をつけて仕事が出来ないので何をやっても無駄だと思う。 (20代/男性/神岡)

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問2の各分野における男女の地位の平等については、「平等」と回答した方の割合が最も高いのは『学校教育の場』で54.3%となっているが、『学校教育の場』以外では4割以下となっており、程度を問わず、男性が優遇されていると回答している方の割合が高くなっている。また、男性が優遇されていると回答した方の割合は、男性よりも女性が高くなっており、未だ様々な分野で男性優位の習慣が残っていることが示されている。こうした状況を解消するため、男性側の意識改革や、女性目線での制度改正などが必要である。
- 問3の「男性は仕事、女性は家庭」という考え方については、「反対」や「どちらかと言えば反対」と回答した方の割合が高かったが、少ないながらも「賛成」や「どちらかと言えば賛成」と回答した方もいた。また、約3割の方が「どちらとも言えない（わからない）」と回答していた。問4の家庭での家事等の分担状況については、全体で「女性が行っている」と「女性が主」を合わせた割合が約7割となっており、依然として女性が家庭における家事等の担い手となることが示唆されている。問2の結果同様、男女で認識の違いが見られ、「女性が行っている」「女性が主」を合わせた割合は女性が高く、「男女とも同じように行っている」「どちらかの手の空いている方が行っている」を合わせた割合は男性が高くなっている。その一方で、30代と40代では「男女とも同じように行っている」「どちらかの手の空いている方が行っている」を合わせた割合が3割を超え、特に30代では48.3%と約半数が性別に関わらず家事等を行っていると回答しており、男女共同参画の意識が着実に浸透してきていることが伺える。こうした意識をさらに浸透させていくため、それぞれの家庭の状況にもよるが、家庭や職場におけるジェンダーの平等意識の定着や、男性が家事等へ取り組みやすい環境づくりの一層の促進が必要である。
- 問5の職場における男女共同参画や女性活躍に関する状況については、「管理職の登用における男女差が少ない」や「男性が育児や介護のための休暇を取得しやすい」の割合が低くなっていることから、女性管理職登用のさらなる機運の醸成や、管理職に就くことに対する女性自身の意識改革、そして、管理職となった女性が働きやすい職場環境の形成を進めるとともに、男性が育児や介護に参加することへの理解を促進し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を後押ししていく必要がある。
- 問6の男女共同参画社会を実現するために力を入れていくべきことについては、「子育てや介護中に仕事が続けられるように支援する」が43.4%で最も高く、次いで、「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」「子育てや高齢者のための施設・サービスを充実する」「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底する」「男性の育児や介護、地域活動への参画を促進する」「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方の見直しを進める」の順に高く、それぞれ20%を超えている。これらの項目は全て子育てや介護、仕事に関連していることから、仕事をしながらでも子育てや介護がしやすい、いわゆるワーク・ライフ・バランス社会の形成と、そのための体制づくりが必要である。

4 自由意見

4 自由意見

令和4年度「市民による市政評価」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 農林水産業について

- 若い農業者、やる気のある農業者に大仙市特製のユニホームを作って(花火マークのつなぎ服)PRしてほしい。(60代/男性/太田)

(2) 商工業について

- とにかく働く場所がなければ話にならないので、企業誘致に力を入れてほしい。(50代/男性/太田)
- 大企業を誘致してもらいたい。(40代/男性/大曲)
- 私は子どもがいるのですが、将来大きくなったときに就職するにあたり魅力的に思うであろう企業が少なく感じています。今話題のシステム会社などデジタル化に強い企業も誘致して頂けると、若い人たちにも魅力のある市にもっともっと近づけると思います。末筆になりますが、市の職員の皆さまは毎日私たち市民のためにご尽力頂いており、皆様の苦勞あってこそ大仙市で豊かに生活できていると思っております。本当にありがとうございます。(30代/女性/太田)

(3) 花火産業構想について

- わらび座共同の花火はやめてもらいたい。(40代/男性/大曲)
- 花火関係で税金使いすぎにみえる。(40代/女性/大曲)
- 大仙市、特に大曲。なぜ、こんなにも花火に力を入れるようになってしまったのか。誰のための花火で、一番見せたいのは誰なのか。花火ばかり打ち上げて、施設を作っても市民は喜ばない。もっと現実を見てほしい。(40代/女性/大曲)
- 花火は夏の花火の回数を増やしてはどうかと思いました。7月～9月まで毎週土曜日、きついのであれば2週間に1度行っても良いのではと思いました。(40代/女性/太田)
- 花火に力を入れないでほしい。うるさくて迷惑です。(60代/性別無回答/大曲)

- 花火に力をいれているがそれが一部の恩恵にしかになっていない。(30代／男性／中仙)
- 花火やりすぎ。うるさい。もはや騒音レベル。(40代／男性／中仙)
- 花火のイベントが増えてきて、観光客も増えてきていると思う。継続して続けてもらいたい。(20代／男性／大曲)
- 花火大会関連施設として河川敷へ宿泊施設等を建設する予定があるようだが地域住民への積極的な説明などが行われていないと思われる。商工会議所と市の独断で決まっているように見えるがどう考えているのか説明願いたい。(30代／男性／大曲)
- 花火大会をやるのであれば住民に迷惑がかからないように環境の整備に努めてほしい(ゴミの持ち帰りを徹底させる、あるいは有料のゴミ捨て場をつくる)。花火大会をやるのであれば普段から公園として活用できるように河川敷を整備しても良いと思う。(20代／女性／大曲)

(4) 観光について

- 利用しなくなった田んぼの土地を色々な花(ひまわり・芝桜・コスモス)などに変え、ひまわりのお土産品などの開発をし、観光客にお金を落とさせていただく。
秋田の温泉めぐりを取り入れる。また、季節によっての花・自然・花火・温泉巡りなども。(40代／女性／太田)
- 市職員の上から目線の対応はやめていただきたい。温泉を大曲地域につくってほしいし、無料送迎もしてほしい。(50代／女性／大曲)
- 花火の時期以外にも、他の地域の人が観光できるような環境作りをしてほしい。単発で建物を建てるのではなく、その場で長時間過ごせるように、もっと広域で協力し合えばいいと思う。(例えば、道の駅と温泉、地元企業を取り入れた飲食店、自然を楽しめる遊歩道が隣接した施設などを1箇所にとめる。もしくは場所が離れてても、アナウンスを積極的にする。)(30代／女性／大曲)
- 秋田市にアニメの制作会社があるのでPRの意味も込めて大仙市を舞台にしたアニメを作ってみたらどうか。(20代／男性／大曲)

(5) 雇用・就労について

- 仕事がないと地元にいれないので人口減少が心配。(70代／女性／協和)

- コロナワクチン接種時の市の職員の方々のご尽力に感謝しています。夜間や土日もあり御難儀されたのではと思いました。県人口がそのまま減り続けることに不安を感じています。自分の子どもたちをはじめ若い方々にたくさん大仙市に住んでもらい、今の人口を維持していってほしいと思います。それには働く場所が必要ですよね。閉塞感を感じることなく心も身体も豊かに生活するにはどうしたらいいのか考えてしまいます。(50代/女性/大曲)
- 非正規雇用者が正規雇用者への登用もしくは平等な待遇を受けられるような政策があればと思います。また、市で運営されている施設に勤務する方への教育をしっかりと行っていただければと思います。(30代/女性/中仙)

出会い・結婚・子育て分野

(1) 出会い・結婚について

- 若者が結婚しなくなり、子供も少ない。何か良い解決策がないでしょうか。(70代/男性/中仙)
- 結婚相手を見つけられるように若い人が住んで楽しめるような大仙市になってほしいです。孫(男二人)の相手を見つけないのですが、若い女性がいなくて困っています。嫁不足が切実です。(80代/女性/協和)
- コロナ禍で出会いの場が減少してきている。街コンなどを開いて男女が出会える機会を増やしてほしい。市役所の方に結婚相談しているところがあると聞いたことがあるがどこでどんなことをやっているのかわからない。情報を提供してほしい。(20代/男性/大曲)

(2) 子育てについて

- ひとり親世帯への支援がいつも大きすぎると感じるので、中小企業や子育て世帯への支援もしてほしい。また、遊ぶ施設がない為、大きい公園や商業施設でもいいので作ってほしい(子供達のために)。花火で他県からお金を集めるのはいいと思うが、市内の一般市民に何も還元していないのでは。(30代/女性/仙北)
- 子供を育てやすい大仙市にしてほしい。自分は仙北市から移ってきたのであまり大仙市のことはくわしくはないけど、大曲の方だけ良くなっているイメージで、ほかの地域はあとまわしになっている気がします。子供に対する手当など、充実してほしいです。(20代/男性/太田)
- 若い人たちへの仕事(子育て世帯の年収を多く)、子育て世帯の学校行事などへより参加しやすい環境。(60代/女性/神岡)

- 0歳児の待機児童がゼロになるように保育士の人材確保や給料アップ、労働環境の改善に努めてほしい。保育園周辺の交通環境を整えて安全に通園できるようにしてほしい。おむつやミルクなど育児に必要なものを定期的に自宅に届けるサービスを所得関係なくやってほしい(出生届を提出したときのみでも可)。保育料無償を0歳からにしてほしい。循環バスを小中校生の登下校でも利用できるようにしてほしい(スクールバスの充実化)。安全に登下校できるよう歩道の整備をしてほしい。(20代/女性/大曲)

健康福祉、スポーツ分野

(1) 保健・医療について

- 高校までは歯科検診がありましたが就職してから仕事休みの日は1日中ベッドでゴロゴロして携帯でなんかやっています。コロナで外にあまり出かけられないという事もあるでしょうが虫歯にならないか心配です。(60代/女性/中仙)
- 歯科検診を無料で実施してほしい。(他のところに住んでいたときやっていた)(30代/女性/大曲)
- 病院がやっていない時間帯に救急外来へ行くべきかどうか、症状によって何科に行けば良いのか、相談できる(電話やSNSで教えてもらえる)場所を増やして欲しいです。(30代/女性/太田)

(2) 社会福祉について

- 今は息子と同居ですが、一人暮らしの高齢者は地域の民生委員の方を大きな支えにしていることと思います。そういった方達の見守りや意見などはどうなのだろう。先々の事を考えると少し不安あります。(60代/女性/仙北)
- ふれあい入浴サービス券は12枚ですが希望として24枚に増やしてもらいたい。(70代/女性/中仙)

環境・安全分野

(1) 自然・環境衛生について

- 粗大ゴミの出し方が老人にとっては面倒すぎる。手順が多すぎると思う。もう少し年寄りにわかりやすい簡単な方法はないでしょうか。発泡スチロールの処理方法も忙しい人には仕事を休んで運ばなくてはいけないのでどうにかしてほしい。(60代/女性/太田)

- 私はお花を見れる所をもっと作って欲しいです。大仙市役所の桜をみるのが楽しみです。(30代／女性／大曲)
- 新緑の季節になりましたが、除草剤をまく方が大変多くいます。頭が痛い、吐き気、めまい、動悸など、不調を訴える人達があります。まいた時なにか目印がほしいと思います。小さい赤い旗とか棒にさして2～3日そのままにしておくとか。宜しくをお願いします。(60代／女性／中仙)
- 「他都市のような」ではなく、この土地にある自然、歴史などを尊重し、融合、共生して「この土地だからこそ(ならでは)」のまちになり、独自のアイデンティティを確立して行ってほしいと思います。人口減少の問題に関しては、減少に伴うデメリットへの対策のほうが必要かと思います。個人的には、自然環境の管理と共生や、そういった仕事を増やしたり、自然の豊かさを活かしたまちづくりを切望します。あと、本当に個人的ですが人とのつながりを持ちやすくなればよいなと思います。つつどん大好きです。(10代／性別無回答／大曲)
- 自然エネルギー政策。光熱費・電気自動車の電気0円生活。魅力的なまちづくり(例:太田地域小さな水路の流れを利用水力発電。雪国なので屋根ではなく壁に太陽光パネル・蓄電・電気自動車の充電システムなどを順番に行っていただいて、その産業が地域に出来ればよいと思います。(40代／女性／太田)
- 丸子川沿い、ゴミが沢山できたくない。花火のまちなのに…と思う。丸子川クリーンアップとかあれば参加したい。(30代／女性／大曲)
- 使用済みの電池の処分をしに、庁舎に出向いたが、ゴミ箱の場所がわからず、わざわざ受付の方に尋ねるのもためらってしまい、結局捨てずに帰ることが何度もある。他の回収ゴミに関してもだが、入口近くなどのわかりやすい場所に移すか、入口に場所を示したポスターを掲示してもらえると助かる。(30代／女性／大曲)

(2) 安全・安心体制について

- 人生や生活の悩みを抱えている人の声が届きにくいと感じる。相談方法や場所、支援している所の案内などの充実、分かりやすい提示が必要。軽トラックの運転が荒い。危険と感じることが多い。注意喚起の拡大や事故予防の教育の強化が必要と感じる。(30代／女性／大曲)
- お仕事お疲れさまです。おかげ様で安心安全にしております。ありがとうございます。(60代／女性／西仙北)
- 今回このような機会を与您いただき感謝します。平等で平和な大仙市であるよう心から願います。(40代／女性／大曲)

- 市内の時差式信号機が分かりにくくて、不便である。対向車が赤信号になっていて、右折可能の交差点には、矢印信号機をつけて欲しい。(県道 36 号線から大曲郵便局への右折の若竹町交差点。県道 36 号線から角館方面へ右折の若竹町交差点。大曲農業高校沿い道路から大曲駅方面へ右折の金谷町交差点。) 県道 36 号線から向かって、厚生医療センター前の三叉交差点信号機が分かりにくい。全方向に進行可能なタイミングのときも、赤信号が点灯したまま矢印信号機が全灯しているのは、不思議でならない。その場合は、青信号で良いと思う。(30 代/女性/大曲)

(3) 雪対策について

- 除雪の時の水が不足することが不満。(50 代/男性/中仙)
- 引越してきたものですがとても住みやすく満足しています。雪国は初めてですが除雪もすばらしいと思います。(30 代/女性/大曲)
- 大曲地域の大花町に住んでいるのですが、今年の1月に私の家の井戸が枯れてしまいました。地下水が無くなってきている様子です。市では多額の補助金を出して消雪道路を進めている様に見えますが、そろそろ地盤沈下が起きる前に地下水の利用を少なくしてもらいたい。(水を出しっぱなしにしているのは、大曲だけだと思います。)(60 代/男性/大曲)
- 除雪車が雪を運ぶ場所を確保してほしい。車が交差できない道がある。道路の両側に流雪溝がある場所はきれいに除雪されているが、片側にしかない場所はすてることができず、車で運ぶ人もいる。早急に除雪できない場所の整備をお願いしたい。(50 代/女性/大曲)
- 冬の降雪時、除雪時間の均等を図るため、最初と最後の時間の解消として右回りの次は左回り等、いつも同じ回り方はやめてほしい。最初(除雪)と最後(除雪)の時間が違いすぎている。同じ市民のサービスとして平等が望ましいが1回に出来ないなので、日割するなど工夫がほしい。(60 代/男性/神岡)
- ご苦労様です。積雪地帯ですので、除雪態勢の充実もお願いしたいのですが、雪を活かした事業があるといいと思います。(20 代/男性/仙北)
- 大曲の冬の道路の除雪があまりにも雑でデコボコしていて事故がおきそうです。なんとかしてください。(20 代/男性/大曲)

(4) 空き家対策について

- 空き家が急増しています。地域のみみんなでなんとかしたいのですが、市のほうでは何か助けももらえませんか。(60 代/男性/太田)

- 空き家対策としてその家から出ている子供、孫達等、後を継いでくれる人達に相続税0円、むしろ10年間固定資産税0円とかで税制面で優遇してやるといいんじゃないかと思います。部落の人達ともなんの問題もなく溶け込めると思います。(60代/女性/中仙)

都市基盤分野

(1) 公共交通について

- 交通も車にのれない人には不便。バスがなくなった。(70代/女性/大曲)
- バスの路線を増やしてほしい。(40代/女性/神岡)
- 車もやめたので買物も温泉も代替りのあしがほしい。年をとっても住みやすいまちづくりをお願いします。(70代/女性/協和)
- お年寄りが多いので、移動手段を確保してほしい。(50代/男性/太田)
- 現在乗り合いタクシーを利用しているのですが、通院している先までは、未だタクシーが走っておらず、今後車を運転できなくなったときのことを考えると不安です。タクシーでのプライバシーなども少し心配です。生活保護を受けている方もそうでない方も毎日人としての健康な生活ができることを願っています。(60代/女性/大曲)
- 車が無いと買い物も出来ない。近くの店まで4km、駅まで4km、バス停まで2.5km。(50代/男性/太田)
- 大仙市の中でも車を利用しないと行けない場所は沢山あります。駅まで遠いとか、バスもない、タクシーを使うのも高額になる様な人はなかなか運転を辞めることが出来ません。そういう人達のための何らかの出来ることを考えてもらいたいです。(40代/女性/西仙北)
- 乗合バスが近くに来てくれたら助かる。刈和野地区の足のない高齢者等。(70代/女性/西仙北)
- 地域に独居で免許も返納しているため買い物に出ることが難しい老人がたくさんいるが、バス等の公共交通機関が不足していると感じる。(20代/女性/太田)
- なんだかんだで、旧大曲市地域優先。市内全域をカバーする公共バスなどが必要。(40代/男性/中仙)

(2) 地域情報化について

- デジタルばかりでなく老人にやさしい情報伝達をお願いします。(70代/女性/協和)

- アメダス気象観測点を大曲にも設置するようにして欲しい。天気予報の TV 表示が「仙北」というのが多い。大曲又は大仙表示が常に出るようにして欲しい。気象庁データで大仙の降雪、積雪表示が「－なし」は残念。防災上、あるいは大仙の豪雪被害を政策的に訴える根拠が無くて大丈夫か。デジタル、デジタルと言うが観測点が荒くては災害対策も出来ないのではないか。農業政策上も気象が大切なので、アメダスがダメなら、市独自のデータを農業者にきめ細かく。方法を考えて欲しい。(60代/男性/大曲)
- 市報、LINE 登録等し、市の情報を積極的に取り入れようと努力しているが、なかなか細部までの情報がなく、イベント等に参加しづらい。(市報の募集欄に年齢枠がない→実際どのような人が参加しているのか、どういう人をもとめているか分からない。)

大仙市の取組、イベント等、市民として参加したいと思っているので、情報発信、アクセスの良さが改善されると嬉しいです。大仙市の繁栄を応援しています。(大仙市移住5年、子育て世代)
(30代/女性/大曲)
- だいせん日和は見やすいですが、市のHPは開くまで重く必要な情報に行き着くまで時間がかかります。見づらさを解消していただきたいです。(30代/女性/太田)

(3) 市街地について

- 年寄り住みづらい。お金がない人はたいへん。花火通りは人がいない。駅前も人がいない。かい物するような病院の帰りちょっと寄るような所がない。(70代/女性/大曲)
- 大学を設立してもらいたい。若者が集まる店を駅前に作ってもらいたい。古四王神社付近に駅を作ってもらいたい。(40代/男性/大曲)
- カジノ、コストコ、イケア等の海外資本の企業誘致、キャンプ場、グランピング、ドッグランの充実、私立高校の設立(県外からの生徒入学、強豪校を設立スポーツの)(40代/男性/大曲)
- 早朝及び夜間に利用できるようなフリースペースやカフェなどがほしい。特に最寄りの大曲駅近辺は新幹線の停車駅にもかかわらず閑散としすぎていると感じる。いわゆる「朝活」が出勤前に行えるような場所がほしい。(20代/男性/大曲)
- ずっと住み続けた人には住みやすい街かもしれないが引越してきた私には住みづらく感じます。銀行、郵便局は少ないので、待ち時間もつたいない。車の路上駐車が多い。それを注意する人もいない。思っていた街と違い、住むと残念な所が目立ちます。自由な意見を書かせていただきました。(40代/女性/大曲)
- 駅周辺に市役所や図書館を移転させて利用しやすいようにしてほしい。(20代/女性/大曲)

(4) 道路・河川について

- 立派な道路が整備されている地区もありますが、町内は危険なところもあります。いつも支援していただいて感謝致しております。(70代/女性/西仙北)

(5) 上・下水道について

- 下水のエリアを広げてもらいたい。下水処理施設の近くに住んでいるのに水洗トイレに出来ない。(40代/男性/大曲)

(6) 住環境、公園、緑地について

- 雄物川の船着き場であったところなど、草や藪などで荒れているのが気になる。元 BBQ 場もしかり。もう少し整備して居場所を増やしてほしい。幼少期に遊んだ公園やキャンプ場が荒れていて悲しい。(20代/男性/大曲)
- 公園や歩道の木の剪定がひどくて、遺憾に感じている。木が角刈りになっている場所も多く、街の景観を損ねている。観光や移住に対しても、街の印象はとても大事なので、もっと丁寧に街作りを行なってほしい。施設を作るときに、もっと自然や地域の良さを大切にしたものを作ってほしい。(例えば、駅前の幼稚園のようにコンクリートで固めた建物ではなく、自然や公園でのびのびと過ごせる場を沢山作ってほしい。(30代/女性/大曲)
- ウォーキングをしたい気持ちは強いですが、トイレ休憩できる場所がなく、また夜は野生動物が恐いし、かと言って休日の日中に歩くとじろじろ見られます。すぐ噂が広まって嫌な気分になりました。いづどこを歩けばいいのですか。公園もありません。(40代/女性/大曲)

教育・交流分野

(1) 学校教育について

- 旧市町村を越えた学校統合が必要。旧市町村のままの学区だと合併した意味がない。考え方も旧市町村のまま。(40代/男性/中仙)

(2) 芸術・文化について

- 後進の文化への意識作り。美術館など文化水準があがる施設を作ってほしい。(30代/女性/大曲)

(1) 地域活性化について

- 若い世代が働きやすく、住みやすく、生涯住みたいと思える魅力あるまちづくりを目指してください。(40代／男性／大曲)
- 集落の人口が減っています。世帯も少なくなりました。(70代／男性／中仙)
- 高齢者もまた多くなりました。私も含めて高齢者の集いの場があればなと思います。(60代／男性／太田)
- 大曲地域と他地域との差が合併後大きくなったように感じる。私のまわりは合併後も合併前と何も変わっていない。過疎化がどんどん進んでいる。(50代／男性／太田)
- 人口減少が著しく、対応策をもっと強化してほしいです。(50代／女性／大曲)
- 大変ですが、「全ての人が明るく生活できるまち」になるようになれば良いと思います。「住民の考えが一つになるような何か」を考えていければと思います。(50代／男性／大曲)
- 人口減少と高齢化の進む地域ですが、地域の特性を活かした市政を目指してほしい。キラリと光るものが何かあるかもしれない。(70代／男性／大曲)
- 私は転勤族だったので色々な面を見てきています。その事で思う事は東北でも他の地域にくらべて、何事においても遅れている事です。あまりにも住民の意識の低さにびっくりしました。また、何においても中途半端な気がしてなりません。また、花火に頼りすぎているように思います。こんなにも豊かな自然があるにもかかわらず…。もっともっと勉強していただきたいと思います。(60代／女性／大曲)
- 人口減少により家族や地域の人とのコミュニケーションがとりにくくなった。見なければ見なくていい。言わなければ言わなくていい、聞かなければ聞かなくていい。高齢化が進むとこんな気分になる。インフレが心配です。(70代／女性／協和)
- 維持は退化と同じです。時代は変化しているので、若い世代の意見をもとに新しい取組をすすめてほしいです。(30代／女性／大曲)

(2) 移住・定住について

- 移住してきたときの対応がとてもよかった。引っ越し、補助がでるのはありがたい。(30代／女性／大曲)

(3) 市民協働について

- 今年、行政協力員を頑張るつもりですが、年も年ですので、頑張れることができなくなる。昔ながらの部落でのまわりは老夫婦二人の生活者が多くなり大変な仕事です。若い人はなかなか仕事に忙しく、部落の役員になる人は少ないので、行政でもこれからの行政協力員のあり方を考えてもらいたい。(80代/男性/大曲)

(4) 男女共同参画について

- 大仙市男女共同参画プランを目にして思ったことですが、計画の体系で、「基本目標→施策の方向→基本施策」とあるが、その先にある《施策の具体》が見えず残念でした。是非とも私たち市民の目で具体が見えるような方策を考えていただきたい。日夜、頑張っておられる市職員の方々ありがとうございます。(60代/男性/大曲)
- 理想は大事だが現実とあまりにかけ離れる理想は無意味だ。市政においてさまざまな施策がされているものの他方からの押し付けや時代の流れに流されて現実から乖離されたものが多く最終的には何事もし得ない物になっている。(50代/男性/大曲)
- 結局、男女は平等にはならないと思う。男性は女性が家事や育児をやるという概念があり、女性は仕事と家事や育児を両立しなければならない。まだまだそのような考えの方が多い。大仙市というくくりではあるが広すぎると思っている。旧太田町に住んでいるが、色々不便を感じる。(40代/女性/太田)

(5) 行財政運営について

- 田舎であればある程組織内のトップが高齢者であることが多く、融通が利かなかったり、しきたりにこだわったりするので、新しい情報が通りづらいように思います。市として力を入れて取り組んでいることが、もっと地域のトップの方々に伝わるようになると嬉しいです。若い方々の意見やアイデアを受け止めて、前へ進められる組織作りが望ましいと思いますが、若い方は忙しいし、高齢者は生きがいが必要。難しいです。(60代/女性/大曲)
- 市のサービスが分かりづらく、一部のしか利用してないと思うものもある。(40代/女性/神岡)
- 「こんにちは」という言葉が市役所を利用した時に多く聞かれました。嬉しかったです。給料は税金から出てるかもしれませんが、人と人がつながる接客業でもあると思いますので、継続的に行って貰いたいと願います。ただ、警備員の電話対応が良くないことがある。(30代/男性/大曲)
- 花火に対する予算は少し疑問が…もっと若者の支援に関し予算執行して欲しい。除雪も悪すぎます。市議会議員数を減らすべきです。(40代/男性/中仙)

- 市職員 843 人とあるが、市内に居住している職員何人いるだろうか。他市町村に居住している職員も相当数いると聞く。他県では市職員になる条件はその市に居住することが第一条件のところもあると聞く。財政の面からも大仙市で考えてみたらどうか。年々人口が減ってもいる。市内にも優秀な人材はいっぱいいるはずだ。是非一考を。(80 代／男性／大曲)
- 土、日は交代制にするべきである。市民が仕事を休んでまで市役所に出向くのはおかしいと思います。(50 代／女性／中仙)
- 一昔前と違って職員さん(窓口)の対応が良くなって感じがよかった。(70 代／男性／大曲)
- ムダを少なくして、市民サービスの精神。(70 代／女性／中仙)
- 日常生活では知らないでいる多くの素晴らしい施策があることに気づいた。施策がいかに市民に理解され実施されるかが大切であると思う。(80 代／男性／太田)
- 少子高齢化が心配です。子ども達に何を残していくか、優先順位を考え、将来のため、財政を少しでも改善して行ってほしいです。(女性／50 代／協和)
- 大曲地域だけに市の予算が使われていると思います。花火や排雪など。(50 代／男性／太田)
- 担当してくださる職員の方によってサービスの質が異なるので市役所が利用しづらい。行政サービスがデジタル化すれば、均一的なサービスを受けることができますと思いますので、どんどん進めて頂きたいです。(30 代／女性／太田)
- イオンモール大曲の中に市の窓口業務を扱う場所ができたのは良いと思いますがフードコート付近なので利用しにくいとも思いました。業務内容も増やせば利用しやすくなると思います。(20 代／女性／大曲)
- 広報に印刷物が多くゴミが増える。経費を削減、同じ封書は家族分切手のムダ。(60 代／性別無回答／大曲)
- 各方面から指摘あると思いますが各部署の電話番号の改定。電話がきてもどこからか分かりません。(30 代／男性／大曲)
- 夫婦世帯に対して行政の支援が何も無い。給付金も子供がいなくてももらえない。同じ税金を納めてるのに不平等である。行政は平等でなければならない。無駄な職員が多い。税金の無駄遣いをなくす。手続きの簡素化。休日の対応が悪いので充実させる。平日仕事の人が大半なのだから。(40 代／女性／仙北)
- 建物等は建てるだけでなく、継続的にクオリティを保つことが大事だと思う。メンテナンスされてないと、さびれている印象になってしまい、人も遠のいてしまう一方である。何事も、一時的な企画ではなく、継続的・長期的な予算の組み方をして頂きたい。(30 代／女性／大曲)

- マイナンバーカードを利用した、コンビニ等における戸籍謄本等の取得について以前から関心を持っています。窓口でお尋ねした事もあります。現段階でどこまで検討しているのか広報していただけると参考になります。フルタイムで勤務していると、日中市役所に出向くのが難しい事がほとんどです。私事で恐縮ではありますが、早期実現を望んでいます。(40代/女性/仙北)
- 他の町村より、いろんな支援の決定が早く良い市だと思います。(コロナ学生支援制度、米の次期作支援など)(50代/男性/西仙北)
- 旧市町村時代より税金が多いのにほぼ恩恵がない。市の行政が見えない。見える化の努力が必要。池田邸に税金を使う必要があったのか疑問。市民サービスの平等化。(40代/男性/中仙)

その他

(1) その他

- 昨今のコロナ禍の給付金について、国の方針もあると思いますが、子育て世帯、低所得世帯が優先されていることに少々疑問を感じます。該当しない世帯でも皆さん大変だと思います。どうか公平に給付していただくことを切に願います。(50代/女性/南外)
- 大仙市はコロナ禍における家庭への補助が少ない。(美郷町はお金や飲食券が出ている。)(60代/女性/太田)
- コロナ対策。子供が学校で感染し仕事を休んだら給料が減った。経済的に困った。(40代/男性/中仙)
- 色々な分野でよりよいまちづくりが進められるよう期待しております。(60代/女性/仙北)
- 役所関係の人はよくやってくれています。御苦労様です。年齢がいきすぎて思うように記入できません。悪しからず(80代/女性/大曲)
- 高齢者にとって今回のアンケートは少し難しさを感じました。(80代/女性/中仙)
- アンケートのボリュームが多い。(40代/女性/神岡)
- 健幸まちづくりの活動量計について、主婦は朝早くから忙しく働いているけど歩数は増えません。歩数に応じてプレゼント…となるととても不利です。その辺も配慮してほしいです。(60代/女性/中仙)

- 数年前に自分のミスで市税を滞納してしまった際に、即座に出向き支払いをしたところ、窓口の滞納者に対応する方に非常に心が痛くなる対応をされたことを昨日のように思い出します。確かに納付しなかったのは悪いことですが、滞納者全員にそのような対応・態度をしていると思うと、よく大阪あたりでテレビに出るような窓口で事件に発展すると困ると思ひ出します。確実に滞納者が悪いですが・・・(40代／男性／中仙)
- いつもありがとうございます。大仙市の発展が促進されることを祈念いたします。(40代／女性／大曲)
- 秋田がいつも全国ワーストワンなのに心が痛みます。是非、秋田が住みやすい場所、住みたい場所になるようにがんばって下さい。(70代／女性／大曲)
- 考えられないむずかしい世の中ですが、常に原点は昔と同じです。ガンバレ大仙市。(70代／男性／大曲)
- 相談と現実がかけ離れて意味がなかった。真剣に向き合えていない。ただ仕事してるだけで時間つぶししてるように見え残念です。話される時は、その人の立場を考えて、一言一言選びながら話してもらいたい。真剣に相手の気持ちを考えられる人を選んで対応してもらいたい。心から接してもらいたい。(60代／女性／仙北)
- 役所に行くと「なにしにきたんだろう」と思うような態度の職員さんがいるのは何かいやな感じがします。笑顔で接してくれる人もいますが。(60代／女性／大曲)

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために 令和4年度市民による市政評価 ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和4年4月

大仙市長 老松博行

《回答にあたって》

- ◆このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただきます、無記名形式で行います。
- ◆このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆次のどちらかの方法により、5月27日(金)までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手は不要です。)

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。

※回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

- ◆ URL

https://s-kantan.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2581

- ◆ 二次元バーコード



【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.lg.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
	【記入例】	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和4年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R2 302人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R2 230億3千万円
製造品出荷額等	H26 646億9千万円 → R2 727億4千万円
新規雇用創出数※1	H27~R3の累計 684人
新規誘致企業数	H27~R3の累計 11社
創業者数	H27~R3の累計 87人
市内の煙火出荷額※2	H26 7億6百万円 → R2 3億9百万円
観光入込客数※2	H26 263万1千人 → R2 112万4千人
Aターン就職者数※3	H27~R2の累計 437人

※1 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人数の合計

※2 新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減少

※3 Aターン/秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
Ⅱ みんなの 元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、 健康・福祉など	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 2歳児からの保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和4年4月1日現在】

結婚相談会や出会いイベントの提供数※1	H27~R1の累計	100件
不妊治療による出産数	H27~R2の累計	102件
子育てサポート会員登録者数	H27	81人 → R3 84人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27	21箇所 → R3 34箇所
特定健康診査受診率※2	H27	39.1% → R2 33.1%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27	106人 → R3 108人
物忘れ相談プログラム体験者数※2	H27	340人 → R3 298人
全国500歳野球大会参加チーム数※1	R1	32チーム
スポーツ合宿実施数※2	H27	15団体 → R3 3団体

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、R2及びR3年度の実績はなし。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止。

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心、都市整備など	①	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧	【上・下水道】 浄水場・水道施設や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和4年4月1日現在】

自主防災組織の組織率	H26 67.5% → R3 91.5%
地域公共交通利用状況	地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行 R2実績 循環バス 11,277人 コミュニティバス 34,450人 乗合タクシー 13,129人
市ホームページ閲覧数	H26 64万9千人 → R3 274万3千人
都市計画道路整備率	H26 59.8% → R3 62.0%
住宅リフォーム支援制度利用件数	H28~R3の累計 2,564件

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、 芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和4年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R3 61人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R3 11人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → R2 86.7%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R3 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R2 39,577人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R3 204団体
国内友好交流都市との交流※3	H27 8回 → R3 2回
自治体間による交流団体数	R3現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

※3 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止。

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない					
V 時代に合った地域社会の維持・活性化、行財政運営など	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動への支援など、住民主体のまちづくりを応援しています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民が主体となった活動への支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働のまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和4年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数※1 H27 73件 → R2 59件

地域おこし協力隊員数 H27～R3の累計 8人

本市への移住者数※2 R2～R3の累計 787人

本市への移住相談件数 H28 42件 → R3 137件

市職員数 H27 992人 → R4 834人

ふるさと納税寄付額 H27 901万3千円 → R3 2億6千873万円

財政力指数※3 H27 0.342 → R2 0.354

将来負担比率※4 H27 136.9% → R2 108.3%

全会計市債現在高 H27 991億7千5百万円 → R2 877億9千4百万円

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が低迷。

※2 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市へ住む意思のある定住希望者

※3 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※4 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1 あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 健診や相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「環境・安全分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「都市基盤分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6

あなたが「教育・交流分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
る取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。その一環として、令和4年には窓口での手数料支払いのキャッシュレス化やオンライン申請による各種証明書の送付サービスを導入する予定としており、今後も様々なサービスのデジタル化を進めることとしています。このデジタル化の推進に関し、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ) あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4 あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口でキャッシュレス支払いができる
4. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
5. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
6. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
7. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
8. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1 あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますようお願いいたします。

テーマ1 市所有温泉施設について

市では、市民の皆さまの健康増進や市外からの交流人口拡大を図るため、市内に7つの温泉施設を設置しています。

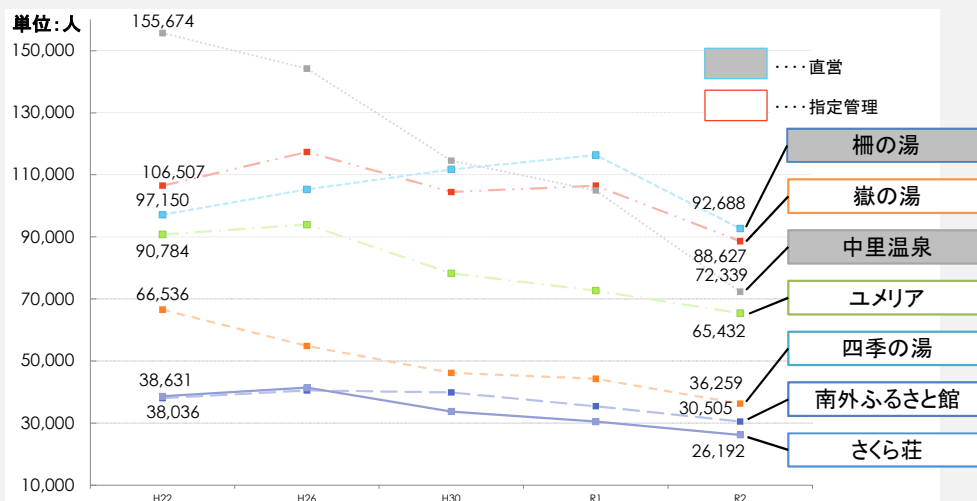
この調査では、市民の皆さまの市所有温泉施設に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とさせていただきます。



【市温泉施設の現状】

- 7施設のうち、2施設は市直営、5施設は指定管理者（うち2施設は第三セクター）により運営。
- 昨今の人口減少の進行やニーズの変化等により利用者が年々減少。特にここ1～2年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により激減。
- 温泉施設運営費として年間約1億円を市が負担。（指定管理料等）
- 施設の経年劣化に伴い、上記の1億円とは別に修繕費等がかさんでいる状況。今後、大規模な改修や建て替え等が必要となり、多額の負担が生じる見込み。

【利用者数の推移】



問1

市内外を問わず温泉施設(入浴、宴会、宿泊などで)をどのくらい利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2、3回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 4. 月に2、3回程度 |
| 5. 月に1回程度 | 6. 年に数回程度 |
| 7. 年に1回程度 | 8. ほとんど利用しない |
| 9. 利用したことがない | 10. その他() |

問2

温泉施設の主な利用目的は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 日帰り入浴 | 2. 宴会、レストラン等での飲食 |
| 3. 宿泊 | 4. 利用しない |
| 5. その他() | |

問3

よく利用する、あるいは利用したことのある温泉施設はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. かみおか温泉 嶽の湯(神岡) | 2. 西仙北ぬく森温泉 ユメリア(西仙北) |
| 3. 八乙女温泉 さくら荘(中仙) | 4. 協和温泉 四季の湯(協和) |
| 5. 松木田温泉 南外ふるさと館(南外) | 6. 史跡の里交流プラザ 柵の湯(仙北) |
| 7. 中里温泉(太田) | 8. 大仙市内の他の温泉() |
| 9. 大仙市外の他の温泉() | 10. 特になし |

問4

温泉施設を利用するうえで最も重視することは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 利用料金 | 2. キャンペーンやイベントなど |
| 3. 自宅からの距離、行きやすさ、無料送迎 | 4. 施設の雰囲気、居心地の良さ |
| 5. お風呂の種類や泉質、サウナ等の設備 | 6. 従業員の接客サービス |
| 7. レストランのメニュー、宴会のプラン | 8. 宿泊プラン、宿泊部屋 |
| 9. その他() | |

問5

今後、市の温泉施設経営の合理化を進めた場合、施設の統廃合、設備の縮減、利用料金や営業形態の見直し等を実施する可能性があります。そのような場合でも維持・確保して欲しいと思うことは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。**(○は2つまで)**

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. 利用料金 | 2. お風呂の種類やサウナ等の設備 |
| 3. 温泉施設の数 | 4. レストランや売店、宴会などの営業形態 |
| 5. 宿泊機能 | 6. その他() |

問6

市所有温泉施設は大仙市内にいくつあればよいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。**(○は1つ)**

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. 現状(7つ)より多く | 2. 現状(7つ)のまま |
| 3. 3つ程度(中央、東部、西部などの地域に1つずつ) | 4. 大仙市内で1つ |
| 5. 市所有の温泉施設は必要なし | 6. その他() |

問7

市所有温泉施設に関して、ご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。**(自由記述)**

テーマ2 SDGsについて

SDGsは、世界が直面する様々な問題をみんなで協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」です。2030年までの達成を目指し、17の目標(ゴール)と169の達成基準(ターゲット)が設定されており、私たち一人一人が「自分のこと」として考え、行動していくことが求められています。

市では、総合計画をはじめとする各種計画にSDGsの考え方を取り入れながら、それらの計画を着実に進めていくとともに、市民の皆さまにSDGsへの理解を深めていただきながら、市全体で取り組んでいくため、市広報やホームページで特集を行っています。

この調査では、市民の皆さまのSDGsに対する認知度や取組状況などを伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とさせていただきます。



SDGsの17の目標には、福祉・教育・ジェンダー・環境・経済・インフラなど、あらゆる分野の目標が設定されています。
詳細につきましては別紙をご覧ください。

問1 あなたはSDGsという言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 内容を含めて知っている。
2. 内容はわからないが、言葉は知っている
3. 知らない

問2 あなたはSDGsについて関心がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. ある
2. ややある
3. あまりない
4. ない

問3 あなたはSDGsを意識して、日常で何らかの取組を行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. 取り組んでいないが、今後取り組みたい
4. 取り組んでいないし、今後取り組む予定もない

問4

SDGsの17の目標のうち、次のことについてどのようにお考えですか。**1~17**のあてはまる欄に○をつけてください。

- (1) 取り組んでいる、または取り組みたいと考えている目標 **(○はいくつでも)**
- (2) 関心がある目標 **(○は5つまで)**
- (3) 重要だと思う目標 **(○は5つまで)**

		(1)	(2)	(3)
【記入例】		取り組んでいる、 あるいは取り組 むたい目標と または 取り組んでいる 目標 (○はいくつでも)	関心がある目標 (○は5つまで)	重要だと思う目標 (○は5つまで)
◆SDGs17の目標				
1.	貧困をなくそう			
2.	飢餓をゼロに			
3.	すべての人に健康と福祉を			
4.	質の高い教育をみんなに	○		
5.	ジェンダー平等を実現しよう			
6.	安全な水とトイレを世界中に			
7.	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○		
8.	働きがいも経済成長も	○		
9.	産業と技術革新の基盤をつくろう			
10.	人や国の不平等をなくそう			
11.	住み続けられるまちづくりを	○		
12.	つくる責任つかう責任			
13.	気候変動に具体的な対策を			
14.	海の豊かさを守ろう			
15.	陸の豊かさを守ろう			
16.	平和と公正をすべての人に	○		
17.	パートナーシップで目標を達成しよう			

問5

SDGsを推進していく上での課題は何だと思えますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 社会的な認知度が高まっていない | 2. SDGsへの理解度が低い |
| 3. 何から取り組んでいいかわからない | 4. 取り組むためのノウハウがない |
| 5. 取り組むことによるメリットがわからない | 6. その他() |

テーマ3 男女共同参画について

市では、男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会の実現に向け、平成17年10月に「大仙市男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画に関する様々な取組を総合的かつ計画的に実施してきました。

令和2年度からは「第3次大仙市男女共同参画プラン」のもと、「誰もがイキイキと『ともに輝く男女共同参画のまち』」を目指して、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進、DVやあらゆるハラスメントの防止、性的マイノリティに対する理解促進など、様々な取組を実施しています。

この調査では、市民の皆さまから男女共同参画に関するお考えやご意見を伺い、今後、さらに男女共同参画を推進していくための参考とさせていただきます。

問1

あなたは、男女共同参画に関する次の言葉を知っていますか。1~6のあてはまる欄に○をつけてください。(○は1つずつ)

		言葉も内容も 知っている	言葉は知っているが 内容は知らない	言葉も内容も 知らない
	【記入例】	○		
1.	「男女共同参画社会」 男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会			
2.	「ワーク・ライフ・バランス」 「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動などの「仕事以外の生活」との調和をとり、どちらも充実させる働き方・生き方			
3.	「ポジティブ・アクション」 男女間の格差を解消するために行う自主的かつ積極的な取組み			
4.	「ジェンダー」 生物学的性別ではなく、社会的・文化的な役割の違いによってつくられる性差			
5.	「LGBTQ」 レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)、クエスチョニング(Q)の頭文字をとった、性的少数者を表す言葉の一つ			
6.	「デートDV」 婚姻関係にない交際相手からの暴力			

問2

あなたは、次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。**1~7**のあてはまる欄に○をつけてください。**(○は1つずつ)**

	優遇されている方が男性の方	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	優遇されている方が女性の方	わからない
【記入例】			○			
1. 家庭						
2. 職場						
3. 学校教育の場						
4. 政治の場						
5. 法律や制度上						
6. 社会通念・慣習・しきたりなど						
7. 自治会・町内会などの地域活動						

問3

あなたは次の考え方をどう思いますか。**1~3**のあてはまる欄に○をつけてください。**(○は1つずつ)**

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらとも言えない(わからない)	どちらかといえば反対	反対
【記入例】		○			
1. 「男性は仕事、女性は家庭」					
2. 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい					
3. 結婚をしたら子どもを持つべきである					

問4

あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。あてはまる番号に○をつけてください。**(○は1つ)**

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 女性が行っている | 2. 女性が主で男性は手伝う程度 |
| 3. 男性が主で女性は手伝う程度 | 4. 男性が行っている |
| 5. 男女とも同じように行っている | 6. どちらか手の空いている方が行っている |
| 7. その他() | |

問5

「現在、会社等に勤務されている方」にお聞きします。あなたの職場における男女共同参画や女性活躍に関する状況について教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 募集や採用の条件における男女差が少ない
2. 賃金や昇給における男女差が少ない
3. 能力評価や昇格における男女差が少ない
4. 管理職の登用における男女差が少ない
5. 業務内容や業務分担における男女差が少ない
6. 育児や介護のための休暇を取得しやすい
7. 男性が育児や介護のための休暇を取得しやすい
8. 女性が働きやすい職場環境である

問6

男女共同参画社会を実現するために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 法律や制度の面で見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 民間企業や各種団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底する
5. 男性の育児や介護、地域活動への参画を促進する
6. 女性の働く場や機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促すため、職業教育や職業訓練を充実する
7. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方の見直しを進める
8. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
9. 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
10. 子育てや高齢者のための施設・サービスを充実する
11. 学校教育や社会教育・生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
12. 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの機会を充実させる
13. ハラスメント・暴力の防止対策や被害者への支援を充実させる
14. 広報やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
15. その他()

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

- ・あなたの同居の家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 単身世帯	2. 夫婦世帯	3. 二世帯世帯
4. 三世帯世帯	5. その他()	

- ・あなたは現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 結婚している(事実婚等を含む)	2. 独身(離婚・死別含む)
--------------------	----------------

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月27日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。